

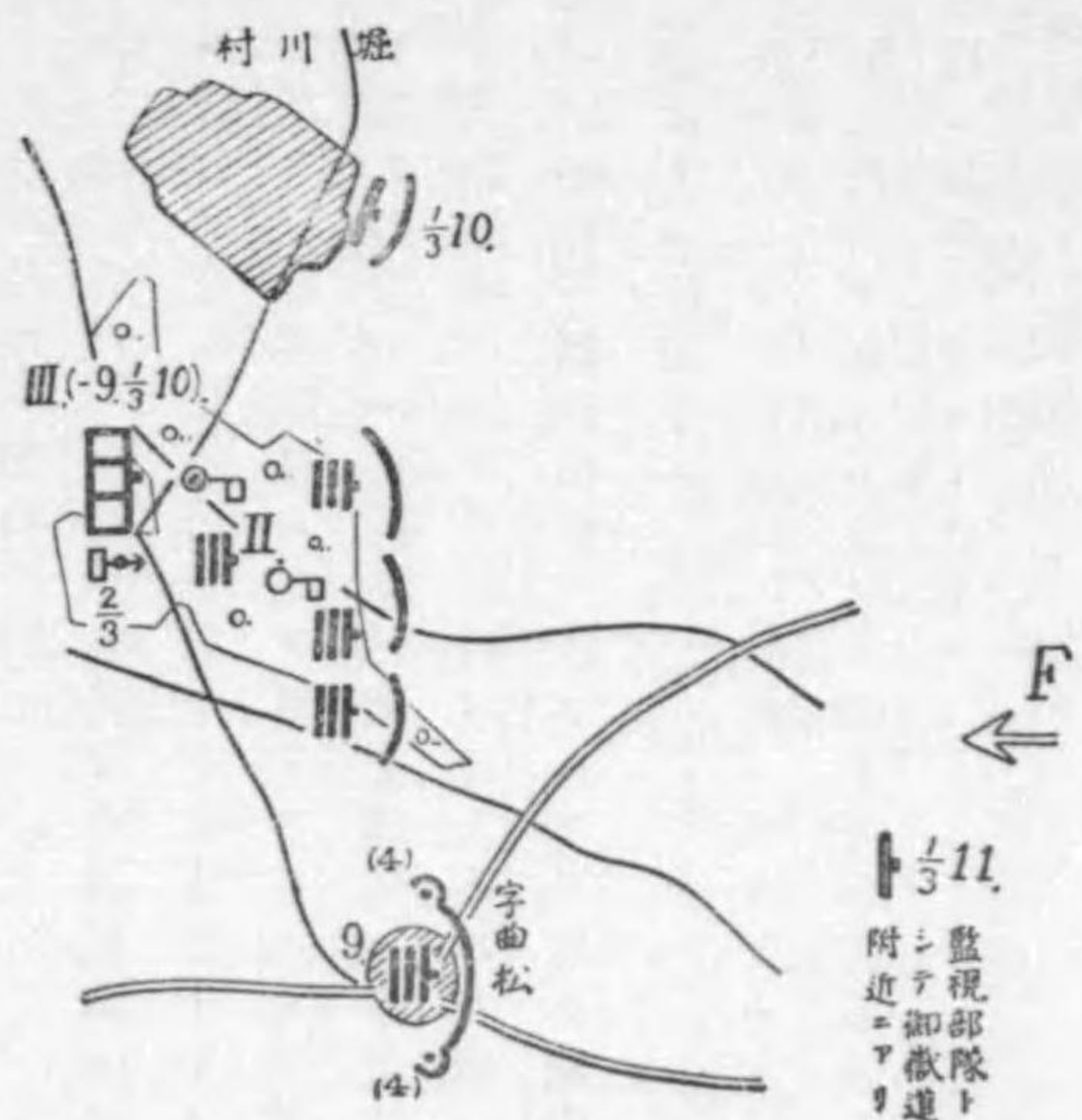
守備隊ノ主力ハ同地ヲ占領セサルヘカラス之カ爲完全ナル一大隊ヲ以テ林  
 縁ヲ占領セシムルト共ニ地區ノ豫備隊ヲ其後方ニ位置セシムルヲ要ス  
 宇曲松ハ右地區トノ連繫上一部ヲ以テ占領セシムルノ必要アルノミナラス  
 同地區ノ正面及左地區主力ノ正面ヲ側防スルニ便ナリ故ニ同地ニハ多クノ  
 機關銃陣地ヲ構築シ置クヲ可トス  
 堀川村モ亦主力ノ正面ヲ側防スルニ便ナルノミナラス同地ハ攻勢移轉ノ爲  
 豫メ一部ヲ以テ占領シ置クヲ要ス

騎兵ノ動作

情 況

騎兵中隊(二分隊欠)ハ遠ク大山街道上ノ敵情搜索ノ爲一將  
 校斥候ヲ前方ニ出シ近ク御殿場―厚木道上並ニ高尾―井  
 ノ口―南金目―田村道上ニ各一隊下士斥候ヲ出シ中隊ハ一  
 分隊ノ尖兵ヲ出シテ前進シ午前七時四十分鳥居松附近ニ

說 明



敵ノ主攻撃ハ宇曲松北方森林ニ向フコトハ既ニ述ヘタルカ如シ故ニ左地區



達シ下士斥候ノ報告ニ依リ略同等ノ敵ノ騎兵部隊曾屋―厚木道上ヲ我ニ向ヒ前進中ニシテ今ヤ落幡南方大根川橋梁附近ニ達シ在ルヘキヲ知ル

問 騎兵中隊長ノ決心

答 中隊ハ攻撃ノ目的ヲ以テ根古屋南方獨立標高733ニ向ヒ前進セントス

理由 敵情ヲ搜索センカ爲ニハ敵騎ヲ擊破シ行動ノ自由ヲ得ルヲ最良トスレハナリ

情 況

中隊長ハ直ニ中隊ヲ本道南側ニ中隊縱隊ニ排開セシメ本道ニ沿ヒ前進ス然ルニ前面ノ敵ハ落幡附近ニ停止シ同地南側ヲ占領シ在ルモノノ如ク敢テ我ニ向ヒ前進シ來ラス其監視兵ヲシキ兵力各約一分隊ノモノハ岡崎村、谷戸分、下

谷戸、落幡南端、大夫久保ニ在リ此時中隊長ハ左ノ如キ將校斥候ノ報告舟子發ヲ受領ス

歩兵約六千、砲二十門ヲ下ラサル敵ノ一縱隊ハ大山街道ヲ西進中ニシテ午前七時其先頭厚木ヲ通過セリ

問 騎兵中隊長ノ決心

答 中隊ハ主力ヲ以テ現在地附近ニ停止シ敵情搜索ヲ爲サントス

理由

- 一 現在地ハ高地ノ東方ヘノ凸出部ニシテ又後方ニハ更ニ東方ヘ凸出セル金目川右岸ノ高地ヲ有ス故ニ此地ヲ保有スレハ既ニ厚木南方地區ニ達シ在ル敵主力ノ情況ヲ偵知スルニ左程不便ナラス
- 二 前面ノ敵騎ハ兵力略我ト同等ニシテ其占領セル位置ハ相當ノ射界ヲ有シ在リ我攻撃成功ハ容易ナラサルヘシ
- 三 故ニ中隊ハ現在地ニ位置シ敵情ヲ監視シ又此地ヲ據點トシテ搜索



ニ従事スルヲ適當トス

情 況

中隊長ハ得タル情況ヲ直ニ支隊長ニ電話(國用線利用)報告シ又前述ノ決心ニ基キ南矢名北側高地ヲ徒歩占領シテ敵騎ト相對シ左ノ如ク斥候ヲ出シテ敵情ヲ搜索セシム

- 1 將校斥候ヲ岡崎村高地ニ出ス
- 2 將校斥候ヲ金目川右岸高地ニ出ス
- 3 下士斥候ヲ弘法山 2371ニ出シ敵情ヲ展望セシムル

ト共ニ支隊トノ連絡ニ任セシム

午前九時三十分中隊長ハ陣地占領ニ關シ支隊命令ヲ受領ス

午前九時五十分弘法山下士斥候ノ記號ニ依リ我陣地占領ス

掩護隊ハ各其位置ニ達セシチ知ル

午前十時敵歩兵ノ先頭落幡ニ達セシ如ク前面ノ敵騎ノ行動活潑トナリ我ヲ攻撃セントスルモノノ如シ

問 騎兵中隊長ノ決心

答 中隊ハオケ分 1046高地ニ向ヒ退却シ同地ニ於テ敵ノ前進ヲ阻碍セン

トス

理由

陣地占領掩護部隊ハ既ニ其位置ニ到著セシト雖中隊ハ騎兵トシテ爲シ得ル限り敵ノ前進ヲ阻碍セサルヘカラス現在地ハ此目的ニ適スル地形ナラスオケ分 1046高地ハ此目的ヲ達スル爲地形適當ニシテ且上大槻南方高地ニ在ル我陣地占領掩護部隊ヨリ退却ノ際收容セララルルノ利アルヲ以テ比較的長ク陣地ニ止マルヲ得ヘシ

情 況



午前十時二十分中隊ハ才ケ分1046高地ヲ徒步占領シ了ル  
 間モ無ク敵歩兵ノ先頭ハ南矢名附近ニ現出セシヲ以テ中  
 隊ハ射撃ヲ開始シ爲ニ其先頭約二中隊ヲ散開セシメシモ  
 敵歩兵ハ漸次接近シ來リ其一部ハ我左翼方面ニ迂回接近  
 シ來ルノ情況トナリシカ故ニ中隊長ハ支隊命令ニ基キ主  
 力ヲ以テ戸川方向、一部(半小隊)ヲ以テ高尾村方向ニ退却ニ  
 決ス

歩兵大隊ノ動作

情 況

左地區守備隊中ノ歩兵第二聯隊第二大隊長ハ午前八時四  
 十分字地代東方鞍部ニ於テ聯隊長ヨリ任務ヲ受領ス此時  
 大隊ハ字地代南側地區ノ開進地ニ縱隊横隊ニ集合シ在リ

問 大隊長ノ處置

答1 古參中隊長ヲシテ大隊ヲ字曲松西北方約六百米四又路附近ニ引率

ヲ命シ且同地ニ於テ彈藥器具ノ分配ヲ爲サシム

2 自ラ大隊副官ヲ伴ヒ右翼ヨリ陣地ノ偵察ヲ爲ス

(右翼ヨリ陣地ノ偵察ヲ爲スハ右地區トノ連繫ニ重キヲ置キタルカ爲  
ナリ)

3 森林東縁中央入口附近ニ各中隊長ヲ集メ命令ヲ下ス

問 大隊命令如何

答 左ノ如シ

大隊命令 八月九日午前九時二十分  
於字曲松北方森林

一 (敵情、騎兵中隊ノ狀況)

(支隊ノ目的、陣地占領、掩護隊ノ狀況)

二 聯隊第一大隊機關銃一小隊欠ハ字曲松附近ヨリ此森



林ヲ經テ堀川村ニ亘リ陣地ヲ占領セントス

第九中隊ハ字曲松附近、第十中隊ノ一小隊ハ堀川村東端附近ヲ占領ス又第十一中隊ノ一小隊ハ監視部隊トシテ曾屋西方御嶽道附近ニ在リ

三 大隊ハ此森林林縁前方約百米ノ線ニ陣地ヲ占領セントス

四 第五第六第七中隊第一線

第五中隊ハ現在地南方約三百米道路ヨリ概ネ林縁ニ沿ヒ二百米間ニ字曲松東方凹地ノ彎入部ヨリ前方凸道西端ニ亘ル間ヲ射撃シ得ル如ク陣地ヲ占領スヘシ

五 第六中隊ハ第五中隊ノ左ニ連繋シ現在地附近ニ亘ル間ニ第五中隊前方凹地ノ彎入部ヨリ前方森林凹部吹上

西方約六百米ニ亘ル間ヲ射撃シ得ル如ク陣地ヲ占領スヘシ

六 第七中隊ハ第六中隊ノ左ニ連繋シ森林東北端附近ニ亘ル間ニ前方凸道ノ西端附近ヨリ斜左約千米ノ獨立樹

ニ亘ル間ヲ射撃シ得ル如ク陣地ヲ占領スヘシ

七 第八中隊ハ豫備隊トナリ現在地附近ニ位置スヘシ

八 某中尉ハ一分隊ヲ指揮シ將校斥候トナリ前方凸道ニ位置シ敵ノ搜索ヲ妨害スヘシ

九 某中尉ハ下士以下六人ヲ率井將校斥候トナリ吹上附近水無川ノ景況ヲ偵察スヘシ

十 小行李及大隊旗ハ豫備隊ノ位置ニ在ルヘシ

十一 予ハ右翼ヨリ巡視ス



説明

大隊ハ攻勢地區ニ於ケル中間大隊ニシテ而カモ敵ハ近シ故ニ大隊長ハ今ヨリ配備ヲ決定シ得ヘキヲ以テ各中隊ニ陣地ヲ占領スヘキ前述ノ如キ命令ヲ與ヘタリ若シ敵尙遠ク又幾何中隊ヲ第一線トシ幾何中隊ヲ豫備隊トスルヤヲ十分決定シ能ハサルトキハ斯ノ如キ陣地占領ノ命令ヲ與フルコトナク單ニ陣地構築命令ヲ下シ陣地ヲ構築シ了ラハ大隊ハ之ヲ後方ニ集結ス(歩操二ノ六四)

又此種命令ニハ工事完成時刻ヲ示スコトアリ即チ時間ノ餘裕ナキ如キ場合ニ於テ兎モ角モ敵ノ現出スル迄ニ必要ノ工事ヲ完成セシメント欲スルトキ等ノ如シ

問 各中隊長ハ如何ナル工事ヲ實施スルヤ

答 立射散兵壕横牆ヲ設ク

問 障礙物ハ設クヘキヤ

答 設ケス何トナレハ此方面ハ攻勢地區ナレハナリ

情況

第一線各中隊ハ所命ノ位置ニ就テ夫々陣地ノ準備ニ從事ス午前十一時三十分防禦工事完成ス

問 第一線各中隊ハ如何ナル姿勢ニ在ルヘキヤ

答 監視兵ヲ散兵壕ニ殘シ他ハ後方森林中ニ中隊縱隊ニ集合シ在ラシム

但シ中隊長ハ所要ノ斥候ヲ派遣シ又距離ヲ測定シテ之ヲ標示ス

問 各中隊工事完成後大隊長ノ處置如何

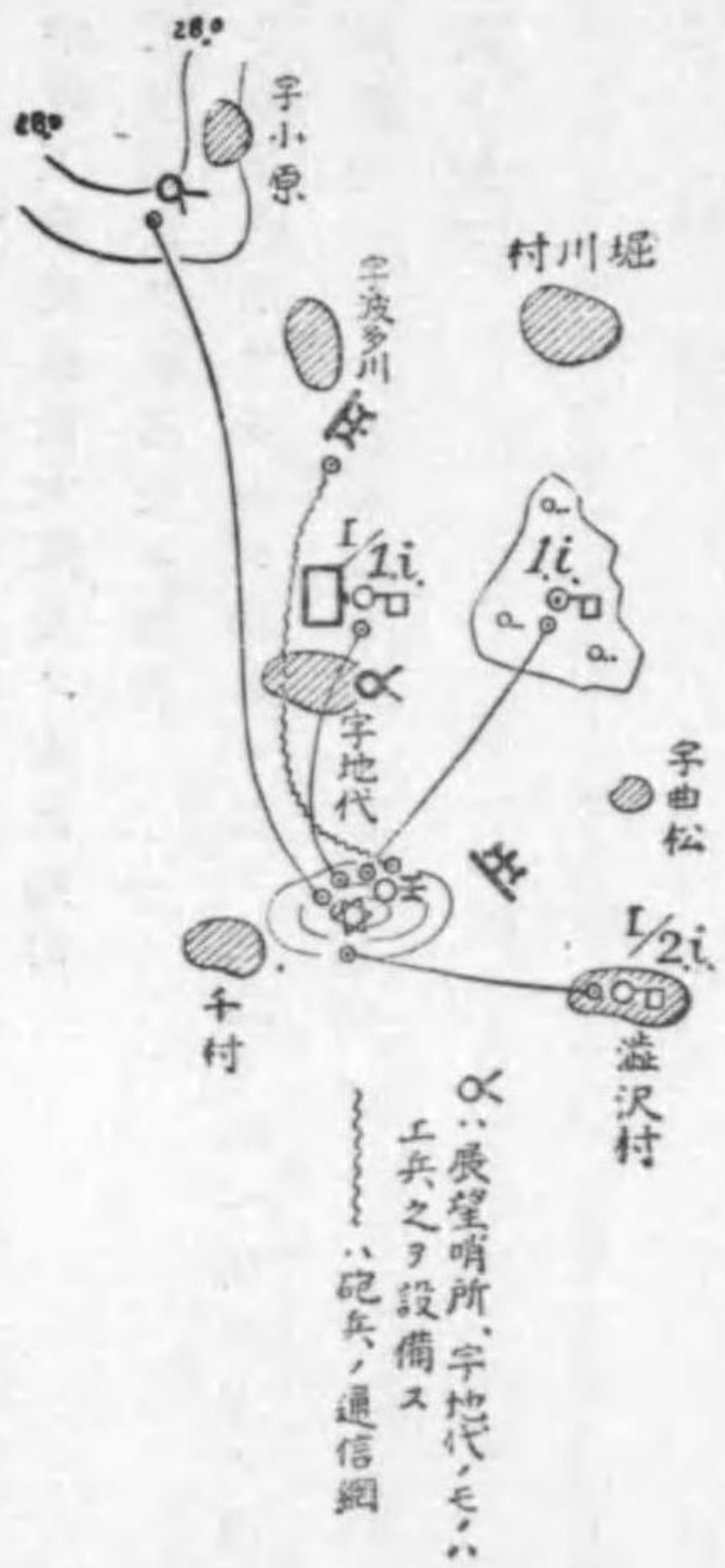
答 1 工事完成ヲ聯隊長ニ報告

2 各中隊陣地ヲ監視シ設備ニ就テ注意ヲ與ヘ且前方ノ地形ヲ觀察ス

問 支隊陣地ニ於ケル展望、交通ノ設備如何

答 左圖ノ如シ





防禦戦闘及攻勢移轉ノ動作

情 況

午前十一時頃曾屋東側地區ニ於テ稍激シキ銃聲ヲ聽キシカ暫時ニシテ熄ム  
正午少シ過キ我陣地占領掩護隊ハ陣地ニ向ヒ退却シ來リ

豫備隊ノ位置ニ復歸ス次テ曾屋西端ニ敵兵現出セシカ如ク監視部隊方面ニ於テ斷續セル銃聲起ル

問 諸隊長處置アリヤ  
答 無シ

情 況

諸報告ヲ綜合スルニ敵歩兵ハ曾屋西南方堀ノ内南方高地ヨリ今泉ヲ經テ曾屋西北端ニ亘ル線ヲ占領シ其主力ハ曾屋東端附近ニ集合シツツ在ルカ如シ

問 支隊長ハ如何ナル時機ニ於テ攻勢ニ轉スルヲ適當トスルヤ  
答 敵カ第一線ヲ以テ概ネ我陣地前五六百米ニ達セシ時我歩砲兵ノ火力ヲ極度ニ發揚シテ敵ノ攻撃ヲ頓挫セシメ總豫備隊ヲ宇曲松北方森林以北ノ地區ニ増加シ宇曲松以北ノ全線ヲ以テ攻勢ニ轉スルヲ適當トス

說 明



第一節 決戦防禦

現在即チ敵ノ先頭カ會屋西端ニ達セシ時モ一ノ乘スヘキ機會ニ相違ナキモ會屋西側ノ地形ハ稍、錯雜シ在リテ不統一ノ戰鬪ヲ爲スヲ免レス寧ロ本陣地ノ長所タル火力發揚ニ便ナルヲ利用スルヲ可トス  
凡ソ決戦防禦ヲ爲ストキハ高級指揮官ハ上述ノ如ク攻勢移轉ノ時機ヲ全般ノ情況ヨリ洞察シテ豫定シ置クヲ要ス

情況

間モナク我監視部隊ハ敵ノ爲壓迫セラレテ陣地内ニ歸還ス支隊長ハ右地區守備隊長ノ報告並ニ小原展望哨ノ報告又自己ノ觀察等ニ依リ敵兵漸次御嶽道、念佛塚ノ線ニ進ムヲ知ル

午後二時頃支隊長ハ小原展望哨ヨリ敵ノ砲兵會屋ヨリ西北ニ通スル道路ヲ榎堂附近ニ陣地進入中トノ報告ヲ受ク

問 支隊長ノ處置

答 砲兵ニ射撃開始ヲ命ス

情況

此ニ於テ我砲兵第一中隊ハ射撃ヲ開始シ敵砲兵ニ尠ナカラヌ損害ヲ與ヘタルカ如シ(野砲操草二ノ七二)

午後二時三十分頃敵ハ西秦野村高地ヨリ念佛塚附近ニ亘ル線ニ展開シ一齊ニ我ニ向ヒ前進運動ヲ開始ス其兵力ハ本道以南約一、二大隊、同以北約四、五大隊ナルカ如シ

問 歩兵第一聯隊第一線各中隊長ハ處置アリヤ

答 有リ中隊ヲ陣地ニ就ク(歩操二ノ六四)

情況

支隊長ハ總豫備隊ニ波多川附近ニ位置變換ヲ命ス敵砲兵ハ其主ナルモノ(約三中隊)ハ榎堂附近、一部(約二中隊)ハ今泉南方地區ニ在リテ我砲兵ニ向ヒ射撃ヲ開始ス

第一節 決戦防禦



第一節 決戦防禦

問 砲兵大隊長ノ目標配當如何

二〇四

答 第一、第二中隊 本道以北ノ敵歩兵

第三中隊 板堂ノ敵砲兵主力野砲操草二ノ七二ノ二

情 況

本道以北ノ敵ハ我有効ナル射撃ヲ受ケ或ハ隊形ヲ變換シ又ハ地物ヲ利用シ其行進モ若干遲滯セシカ如キモ同以南ノ敵兵ハ何等ノ妨碍ヲ受ケスシテ前進ヲ繼續シ約十分ノ後ニハ散兵線ハ石打場西端ノ線ニ達ス

問 歩兵第二聯隊第三中隊長ノ處置

答 射撃開始歩操二ノ六九ノ二

情 況

午後三時三十分頃敵第一線ハ山地方面ニ於テハ平澤村地  
239. 高地ヨリ枋窪村東方約四百米閉鎖曲線東端附近ニ達

シ其兵力ハ約二、三中隊、平地方面ハ陣地正面約六、七百米ノ線ニ達シ彼我歩砲兵ノ射撃最モ猛烈ヲ極メ其砲彈ハ字曲松北方森林北端附近ニ集中セラレ該方面死傷續出スルニ至レリ然レトモ敵線モ損害多大ナルカ如ク攻撃頓挫ノ徴現ハル

問 午後三時三十分ニ於ケル支隊長ノ決心

答 支隊ハ直ニ敵ノ右翼ニ向ヒ攻勢ニ轉セントス(歩操二ノ七二)

問 此決心ヲ實施スル爲如何ナル方式ニ依リ命令ヲ下スヤ

答 各別命令ヲ次ノ順序ニ下達ス

- 1 砲兵大隊長
- 2 總豫備隊長
- 3 歩兵第一聯隊長
- 4 歩兵第二聯隊第一大隊長

情 況

支隊長ハ前述ノ決心ヲ取ルト同時ニ直ニ左ノ命令ヲ下ス

第一節 決戦防禦

二〇五



砲兵大隊長へ

A 支隊命令 八月九日午後三時三十分  
於千村東方高地

一 支隊ハ直ニ堀川村方向ヨリ敵ノ右翼ニ向ヒ攻勢ニ轉  
セントス

二 砲兵大隊ハ主力ヲ以テ敵ノ右翼ヲ射撃シ支隊ノ攻撃  
ヲ援助スヘシ

三 予ハ直ニ第一聯隊ト共ニ敵ノ右翼ニ向ヒ前進ス  
口達ス

步兵第一聯隊第一大隊長へ

A 支隊命令 八月九日午後三時三十分  
於千村東方高地

一 (前ニ同シ)  
二 總豫備隊ハ即刻第一聯隊長ノ指揮下ニ入ルヘシ

三 (前ニ同シ)

電話ヲ以テシ尙副官ヲ以テ口達ス

步兵第一聯隊長へ

A 支隊命令 八月九日午後三時三十分  
於千村東方高地

一 (前ニ同シ)

二 步兵第一聯隊ハ直ニ敵ノ右翼ニ向ヒ攻撃前進スヘシ  
總豫備隊ハ爾後貴官ノ指揮下ニ入ル

三 (前ニ同シ)

電話ヲ以テシ尙副官ヲ以テ口達ス

步兵第二聯隊第一大隊長へ

A 支隊命令 八月九日午後三時四十分  
於千村東方高地

一 (前ニ同シ)



第一節 決戦防禦

二 歩兵第二聯隊第一大隊及機關銃一小隊、工兵一小隊ハ  
第一聯隊ノ攻撃ヲ援助スヘシ

三 (前二同シ)

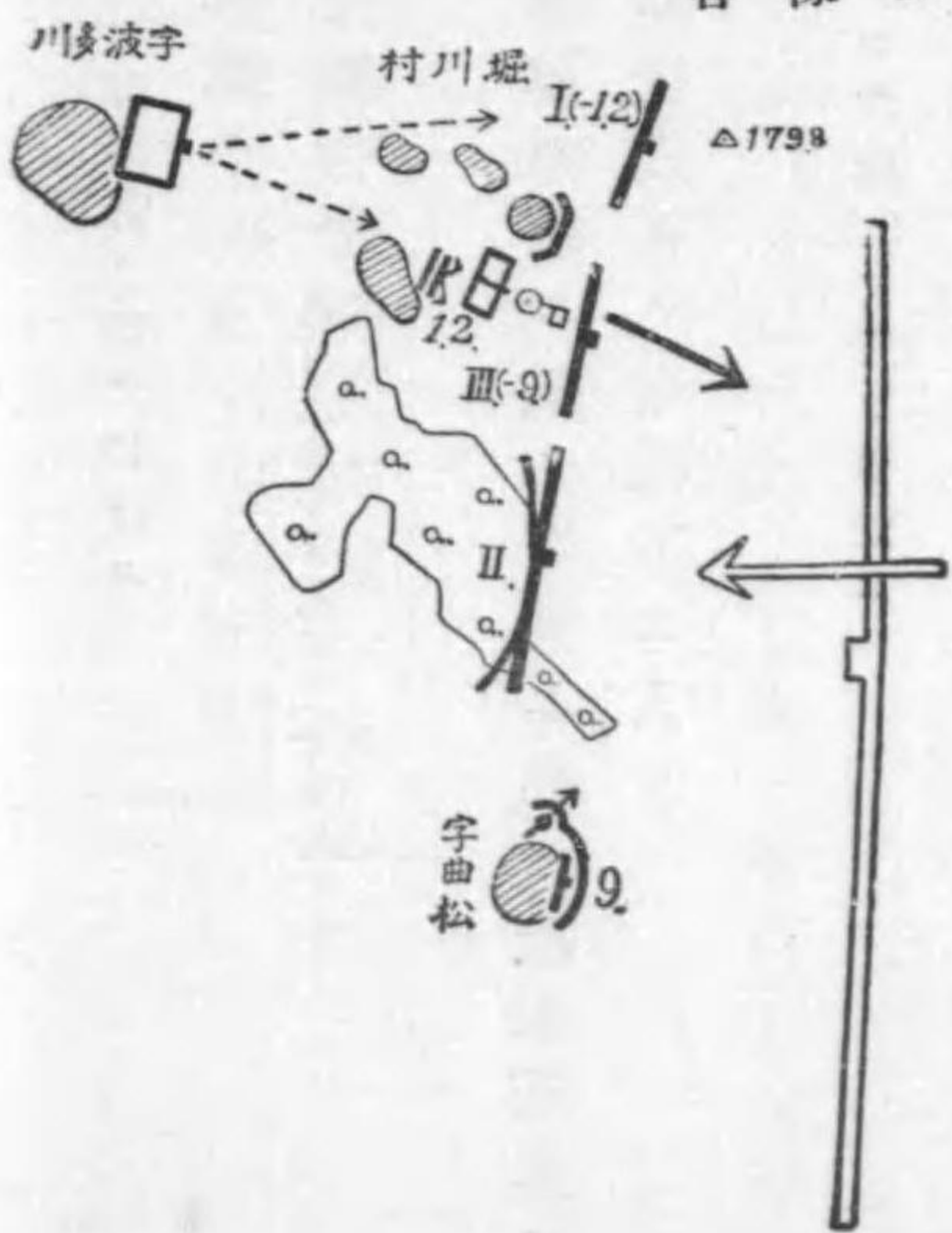
電話ヲ以テス

問 歩兵第一聯隊

長ノ處置要圖答

解

答 下圖ノ如シ



情 況

諸隊ハ攻撃前進ノ命ヲ受クルヤ勇氣頓ニ百倍シ午後三時  
五十分歩兵第一聯隊ノ全線ハ猛烈ノ射撃ヲ行ヒ續イテ前  
進運動ヲ開始ス此時右地區守備隊ノ機關銃二銃モ山ヲ下  
リ澁澤村東北側高地ニ現出シ射撃ヲ開始ス敵砲兵ハ猛射  
ヲ我ニ加ヘ我死傷續出シ慘怛タル光景名狀スヘカラス然  
レトモ我砲兵ノ効力ハ更ニ大ナルモノノ如シ我第一線ハ  
毫モ屈スル所ナク益前進ヲ繼續シ終ニ敵ト相距ル約百米  
ヲ出テサラントスル頃ホヒ敵兵ノ動搖ノ色ヲ認ム乃チ聯  
隊長ハ決意軍旗ヲ第二中隊ノ先頭ニ翻ヘシテ突撃ヲ實施  
ス



第二節 持久防禦

想 定 (所要地圖二十萬分一 東京、秦野、松田總領)

曾屋平地ヲ領有シ師團ノ同平地ニ進出ヲ容易ナラシムヘキ  
任務ヲ以テ御殿場―厚木道ヲ神戸(伊勢原西方)ニ向ヒ東進中  
ナル西軍A支隊長少將某、歩兵第一聯隊、同第二聯隊第一大隊、  
騎兵第一中隊、山砲兵第一大隊、工兵第一中隊、衛生隊第二半部  
ハ八月十二日午前七時前衛歩兵ノ先頭ヲ以テ松田總領中央  
三叉路ニ達ス此時迄ニ支隊長ハ左ノ情況ヲ知ル

1 師團通報ニ依レハ兵力未詳ノ敵ノ一兵團ハ昨十一日  
夜下鶴間附近ニ宿營シ今朝同地ヲ出發西進セリ

2 我騎兵中隊ハ曾屋東端附近ニ於テ微弱ナル敵騎ヲ驅  
逐シ續テ東進中ナリ



3 師團主力ノ先頭ハ本十二日夕關本ニ到著スル豫定ナ

リ

注意 地形ニ就テハ凡テ前想定ニ定メタルモノニ同シ

主要研究項目

- 一 支隊長ノ決心
  - 二 陣地判斷
  - 三 防禦配備
  - 四 前進陣地、前進部隊ノ動作
  - 五 集團工事
  - 六 決戰防禦ト持久防禦トノ差異
- 問題 午前七時ニ於ケル支隊長ノ決心
- 原案 支隊ハ攻撃ノ目的ヲ以テ依然前進ヲ續行セントス
- 理由

支隊ノ任務ヲ達成スルニハ曾屋東方高地線ヲ占領スルヲ最良ノ手段ナリトス敵ハ今朝下鶴間ヲ發シ西進セシヲ以テ支隊カ前進ヲ繼續セハ或ハ中途此敵ト遭遇戰ヲ惹起スルヤモ計ラレス然レトモ任務達成ノ爲ニハ決シテ之ヲ辭スル能ハス故ニ支隊ハ依然神戸ニ向ヒ前進スルヲ要ス步操二ノ

處置

- 一 敵情ヲ各隊ニ通報ス
- 二 自ラ砲兵隊長ヲ從ヘ前衛本隊ノ先頭ニ到ル

情況

午前八時前衛步兵第一聯隊長ノ指揮スル步兵第一大隊、機關銃一小隊、騎兵一分隊、工兵第一中隊ノ先頭ハ千村十字路ニ達ス此時騎兵中隊ヨリ左ノ要旨ノ報告ニ接ス

步兵七、八大隊ヲ基幹トセル敵ハ大山街道ヲ西進中ニシ



第二節 持久防禦

テ午前七時厚木ニ達スルノ距離ニ在リ  
同時支隊長ハ師團長ヨリ左ノ訓令ヲ受領ス

1 師團主力ノ行進ハ道路不良ノ爲遅延シ明十三日朝  
ニアラサレハ關本ニ達スルヲ得ス

2 貴官ハ成ル可ク師團ノ來著迄決戦ヲ避クルコトヲ  
勉ムヘシ

問題 午前八時ニ於ケル支隊長ノ決心

原案 支隊ハ千村附近ニ陣地ヲ占領シ敵ヲ拒止セントス

理由

- 一 敵ノ兵力ハ殆ト我ニ倍シ我若シ前進ヲ繼續セハ落幡附近ニ於テ遭遇  
戦ヲ惹起スヘシ同地附近ハ劣勢ヲ以テ優勢ニ對シ遭遇戦ヲ爲スニ有利  
ナル地形ニアラス故ニ支隊ハ同地以西ニ於テ防禦ヲ爲ササルヘカラス
- 二 支隊ハ任務上爲シ得レハ曾屋東方高地ニ陣地ヲ占領シテ此敵ヲ拒止

スルヲ可トス然レトモ該陣地ハ敵ニ近ク殆ト半遭遇戦的ニ之ヲ占領セ  
サルヘカラサルヲ以テ設備ニ餘裕ヲ有セス爲ニ陣地弱ク且敵カ右翼方  
面ニ逼ルトキハ直ニ決戦ヲ惹起スルノ虞アリテ師團長ノ訓令ニ依リ師  
團主力ノ來著迄決戦ヲ避クヘキ現在ノ情況ニ於テ本陣地ヲ占領スルハ  
不可ナリ

三 曾屋南方高地モ亦正面ニ於テハ堅固ナルモ兩翼ニ於テ敵ノ近接容易  
ニシテ持久戦ニ不適當ナリ唯千村附近ハ其位置曾屋平地ノ一隅ニ在リ  
ト雖而カモ任務ノ達成ヲ妨ケス兩翼ヲ山地ニ依托シ又時間ノ餘裕アル  
ヲ利用シテ陣地ヲ堅固ニスルヲ得ルノミナラス一部ヲ以テ曾屋東方高  
地線ヲ占領シ敵ノ前進ヲ遲滞セシムレハ益々時間ノ餘裕ヲ得ルカ故ニ支  
隊ハ倍數ノ敵ニ對シテモ尙裕ニ師團主力ノ來著迄敵ヲ拒止シ得ヘシ

說 明

前想定ニ於テ研究セシ澁澤村附近ノ陣地ハ本情況ニ於ケル支隊ノ陣地ニ適  
セス何トナレハ敵ノ兵力ハ著シク優勢ナルカ故ニ同陣地ハ一翼若クハ兩翼



共ニ敵ノ包圍ニ對シ薄弱ナルノミナラス正面ハ運動容易ナル平地ナルヲ以テ忽チ決戰ヲ惹起シ長時間敵ヲ拒止スルヲ得ス

處置

- 一 前衛ニ在リシ步兵第一聯隊第一大隊(二中隊欠)ニ騎兵一分隊山砲兵第一中隊ノ一小隊ヲ屬シ會屋東方高地線ヲ占領シ敵ノ前進ヲ遲滯セシム
- 二 爾餘ノ諸隊ハ千村西南側畑地ニ開進セシム但シ步兵第一聯隊第三中隊ハ字曲松附近ニ位置シ主力ノ開進ヲ掩護セシム
- 三 大行李ハ吉田嶋村ニ停止セシム
- 四 支隊長ハ砲工兵隊長副官傳騎ヲ伴ヒ陣地偵察ヲ爲ス
- 五 情況及決心ヲ師團長ニ報告ス

說明

1 前進部隊ノ兵力編組ニ就テ

本情況ニ於ケル前進部隊派遣ノ目的ハ敵ノ前進ヲ遲滯セシメ本陣地構築ノ爲成ル可ク時間ノ餘裕ヲ得ルト同時ニ敵ノ本陣地攻撃開始ノ時刻ヲ遲

延セシメ支隊カ師團主力ト合スル迄本陣地ニ於テ敵ヲ拒止スル時間ヲ減少セントスルニアリ若シ前進部隊ノ抵抗ニ依リ敵ヲシテ本日没前ニ本陣地ニ近接セシメサルヲ得ハ最モ有利ナリト雖敵カ前進陣地前ニ現出スル時刻午前十時頃及會屋東方高地附近ノ地形ハ如何ニ有力ナル前進部隊ヲ以テスルモ斯ノ如キ長時間ノ抵抗ヲ爲ス能ハス殊ニ此前進陣地ハ本陣地ヨリ遠ク敵ノ爲各個ニ擊破セラレル虞多シ故ニ此場合大ナル兵力ヲ之ニ充ツルハ適當ナラス步兵一大隊ハ支隊兵力ノ四分ノ一ニ相當スルヲ以テ稍過大ナリ即チ步兵一大隊長ノ指揮スル二中隊ニテ可ナラン而シテ前記ノ目的上一部ノ砲兵ヲ附スルヲ要スト雖此砲兵モ亦威力ヲ發揚スルノ主旨ニアラスシテ敵ヲシテ我砲兵ノ存在ヲ認メ遠距離ニテ展開シ慎重ナル動作ヲ爲サシメ以テ時間ノ餘裕ヲ得ントスルニアリ故ニ砲兵モ亦一中隊ハ過大ニシテ一小隊ニテ可ナリ而シテ騎兵ノ主力ハ前進部隊ト同一目的ヲ以テ動作スヘキカ故ニ前進部隊長ノ指揮ニ入ラシムルヲ可トスルカ如シト雖騎兵ハ前進部隊退却後尙特別ノ任務ヲ有スルヲ以テ一時ノ便宜上



指揮系統ヲ變更スルヨリモ寧ロ協同動作セシムレハ可ナリ  
 2 陣地占領掩護隊ト前進部隊トノ差異ニ就テ

前想定ニ於ケル陣地占領掩護隊(歩兵一中隊ト一小隊ヲ上大槻南方高地及善波峠ニ派遣セリ)ト本情況ニ於ケル前進部隊トノ目的及其動作ヲ混淆スルコトナキヲ要ス前者ノ目的ハ主力ノ陣地占領ヲ掩護スルニアルヲ以テ陣地占領未タ終了セサル時機ニ敵ノ攻撃ヲ受クルトキハ極力頑強ニ抵抗セサルヘカラス若シ主力ノ陣地占領終了セハ掩護隊未タ敵ノ攻撃ヲ受ケサル場合ニアリテモ既ニ本陣地ニ退却シテ可ナリ而シテ其退却スヘキ時機ハ通常高級指揮官ヨリ命令セラルルモノトス然ルニ後者ノ目的ハ敵ノ攻撃ヲ受クルニ至リテ始メテ達成シ得ラルルモノナルト同時ニ適當ナル時機ニ撤退シ各個ニ擊破セラレ或ハ全滅ニ陥ルカ如キコトナキヲ要ス

問題 持久防禦ノ目的ヲ以テ千村附近陣地判斷  
 原案 支隊ハ各一部ヲ以テ澁澤村南方高地及宇小原附近ヲ主

力ヲ以テ千村東方高地ヨリ宇地代附近ニ巨ル間ヲ占領  
 スルヲ要ス

理由

一 支隊ハ倍數ノ敵ニ對シ十數時間持久戰ヲ爲ササルヘカラス之カ爲其占ムヘキ陣地ハ兩翼ヲ特ニ堅固ナル支撐點ニ托スルヲ必要トス澁澤村南方高地ハ南方山地ニ於ケル最高所ニシテ且地形敵ノ近接困難以テ右翼ヲ托スルニ足ルヘク左翼ノ據點トシテハ宇小原北方高地ニ最モ適當トス

二 前述ノ如ク支隊ノ持久戰ヲ爲ス時間ハ比較的長時間ナリ故ニ敵ハ此間一部ヲ以テ我側背ニ迂回ヲ企ツルヤモ計ラレス此處ハ右側方面ニ於テ最モ甚シ蓋シ右側前方ハ左側ニ比シテ地形稍平易ナルト敵進路ノ關係上此動作ヲ容易ニスルヲ以テナリ即チ支隊ハ敵ノ此等ノ行動ニ備ヘサルヘカラス之カ爲ニハ右側方面ニ於テハ有力ナル一部ヲ以テ高尾村谷地ヲ警戒セシムルヲ要ス



第二節 持久防禦

- 三 前記兩地點ヲ兩翼ノ支撐トシ千村東方高地ヲ中央ノ據點トスルトキハ陣地ハ堅固ニシテ支隊ノ目的ニ適スルモノト云フヘシ此際本陣地ノ正面ハ約一里ニ亘リ支隊ノ兵力ニ比シ稍過廣ノ感アリト雖地形ト戰闘ノ目的ハ我ニ不利ナル影響ヲ與ヘス(步操二ノ九二)
- 四 砲兵ハ前進スル敵ニ多大ノ損害ヲ與ヘ且歩兵ト協力シテ敵ノ攻撃ヲ斷念セシメサルヘカラス野砲操草二ノ六五之カ爲前地ニ於ケル敵ハ悉ク之ヲ制壓シ得ルヲ要ス即チ多クノ障地ニ分置スルヲ可トス
- 五 本陣地ニ對シテハ敵ハ我師團ノ來著ニ先チ速ニ之ヲ攻陷センカ爲主力ヲ以テ中央據點ニ向ヒ攻撃シ來ルナラン故ニ支隊ハ主力ヲ以テ中央據點タル千村東方高地附近各一部ヲ以テ兩翼據點ヲ占領スルヲ要ス然ルニ中央據點ト小原附近ノ據點トノ中間間隔稍大ナルヲ以テ敵ノ一部ト雖此間ニ進入センカ直ニ我退路ナル隘路口ヲ脅威セラレ苦痛ヲ感スルニ至ルヘシ此ヲ以テ字地代附近ニ中間小據點ヲ占領セシムルヲ可トス況ンヤ支隊ハ敵ノ夜襲ニ對抗スルノ願慮大ナルニ於テオヤ

處置

- 六 敵ハ或ハ多少時間ヲ要スルノ不利ヲ忍ビ我右翼ノ據點ヨリ攻略セントスルヤモ計ラレス之ニ對シ右翼ニハ稍有力ナル一部ヲ備ヘ殊ニ陣地ノ設備ヲ盡シ置クヲ必要トス
- 處置
  - 一 歩兵一大隊機關銃一小隊ヲシテ澁澤村南方高地ニ陣地ヲ占領セシム但シ一部ヲ以テ高尾村北方304高地ヲ占領セシメ高尾村谷地ニ對シ警戒セシム
  - 二 聯隊長ノ率キル歩兵一大隊半機關銃一小隊欠ヲシテ主力ヲ千村東方高地一部ヲ以テ字地代北側附近ヲ占領セシム
  - 三 歩兵二中隊ヲシテ字宮地北方高地凸出部附近ヨリ小原ヲ經テ同地北方高地ニ亘ル間ヲ占領セシム
  - 四 山砲兵一中隊ヲ澁澤村南方高地同一中隊ヲ千村附近同一中隊ヲ菖蒲村西方2689高地附近ニ陣地ヲ占領セシム
  - 五 歩兵四中隊ヲ總豫備隊トシテ千村西側高地西麓附近ニ位置セシム

第二節 持久防禦



第二節 持久防禦

六 騎兵中隊ハ高尾村方向ニ在リテ右側ノ警戒ニ任セシム

一一三

情 況

支隊長ハ千村東方高地ヨリ澁澤村、宇曲松、宇地代ヲ經テ再  
ヒ千村東方高地ニ歸來ス此間砲兵大隊長ヲシテ砲兵陣地  
ノ偵察ヲ爲サシメ在リシカ同隊長モ間モナク該高地ニ歸  
來シ又命令受領ノ爲各隊長モ集合ヲ了レリ時ニ午前八時  
四十分ナリ

支隊長ハ砲兵大隊長ノ報告ニ依リ澁澤村南方高地、千村附  
近、喜蒲村西方 3680 高地ハ凡テ砲兵陣地ニ適當ナルヲ知ル

問 支隊長ノ下スヘキ陣地占領命令

答

A 支隊命令 八月十二日午前八時四十分  
於千村東方高地

第二節 持久防禦

- 一 歩兵七、八大隊ヲ基幹トセル敵ハ大山街道ヲ西進中ニ  
シテ午前八時厚木ニ達スルノ距離ニ在リ
- 二 支隊ハ千村附近ニ陣地ヲ占領シ敵ヲ拒止セントス  
歩兵第一聯隊第一大隊(二中隊欠)、騎兵一分隊、山砲兵第一  
中隊ノ一小隊ハ敵ノ前進ヲ遲滯セシメ且陣地占領ヲ掩  
護スル爲會屋東方高地線ヲ占領ス
- 三 歩兵第一聯隊第二大隊ハ澁澤村東北側高地以南ノ地  
區ヲ射撃シ得ル如ク 321 高地ヨリ澁澤村南側高地ニ亘  
リ陣地ヲ占領シ特ニ一部ヲ以テ千村東方高地東側斜面  
ヲ側防スル如ク設備スヘシ
- 一部ヲ以テ高尾村北方 3044 高地ヲ占領シ高尾村谷地ヲ  
警戒セシムヘシ

一一三



機關銃一小隊、工兵一小隊ヲ附ス

四 歩兵第一聯隊第一大隊(二中隊欠)、第二大隊並機關銃一小隊ハ澁澤村ヨリ堀川村ニ亘ル間ヲ射撃シ得ル如ク主力ヲ千村東方高地、一部ヲ以テ宇地代北側附近ヲ占領スヘシ

五 歩兵第二聯隊第一大隊(二中隊欠)ハ宇地代東側地區以北ヲ射撃シ得ル如ク宇宮地北側高地ヨリ宇小原ヲ經テ301.7高地ニ亘ル間ヲ占領スヘシ

六 山砲兵大隊ハ一部ヲ以テ主トシテ會屋西側地區ヲ射撃シ得ル如ク澁澤村南方高地ニ、主力ヲ以テ平澤村高地ヨリ三屋村ニ亘ル間ヲ射撃シ得ル如ク千村東端並ニ菖蒲村西方268.9高地附近ニ陣地ヲ占領スヘシ但シ一中隊

分ノ豫備陣地ヲ主トシテ波多川河谷ヲ射撃シ得ル如ク千村十字路附近ニ設備スヘシ

七 騎兵中隊ハ前任務ヲ續行シ後高尾村附近ニ位置シテ支隊ノ右側ヲ警戒スヘシ

八 歩兵第一聯隊第一大隊(二中隊欠)、歩兵第二聯隊第三、第四中隊、工兵中隊(一小隊欠)ハ總豫備隊トス千村西方高地西麓附近ニ位置スヘシ但シ工兵中隊ハ一部ヲ以テ砲兵大隊、主力ヲ以テ歩兵第一聯隊ノ陣地占領ヲ援助シタル後豫備隊ノ位置ニ到ルヘシ

九 衛生隊ハ千村ニ繙帶所ヲ開設スヘシ  
十 予ハ現在地ニ在リ

支隊長 某 少將



傳達法

步兵第一聯隊長、同第二大隊長、步兵第二聯隊第一大隊長、砲兵大隊長、工兵中隊長、衛生隊長ヲ集メテ口達シ、步兵第一聯隊第一大隊長、騎兵中隊長、大行李長ニハ筆記シテ送付ス

前進部隊ノ動作

步兵第一聯隊第一大隊長ハ部下二中隊、騎兵一分隊、山砲兵第一中隊ノ一小隊ヲ率キ會屋東側高地ヲ占領シ、敵ノ前進ヲ遲滯セシムヘキ命ヲ受ク

問 步兵第一聯隊第一大隊長ノ處置

答1 騎兵尖兵ニ情況ヲ通報シ成ル可ク速ニ騎兵中隊ト連絡セシム

2 歩兵下士卒ノ背囊ヲ卸シ之ニ若干ノ監視兵ヲ附シ千村ニ置カシム但シ器具ハ之ヲ携行セシム

3 歩兵一小隊ヲ尖兵トシ先ツ會屋ニ向ヒ前進ス

情況

午前九時尖兵ノ先頭平澤ニ達ス此時砲兵小隊ハ既ニ後尾

ニ追及シ又騎兵中隊ハ午前八時二十分神戸附近ニ於テ優勢ナル敵騎ト遭遇シ漸次南方ニ退却中ナルコトヲ知ル  
問 前進部隊陣地占領要圖但シ善波峠附近ノ森林ハ展望及射撃ヲ妨ケサル雜樹林ナリ  
答 左圖ノ如シ



セシメ得ハ最モ可ナリ之カ爲廣キ正面ニ亘リ要點ヲ悉ク占ムルヲ可トス是レ此部隊ハ持久戰ヲ行ハントスルニアレハ廣キ正面ヲ占領スルモ差支ナシ(歩操二ノ九二)

道路ノ關係上敵ノ主力ハ自然南方ニ來ルヘク之カ爲前進部隊ノ主力ハ南方ニ置キ一部ヲ以テ善波峠ヲ抑ユルヲ要ス

前進部隊ノ陣地占領ニハ爾後ノ退却ヲ顧慮スルコト特ニ必要ナリ之カ爲退却ノ時機ト方法トハ豫メ考究シ置クヲ要ス乃チ主力ヲ金目川河谷ニ配置セハ退却ニモ便ナリ然レトモ廣正面ニ在ル部隊ヲ統一指揮ノ下ニ退却セシムルハ至難ナルカ故ニ此際豫メ信號ヲ規定ス

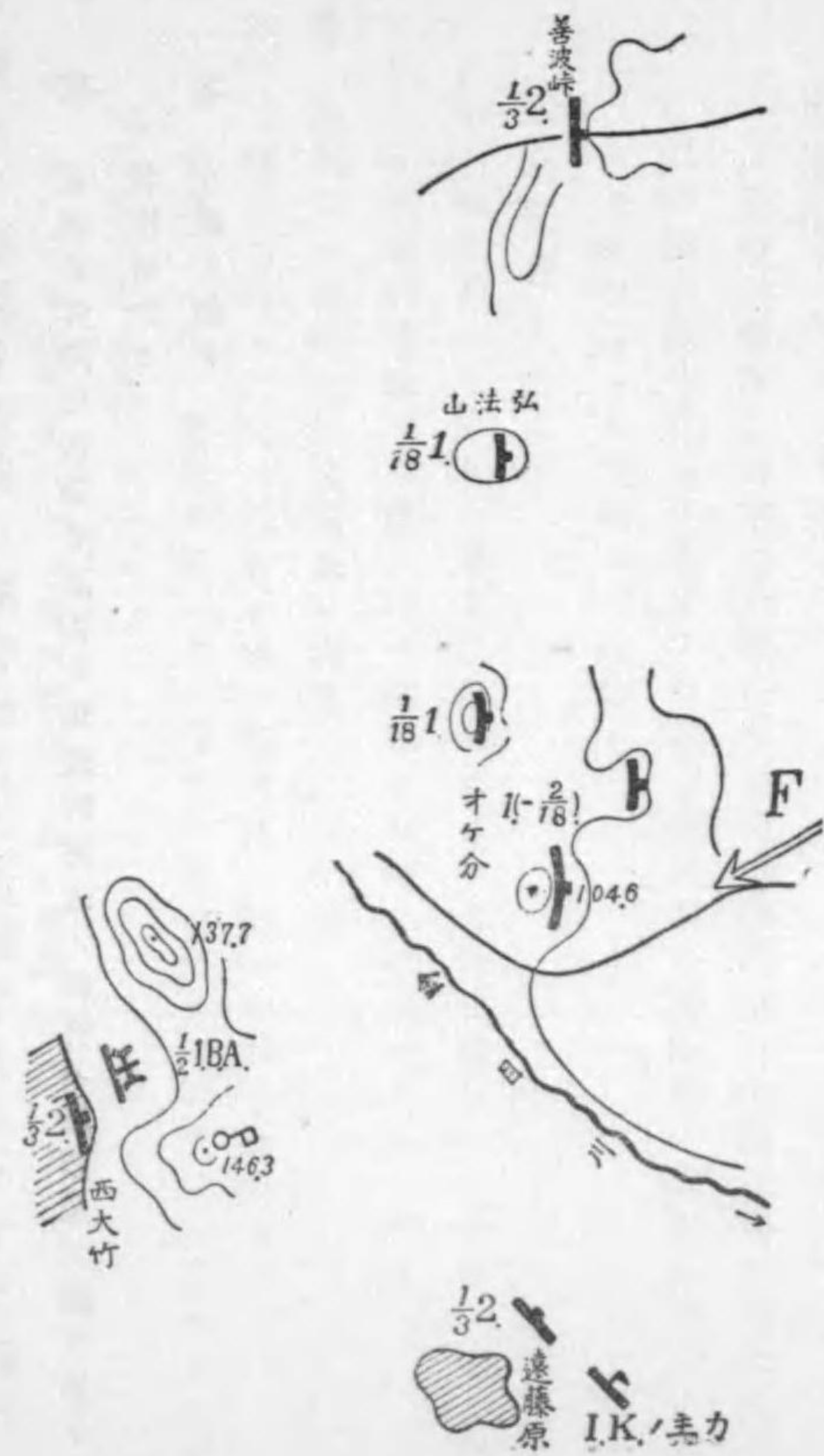
前述ノ如ク前進部隊ノ目的持久戰ニアルヲ以テ砲兵ヲ以テ成ル可ク敵ヲ遠距離ニ支フルハ其最モ希望スル所ナリ西大竹附近ノ砲兵陣地ハ此要求ニ適合ス(野砲操草二ノ七〇)

情 況

午前十時前進部隊ハ遠藤原並ニオケ分東方104.6高地ニ在

前進部隊カ其任務ヲ達成スル爲ニハ若シ敵ヲシテ前進陣地ヲ本陣地ト誤認

說 明





リシ騎兵中隊ヲ赴援シ概ネ陣地占領ヲ了ル敵騎ハ南矢名附近ニ停止シ在リ乃チ步兵第一中隊ハ一小隊ヲ同村ニ派遣シ之ヲ眞田方向ニ驅逐ス我騎兵中隊ハ主力ヲ以テ在遠藤原第二中隊ノ二小隊ノ右翼ニ移ル

午前十一時敵ノ步兵縱隊ノ先頭ハ落幡南端ニ現出ス乃チ我砲兵ハ射撃ヲ開始シ敵步兵ヲシテ再ヒ村落内ニ隱匿セシム次テ敵步兵部隊眞田附近ニ現出ス我砲兵又之ニ猛射ヲ加フ敵ハ一旦停止セシカ再ヒ諸種ノ方法ヲ以テ前進ヲ企圖スルカ如ク或ハ金目川河谷或ハ南矢名高臺上ニ多クノ歩兵部隊ノ行動スルヲ見ル我砲兵ハ益射撃ノ威力ヲ發揮ス午前十一時三十分敵砲兵ハ落幡附近ヨリ射撃ヲ開始シ此ニ彼我砲戰開始セラルルニ至レリ午前十一時五十分

頃ニ至リ敵ハ北矢戸附近、南矢名附近ニ展開シ我ニ向ヒ攻撃シ來ル其兵力約二大隊ニ及フ此時北方善波峠方向ニ銃聲熾ナリ

問 第一大隊長ノ決心

答 直ニ本陣地ニ向ヒ退却セントス

理由 既ニ前進部隊ハ敵ノ前進ヲ約一時間遲滞セシメタリ而シテ敵ハ今

ヤ二三大隊ノ展開ヲ了リ漸次攻撃ヲ進捗セシメントス故ニ此以上現陣地ニ止マレハ敵ト離脱困難トナリ所謂前進陣地ノ弊ニ陥ルヘシ

問 之カ爲ノ處置如何

答 1 第二中隊ノ一小隊ヲシテ西大竹東方高地ニ收容陣地ヲ占領セシム

2 第一中隊並ニ善波峠ノ一小隊ヲ先ツ退却セシメ次テ他ヲ退却セシム之カ爲大旗信號ヲ用フ

3 最後ニ砲兵及收容隊ヲ退却セシム

4 退却目標ハ千村トス



說明

此退却ニ方リテハ本陣地ヲ占領スル我部隊ノ射撃ヲ妨ケサル如クセサルヘカラス之カ爲此場合ハ善波峠ノ一小隊ノ外ハ悉ク南方山地ノ北麓ニ沿ヒ善波峠ノ一小隊ハ北方ヨリ千村附近ト字地代附近ノ中間地區ヘ退却スルヲ適當トス(歩操二ノ五七)

集團工事並ニ陣地設備ノ研究

說明

防禦線ヲ連續セル火線ト爲ストキハ徒ニ兵力ヲ吸收セラルルノミナラス一點ノ陷落ヨリ全線ノ破滅ニ陥ルヘシ殊ニ夜間ニ於テ然リトス之ニ反シ集團工事ヲ用ユルトキハ容易ニ攻略セララルコトナク縱ヒ一部突破セララルモ他ノ部分ハ依然之ヲ固守スルヲ得ヘシ歩操二ノ六九工操二ノ六九支隊ノ陣地ハ三個ノ集團工事ヨリ成立シ在リ即チ 一、澁澤村南方高地 二、千村東方高地 三、字小原ノ高地是ナリ而シテ二ト三トノ中間字地代ニ工事ヲ施セリ(陣地判斷理由參照此等各集團工事ノ間隔並ニ前地ハ隣集團ヨリ互ニ有効ニ

射撃シ得ル如クスルコト肝要ナリ

情況

歩兵第一聯隊第二大隊長ハ千村東方高地上ニ於テ陣地占領ニ關スル命令ヲ受領セリ此時大隊ハ千村西側畑地ノ開進地ニ大隊縱隊ニ集合シ在リ又大隊ニ屬スヘキ機關銃隊、工兵小隊モ同地ニ在リ

問 大隊長ノ處置

答 1 古參中隊長ニ命シ大隊ヲ千村―篠窪村道ヲ字窪之庭西北方約四百米ノ交叉點ニ到リ同所ヨリ山背ヲ傳ヒ澁澤村南方標高821西北方約三百米三又點附近ニ引率シ來タラシム

2 自ラ大隊副官工兵小隊長ヲ伴ヒ陣地偵察ノ爲先行ス

問 第二大隊並ニ山砲兵第二中隊陣地占領要圖

答 (附圖第八參照)



情 況

步兵第一聯隊長ハ支隊命令受領後直ニ陣地偵察ニ從事ス  
其結果次ノコトヲ知ル

1 澁澤村ハ各家屋悉ク圍墻ヲ有シ道路ノ外通過困難  
ナリ

2 同谷地ヲ流ルル水流ハ水少ナキモ兩岸絕壁ヲ成ス

3 森林ハ凡テ軍隊ノ運動自在ナリ其樹木ハ樹枝鹿砦  
ヲ構築スルノ材料ト爲スヲ得

4 波多川西側ヲ流ルル川ハ徒涉困難ナリ

問 步兵第一聯隊並ニ砲兵大隊主力陣地占領要圖

答 (附圖第八參照)

問題 決戰防禦ト持久防禦ト異ナル主要ナル點ヲ列舉ス  
ヘシ

答解 左表ノ如シ

項目	防禦ノ種類	決戰防禦	持久防禦
目的	機ヲ得レハ攻勢ニ轉シ敵ヲ殲滅ス	時間ノ餘裕ヲ得	
陣地	攻勢ニ轉シ得ル地帯ヲ要ス	攻勢地帯ヲ要セス全般ニ堅固ナルヲ要ス	
正面	小	大	
配備	防支ニ任スル兵力ヲ成ル可ク節約シ豫備隊ヲ大ニス	目的、時間、地形ニ依リ異ナルモ多クノ場合豫備隊小	
豫備隊ノ主ナル用途	攻撃	第一線増加	
豫備隊編成	建制	必スシモ建制ナルヲ要セス	
豫備隊ノ位置	爲シ得レハ決戰ヲ企圖スル翼側後	多クハ中央後	



第三章 追撃ノ應用

想 定(所要地圖附圖第九及東町櫻町)

敵ヲ擊攘スヘキ任務ヲ以テ八月二十日中央街道ヲ前進セル  
東軍混成第一旅團(長少將某、步兵第一旅團、騎兵第一中隊、野砲  
兵第一大隊、工兵第一中隊、衛生隊第二半部、輜重若干)ハ櫻町方  
向ヨリ前進シ本朝來雲山附近ヨリ乙部ヲ經テ楠附近ニ亘リ  
陣地ヲ占領シ在ル敵ニ對シ午前十一時以來攻撃中ニシテ正  
午頃ニ於ケル戰況附圖第九ノ如シ

備考

- 1 東町西南方約一里ノ森林ハ矮樹ニシテ運動及射撃ヲ妨ケス
- 2 平時偵察ノ結果ニ依レハ源平川ハ石澤ヨリ下流ハ夏季ノ水深平均ニ  
米五〇ニシテ東町附近ニ於テハ義經橋及宗盛橋ノ外橋梁ナシ



主要研究項目

- 一 旅團ノ追撃目標
- 二 旅團ノ追撃部署
- 三 追撃ニ於ケル歩兵ノ動作
- 四 追撃ニ於ケル砲兵ノ動作
- 五 收容及後衛陣地ニ對スル攻撃
- 六 戰場外ノ追撃

情況

正午頃兩翼隊我砲兵ノ援助ノ下ニ攻撃前進ニ努ムルモ敵ノ巧妙ナル防禦工事殊ニ敵砲火ノ爲戰鬪ノ進捗意ノ如クナラス  
午後零時二十分頃左翼隊長ハ南明東方神社ノ高地ニ在リテ左ノコトヲ知ル

1 電山展望哨ノ報告

目下敵ノ砲兵約一中隊ハ燕附近ヲ又歩兵約二中隊ハ趙(東町)西北方約千米及本多(東町)西南方約千五百米附近ヲ退却中

2 在淵邊騎兵中隊長通報

斥候ノ報告ニ依レハ午前十一時半以來敵ノ大ナル車輻縱隊ハ檜山及萱澤附近ヲ西方ニ行進中ナリ

問 午後零時二十分ニ於ケル左翼隊長ノ決心  
答 左翼隊ハ前面ノ敵ヲ追撃セントス

説明

前面ノ敵ハ決戦ヲ交ユルニ至ラスシテ今ヤ退却セントスルモノノ如ク其第一線部隊ハ今尙頑強ニ抵抗スト雖間モナク退却スルコト疑ヒナシ故ニ左翼隊ハ速ニ當面ノ敵ニ肉薄急追シテ之ヲ捕獲シ以テ最後ノ決定的打撃ヲ加フ



ルヲ要ス之カ目的遂行ノ爲ニハ地形ノ制限ヲ受ケサル限リハ萬難ヲ排シ極力追撃ヲ續行スルヲ要ス此際左翼隊長自カラ何レノ地點マテ追撃スヘキヤヲ決定スヘキ時機ニアラス

問 右決心ニ基テ左翼隊長ノ處置ノ大要

答イ 部下各隊ニ敵情ヲ通報シ第一線大隊ノ攻撃ヲ督勵ス

ロ 機關銃一小隊ヲ第二大隊長ニ、同二小隊ヲ第三大隊長ノ指揮下ニ入ラ

シム(機操草一〇〇)

ハ 豫備隊タル第十一、第十二中隊ハ第三大隊ノ後方ニ續行セシム

ニ 敵情、決心及處置ノ大要ヲ旅團長ニ報告シ且右翼隊砲兵大隊並ニ騎兵中隊ニ通報ス

### 情 況

午後零時二十五分頃稍沈滞ノ狀ニ入ラントセル兩翼隊ノ第一線ハ俄然活氣ヲ呈シ敵ノ步砲火ヲ冒シツツ猛烈ナル攻撃前進ヲ爲ス

右翼隊ハ浪川ノ線ニ達スルコトヲ得タルモ敵ノ抵抗頑強ニシテ般若寺北方高地ノ機關銃ハ我前進ヲ阻碍スルコト甚シク前進意ノ如クナラス

左翼隊方面ニ於テハ戰況大ニ進捗シ足利及南明西方神社ノ高地ノ線ニ達スルヲ得タルモ雲山及名和ノ敵砲兵ハ我ヲ側射シ爲ニ前進漸ク遲滞スルニ至レリ

午後零時三十分雲山、乙部、楠ノ敵兵殆ト一齊ニ退却ヲ開始スルヤ兩翼隊ハ敵砲火ヲ冒シ勇ヲ鼓シテ前進ス

同時頃旅團長ハ日和山ニ在リテ以上ノ戰況ヲ目撃シ且前述ノ諸報告ヲ受領ス

問題 午後零時三十分ニ於ケル旅團長ノ決心

原案 旅團ハ源平川ノ線ニ向ヒ追撃セントス



理由

一 敵ハ打撃ヲ被ムルコトナク隨意ニ退却モシモノナルヲ以テ案外近クニ停止スルコトナキヲ保シ難キモ源平川左岸ニ於テ再ヒ眞面目ノ抵抗ヲ行ハントスルハ彼自ラ窮地ニ陥ルヘキヲ以テ多分速ニ同河右岸ニ退却スルニ努ムルナラン

二 旅團ハ敵ノ源平川渡河ノ混亂ニ乘シ速ニ之ヲ捕捉シ以テ同河ニ壓迫殲滅スルヲ要ス而シテ敵ハ該窮境ヨリ脱センカ爲星ヶ峯雪ヶ嶽ノ高地ニ據リ頑強ナル抵抗ヲ試ムルコトヲ我ニ於テ豫メ覺悟セサルヘカラス故ニ旅團ハ敵ヲシテ同高地附近ニ停止シ得サラシメンカ爲現在ノ第一線部隊ヲ以テ猛烈ニ源平川ニ壓迫スルコトニ勉ムルト同時ニ一方同地附近ノ攻撃ニ際シ徒ニ正面ヨリ力攻スルノ困難ヲ輕減シ且櫻町附近ニ於ケル敵ノ集結ヲ側背ヨリ攻撃センカ爲速ニ一部ヲ以テ敵ノ側背ニ急進セシムルヲ要ス

説明

1 此際追撃目標ヲ遠ク源平川ヲ越エテB町附近ニ探ルハ一應ノ考ナルカ如シト雖我追撃ハ源平川ノ障礙ニ依リ同河以西ノ追撃ハ戦況ニ應シ新タナル計畫ノ下ニ實行セラレサルヘカラス故ニ旅團ハ速ニ源平川ノ障礙ニ壓迫スルヲ以テ第一ノ目的トスルヲ適當トス

2 比較的集結シ進出ニ便ナル部隊ヲ以テ速ニ追撃隊ヲ編組シ第一線部隊ヲ超エ新銳ノ追撃力ヲ以テ敵ヲ壓迫シ既ニ追撃中ニ在ル各部隊ヲ速ニ集結シテ敵ノ反撃ニ備フルト同時ニ爾後整然タル追撃ヲ行フハ追撃戦闘ノ要旨ナリ(歩操二ノ七五ノ二)之カ爲現在ノ第一線部隊ヲシテ先ツ東町西側地區若クハ霞山附近ニ到ラハ戦場追撃ヲ中止シテ隊伍ノ整頓秩序ノ恢復ヲ爲サシメ爾後整然タル追撃ヲ爲スヲ可トスルカ如シト雖本情況ヲ考察スルニ敵ハ打撃ヲ被ムラサルト同時ニ我第一線モ亦多少ノ損害ハ之アリシモ追撃力ニ於テ十分ノ餘裕アルノミナラス源平川ニ到ル間ノ地形ハ我追撃ヲ制スルモノナク唯雪ヶ嶽星ヶ峯附近ニ於テ有力ナル敵ノ抵抗ヲ豫期シ得ヘキモ我追撃愈々迅速猛烈ナルニ從ヒ敵ノ源平川右岸ニ退却スル動



作ヲ益、困難ナラシメ得ルノ利アリ故ニ旅團ハ現在ノ隊勢ヲ以テ一氣ニ源平川ノ線ニ敵ヲ壓迫スルヲ要ス

問 午後零時三十分ニ於ケル旅團長ノ決心ニ伴フ處置

答イ 右翼隊ハ東町北端湯澤宮田、小藤ヲ連ヌル線(含ム)以北ノ地區ヲ源平川

ノ線ニ向ヒ追撃セシム

□ 左翼隊ハ右線(含マス)以南兵衛、寂滅寺、宋襄、雪ヶ嶽48高地、片桐ヲ連ヌル線(含ム)以北ノ地區ヲ源平川ノ線ニ向ヒ追撃セシム

ハ 豫備隊タリシ歩兵第一聯隊第三大隊騎兵中隊ノ主力、野砲兵一中隊、工兵一小隊ヲ追撃隊トシ兵衛、寂滅寺、宋襄、雪ヶ嶽48高地、片桐ヲ連ヌル線(含

マス)以南ノ地區ヲ源平川ノ線ニ向ヒ追撃セシム

但シ野砲兵一中隊ハ後刻追及セシム

ニ 野砲兵第一大隊(一中隊欠)ハ中央街道ニ沿ヒ源平川ニ向ヒ追撃セシム

ホ 左翼隊ノ二中隊ハ旅團長ノ使用ニ供シ得ル如ク東町ト兒島トノ中間地區ニ集合セシム

ヘ 工兵第一中隊(一小隊欠)ハ左翼隊ニ續行シ楠ヲ經テ東町南側ニ前進セシム

ト 衛生隊及野戰病院ハ速ニ患者ノ處置ヲ終リ中央街道ヲ櫻町ニ向ヒ前進セシム

チ 先進輜重ハ中央街道ヲ櫻町ニ向ヒ前進セシム

リ 旅團長ハ東町南側附近ニ集結セシ歩兵二中隊及工步中隊(一小隊欠)ト共ニ中央街道ニ沿ヒ前進ス

說明

1 旅團ノ追撃正面ハ大約一里半ニ擴張シ之カ爲敵ノ反撃ニ對シ又指揮ノ困難ニ關シ多少ノ懸念ノ嫌アルカ如キモ敵ノ退却状態ヲ判斷スルトキハ其主力ハ中央及敷島街道ニ沿ヒ又其一部ハ雪ヶ嶽南側孔明街道方面ニ退却スヘキヲ以テ旅團カ追撃ノ效果ヲ發揚センカ爲ニハ成ル可ク速ニ敵ノ退路ニ迫ル如ク並行的追撃ヲ適當トスルノミナラス雪ヶ嶽ノ斷崖及同地附近ノ敵ノ抵抗並ニ源平川渡河ノ爲櫻町附近ニ於ケル敵ノ集結ヲ考フル



## 第三章 追擊

二四六

トキハ有力ナル一部隊ヲ孔明街道方面ヨリ溢出的ニ追擊セシムルハ蓋シ最モ必要且適當ナル動作トス

- 2 凡ソ追擊ハ敵ニ物質的損害ヲ與フルト同時ニ精神的打撃ヲ與フルコトニ依リ其目的ヲ達成スルヲ得ルモノトス單ニ後方ヨリ加フル追擊ハ動モスレハ敵ノ小部隊ノ爲阻支セララルルノミナラス敵ノ精神上ニ及ホス影響モ亦尠ナシ之ニ反シ側方ヨリノ追擊ハ志氣沮喪セル敗者ヲシテ意外ノ恐怖心ヲ生セシムルモノナリ乃チ一小部隊ト雖其側方ニ現出セハ既ニ我ニ超越セラレテ其退路ヲモ失フニ至ル如キ感ヲ起シ志氣ヲ益沮喪セシメ遂ニ之ヲ潰走ニ陥ラシムルニ至大ノ効果アルモノトス故ニ追擊ハ數縱隊ト成リテ併進シ敵ノ收容陣地及後衛陣地ニ衝突セハ直ニ之ヲ包圍シ若クハ之ニ顧慮スルコトナク敵主力ノ側方ニ迫リ得ル如ク兵力ヲ部署スルヲ可トス從テ追擊ハ通常比較的廣正面ヲ以テ行フニ至ルモノトス

- 3 敵カ東町附近ヨリ退却スルニ際シ其全般ノ收容陣地ヲ霞山椅子山ノ線附近ニ選定スルコトハ略々判斷シ得ヘク尙源平川渡過ノ爲有力ナル後衛ヲ

シテ星ヶ峯、雪ヶ嶽ノ線ヲ占領シ頑強ニ抵抗セシムルコトハ前既ニ述ヘタルカ如シ故ニ旅團カ速カニ源平川ノ線ニ進出セントセハ途中少ナクモ敵ノ二陣地ヲ攻撃セサルヘカラス而シテ此攻撃ニ際シ旅團長ハ成ル可ク各隊ヲ統一シテ戦闘セシムルコトニ努力スヘシト雖之カ爲各隊ノ追擊動作ヲ遲緩セシムルハ不利ナリ故ニ豫メ各隊ニ遠ク源平川ニ達スルマテノ追擊地區ヲ分割シ其範圍内ニ於テ各隊ニ獨斷的動作セシムルノ自由ヲ與ヘ置クト同時ニ砲兵ノ主力ハ兩翼隊ニ配屬スルコトナク旅團長ノ直轄トシテ中央街道ニ沿ヒ追擊シ適時兩翼隊ノ追擊ヲ援助シ得ル如クスルノ外旅團長ハ不時ノ事變ニ際シ直接使用スル爲若干ノ豫備ヲ保有シツツ前進スルヲ要ス

- 4 追擊隊ノ編組ハ情況ニ依リ異ナルヘシト雖本情況ニ於テハ尙新銳ナル豫備隊ヲ有スルヲ以テ之ヲ充ツヘキハ言ヲ須タス而シテ騎兵、砲兵ノ偉大ナル効果ヲ發揚セシムルコトヲ顧慮シ騎兵ノ主力ノ外砲兵ノ主力(二中隊)ヲモ配屬スルヲ可トスルカ如キモ本情況ニ於ケル追擊隊ハ主力ト分離



シテ側方ヨリ追撃スルノミナラス主力ハ隊伍ノ整頓ヲモ行フコトナク途中敵ノ抵抗ヲ豫期シツツ追撃ヲ續行スルカ故ニ第一線部隊ヲ超越シテ追撃スル普通ノ追撃隊トハ多少趣ヲ異ニスルヲ以テ此場合砲兵ノ主力ヲ之ニ附スルハ適當ナラス

情 況

午後零時三十五分頃左翼隊前面ノ敵ハ乙部、瀧貝ノ諸村落ニ掩蔽シツツ東町及兒島方向ニ退却中ニシテ第一線歩兵ハ概シテ敵陣地前四百米附近ニ於テ追撃射撃ヲ爲シツツ在ルモ名和ノ敵砲兵ハ依然頑強ニ左翼隊ノ第一線ヲ猛射ス

問 砲兵大隊長ノ處置

答 退却中ノ敵歩兵ヲ射撃ス

情 況

間モナク左翼隊前面ノ敵ノ大部ハ東町及兒島東端ヲ連ヌ

ル線附近ヲ先ヲ争ヒ退却中ニシテ兩翼隊ノ第一線ハ將ニ敵陣地ニ進入セントシツツ在リ此時雲山及名和ノ敵砲兵ハ俄然射撃ヲ中止ス

問 砲兵大隊長ノ處置

注意 午後零時三十分旅團長ノ決心ニ基キ砲兵一中隊ヲ追撃隊ニ附ス

ル如ク決定セシモ勿率ノ間未タ砲兵大隊長ニ傳達シアラス

答1 第一中隊ヲシテ中央街道ヲ東町西端ニ向ヒ陣地變換

2 砲兵大隊ノ主力ハ依然現在陣地ニ在リテ追撃射撃ヲ續行シツツ追撃準備ヲ爲サシム

說 明

此際全砲兵一時ニ陣地ヲ變換シ射撃ヲ中止スルハ適當ナラス一部ヲシテ速ニ侵略セル陣地ニ進入シテ歩兵ニ協力セシメ主力砲兵ハ依然退却スル敵ニ對シ射撃ヲ行フヲ可トス而シテ此砲兵モ機ヲ失セス前進スル爲直ニ之カ準備ヲ爲サシムルヲ要ス(野砲操草二ノ五一)



情 況

追 撃

午後零時四十分右翼隊ハ雲山ノ中腹ニ達シ左翼隊ハ乙部、楠麓西端ヲ連ヌル線ニ進出ス

左翼隊ノ右翼大隊タル第一大隊ハ乙部ノ西端ニ於テ本道ノ北側ニ第一、第二中隊、南側ニ第三、第四中隊ヲ展開シ東町南北兩側地區ヲ退却中ノ敵歩兵ニ追撃射撃ヲ加ヘシモ前面ノ監獄及獨立丘阜ヲ占領セル各一小隊ノ敵歩兵ノ射撃最モ猛烈ヲ極メ爲ニ大隊ハ前進遲滞ノ色アリシカ各中隊ノ奮勵ニ依リ勇敢ニ前進スルヤ該敵モ亦退却ヲ開始ス此頃右翼隊ハ般若寺西方高地西南麓ヲ最左翼トシテ雲山高地ヲ超エテ前進シツツ在リ

注意 乙部西方小森林ハ伐採セラレ在リ

問 左翼隊第一大隊長處置アリヤ

答 左翼ノ第三、第四中隊ハ依然追撃前進第一、第二中隊ハ監獄南側附近ニ集結セシム

說 明

敵兵我有効射撃界ヲ脱セントスルヤ大隊長ハ大隊ヲ提ケテ之ヲ急追シ潰亂ニ陥ラシムルヲ要ス歩操一ノ一六四故ニ大隊ハ速ニ全力ヲ以テ先ツ東町西端ニ進出スルコトヲ企圖セサルヘカラス然ルニ右翼隊ノ最左翼ハ盤若寺西方高地西南麓迄延長シ在ルヲ以テ該左翼前進セハ東町北端迄其戰線擴張スヘク且大隊ノ前面ニ在ル東町ハ追撃ニ便ナラス唯左翼二中隊ハ東町南側ニ沿ウテ停車場附近ニ進出シ追撃射撃ヲ爲スニ適ス故ニ左翼二中隊ハ此際直ニ集合シ大隊長ノ手裡ニ掌握シ大隊ハ全力ヲ以テ東町南側ヨリ敵ヲ追撃スルヲ要ス

情 況

午後一時稍前左翼隊ノ第二、第三大隊ハ兒島北方丘阜ヨリ  
+15 獨立丘阜ノ間ニ進出スルヤ俄然椅子山方面ヨリ敵砲兵

追 撃



ノ疾風の掃射ヲ浴セラル第一大隊ノ左翼二中隊モ稍後レテ東町西端ヨリ停車場西側ノ線ニ進出スルヤ該砲兵ノ射撃ヲ受ク此時敵ノ歩兵ハ趙、大韓、本多ノ線附近ヲ隊伍混亂シテ退却中ナリ

問 左翼隊第一大隊第三、四中隊長ノ處置

答 前面ノ退却中ノ敵歩兵ニ追撃射撃

情 況

午後一時十分頃兩翼隊ハ鐵道線路附近ヨリ燕ヲ經テ兒島西方無名部落ノ線ニ達ス

砲兵第一中隊長ハ前方ノ猛烈ナル銃砲聲ヲ聞キツツ中央街道ヲ急進シ此頃東町東端ニ達ス

問 砲兵第一中隊ハ何處ニ陣地ヲ選定セントスルヤ

答 東町西北端附近ニ陣地ヲ占領セントス

說 明

本情況ニ於ケル陣地選定ノ要件ハ速ニ最有効射距離ニ進出シ最モ迅速ニ陣地ニ進入シ直ニ射撃ヲ開始シ得ルニ在リ東町西北端附近ハ此要件ニ合ス此ノ場合ニ於ケル砲兵射撃ノ主ナル目的ハ歩兵ノ追撃ヲ援助スルニアラスシテ遠大ナル射程ト猛烈ナル火力ヲ以テ敵ヲシテ再ヒ停止シ若クハ其軍隊ヲ整頓スルヲ得ザラシメ之ヲ潰亂ニ陥ラシムルニ在リ野砲操草二ノ七八

情 況

午後一時二十分頃砲兵第一中隊ハ東町西北端小學校附近ニ陣地進入セントスルヤ椅子山ノ敵砲兵ノ射撃ヲ受ケ若干ノ損害アリシモ勇ヲ鼓シテ陣地ニ進入スルヲ得タリ此頃第一線歩兵ハ椅子山東方森林西端ヨリ大韓、本多ヲ經テ同地南方無名部落ノ線ニ進出シ得タルモ椅子山及霞山ニ在ル各約一、二中隊並ニ明月ヲ占領セル約一、二小隊ノ敵歩兵殊ニ霞山ニ在ル約四銃ノ機關銃及椅子山ノ砲兵ハ第一



線ニ對シ猛射スルコト甚シク前進之カ爲容易ナラス一方  
退却中ノ敵歩兵約二大隊ハ目下湯澤西川附近ヲ混亂シテ  
退却中ナリ

問 砲兵第一中隊長ノ射撃目標  
答 退却中ノ敵歩兵ヲ射撃ス

情況

間モナク砲兵大隊ノ主力モ亦東町停車場附近ニ陣地ヲ占  
領シ霞山附近ノ敵ニ對シテ射撃ヲ開始ス  
午後一時四十分孔明街道ヲ急進中ノ追撃隊ハ行ク行ク優  
勢ナル敵ノ騎兵ヲ撃退シツツ前進シ其歩兵先頭ヲ以テ兵  
衛ニ達ス此時追撃隊長ハ霞山方面ニ於ケル猛烈ナル戰鬪  
並ニ我騎兵中隊ハ寂滅寺南方無名部落ノ敵騎ヲ攻撃中ナ  
ルヲ目撃ス此時其指揮ニ入ルヘキ砲兵中隊ハ未タ來ラス

問 追撃隊長ノ決心  
答 依然前進ヲ續行セントス

説明

霞山方面ニ於ケル猛烈ナル戰鬪ハ敵ノ收容隊ノ頑強ニ抵抗スルガ爲ナルコ  
ト明カナリ追撃隊ハ此敵ニ顧慮スルコトナク敵主力ノ側背ニ進出スル如ク  
一意西進ヲ續行スレハ霞山附近ノ敵モ亦已ムヲ得ス速ニ退却セサルヘカラ  
サルニ至ルヘケレハナリ

情況

午後一時五十分頃霞山附近ノ敵ハ一齊ニ退却ス此ニ於テ  
第一線歩兵及砲兵ハ猛烈ナル追撃射撃ヲ行フ  
續イテ兩翼隊ハ前進運動ヲ起シ停車場附近ニ在リシ砲兵  
第三中隊ハ追撃隊ニ加ハル爲運動ヲ開始ス  
午後二時十分乃至二十分ノ間ニ於テ左翼隊ノ第一線龜田

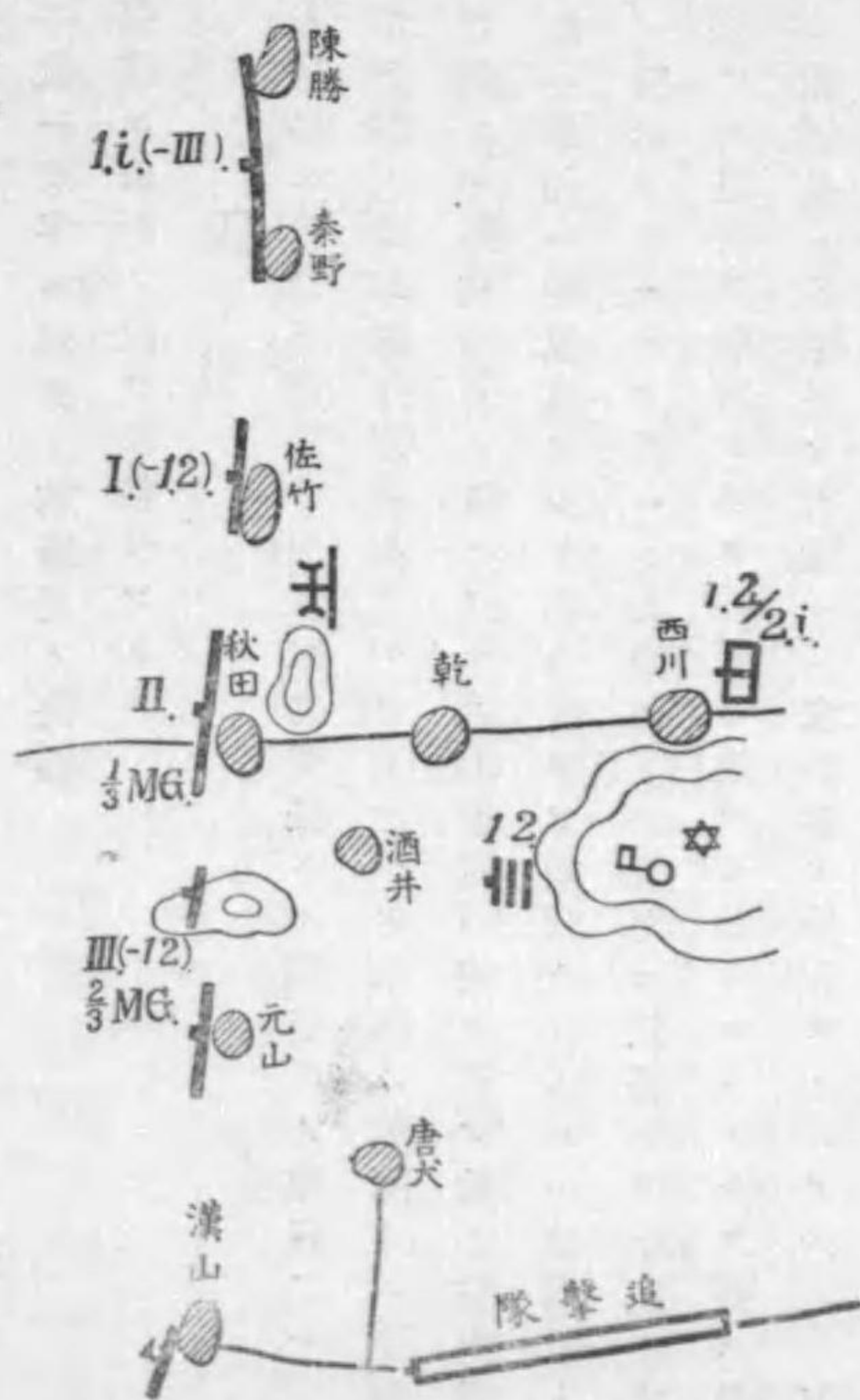


乾酒井大窪ノ線ニ進出スルヤ俄然萱澤南方高地及星ヶ峰ノ敵砲火ヲ受ク其射撃比較的正確ニシテ損害多キノミナラス其陣地亦明カナラス第一線歩兵前進遲滞ノ狀アリ左翼隊長ハ霰山ニ在リテ視察スルニ敵ノ歩兵ハ星ヶ峰標高45附近ヨリ柏戸北方高地ニ亘リ又雪ヶ嶽東端斷崖上ニハ點々歩兵アルノミナラス菊見西南方高地ニモ若干ノ歩兵アルモノノ如ク約一大隊ハ砦堤六郷村附近ヲ散亂シテ又約一中隊ハ元山附近ヲ退却中ナリ

間モナク我砲兵大隊ハ敵砲火ヲ冒シツツ秋田東方高地北側ニ陣地ヲ占領シ退却中ノ敵歩兵ヲ猛射ス此ニ於テ第一線奮起シ前進ヲ勵行スルモ敵砲兵ノ射撃猛烈ニシテ且諸隊ハ頗ル疲勞シ攻撃進捗意ノ如クナラス

此頃右翼隊ハ陳勝、秦野ノ線ニ達セシモ同様前進困難ノ狀況ニ在リ

午後二時三十分頃ニ於ケル旅團ノ狀況左ノ如シ





問 午後一時半ニ於ケル旅團長ノ決心  
答 迅速ニ前面ノ敵ヲ攻撃セントス

説明

敵ハ頗ル巧妙ニ退却ヲ實施セリト雖其背後ニハ源平川ノ障礙アルカ故ニ大ナル混雜ヲ醸シ退却動作意ノ如クナラザルヘク前面ノ敵陣地ハ堅固ナリト雖何等設備ナキ陣地ナルノミナラス我追撃隊ハ間モナク敵ノ左翼背ニ進出スルカ故ニ旅團ハ兩翼隊ヲシテ極力追撃ヲ續行セシムレハ追撃隊ト相待チテ豫期ノ目的ヲ達スルヲ得ヘシ此際部下ノ現況ニ眩惑シテ半途ノ成功ニ甘ンシ果敢ナル追撃ヲ躊躇シ功ヲ一篋ニ缺クカ如キコトナキヲ要ス(歩操二ノ七四)故ニ旅團長ハ各隊長ヲ督勵シ一意追撃ヲ續行スルニアルノミ即チ戦闘後ハ勝者ノ疲勞モ大ナリト雖敗者ハ體力氣力共ニ一層困憊シ其疲勞殆ト極度ニ達スルモノナルカ故ニ此際各級指揮官ハ部下ニ對シテ過劇ノ動作ヲ要求スルコトヲ避クヘカラス(歩操二ノ七六)

情況

間モナク第一線ハ砲兵援助ノ下ニ前進チ起シ右翼隊ハ主力ヲ以テ敷島街道方面ヨリ左翼隊ハ中央街道及元山方面ヨリ攻撃前進チ勵行シ追撃隊ハ第一線ニ關スルコトナク孔明街道ヲ急進中ナリ  
第一線部隊長ハ奮勵努力大ニ攻撃前進チ督勵スルモ敵歩砲火熾ニシテ損害亦多ク各方面共前進困難ヲ感スルニ至リ午後二時頃漸ク堇、鴨居、早蕨、菊見ノ線ニ達スルヲ得タリ是ヨリ先キ追撃隊ハ地藏寺東方及南方高地ヲ占領セル約一、二中隊ノ敵ニ對シ漢山方面ヨリ全力ヲ舉ケテ攻撃中ナルモ敵ハ巧ニ高地ヲ利用セルヲ以テ案外戦闘ノ進捗意ノ如クナラス

午後四時頃ニ至リ第一線ハ漸ク高地脚ノ線ニ達スルヲ得



タリ此時孔明街道方面ノ銃砲聲最モ激烈ニシテ續イテ喊聲起ル

間モナク兩翼隊前面ノ敵モ亦一齊ニ退却ヲ開始セシテ以テ我第一線モ山上ニ駆ケ登リテ急追ス

午後四時二十分頃第一線ハ概シテ星ヶ峰稜線ヨリ天神祠西方高地前端ノ線ニ進出シテ南北街道附近ヲ退却中ノ敵ヲ追撃射撃中ニシテ追撃隊ハ大竹西南方高地ノ敵ニ對シ一部ヲ以テ蘭山附近ヨリ攻撃シ主力ヲ以テ櫻町南方地區ヲ退却中ノ敵ニ對シ大竹附近ニ在リテ側方ヨリ射撃シ大ニ損害ヲ與ヘツツ在リ

此頃旅團長ハ柏戸ニ來リテ右ノ情況ヲ知ルト同時ニ騎兵斥候ノ報告ニ依リ敵ノ主力ハ今ヨリ約一時間前ヨリ小松

西方ニ架設セル軍橋義經橋及宗盛橋ヲ經テ源平川右岸ニ移リ殆ト混亂シテ中央及孔明街道ヲB町方向ニ退却中ナルヲ知ル

問 午後四時二十分過キニ於ケル旅團長ノ決心及處置ノ概要

答1 旅團ハB町ニ向ヒ追撃ヲ續行セントス

2 處置ノ大要

- イ 歩兵第二聯隊第一大隊機關銃隊(一小隊欠)騎兵一分隊野砲兵一中隊工兵一小隊ハ右追撃隊トナリ中央街道ヲB町ニ向ヒ追撃セシム
- ロ 從來ノ追撃隊ハ左追撃隊トナリ孔明街道ヲB町ニ向ヒ追撃セシム
- ハ 右翼隊ハ櫻町北側地區ニ左翼隊右追撃隊欠ハ櫻町西南側ニ集結セシム

砲兵大隊(二中隊欠)ハ櫻町西端ニ停止セシム  
右諸隊ヲ爾後本隊トシテ右追撃隊ニ續行セシム



第四章 退却ノ應用

第一想定(所要地圖附圖第十及<sup>東町</sup>西町)

- 一 八月八日朝來決戰ノ目的ヲ以テ櫻町東方高地線ヲ占領セルA支隊長少將某、步兵第一聯隊、步兵第二聯隊第一大隊、騎兵第一中隊、野砲兵第一大隊、工兵第一中隊、衛生隊第二半部、歩砲兵彈藥各一縱列、野戰病院一個ハ午前十一時頃ヨリA町方向ヨリ前進セル優勢ナル敵ノ攻撃ヲ受ケ戰鬪中ニシテ正午頃ニ於ケル情況附圖第十ノ如シ
  - 二 正午稍前支隊長ハ軍訓令ニ依リ速ニB町ニ向ヒ退却スルニ決ス
- 地形上ノ假想

- 1 源平川及其他ノ諸小流ハ徒涉容易ナリ



- 2 宮田南方森林ハ高サ約一米トス
- 3 檜山附近ノ菓樹林及桑畑ハ畑地ニ改耕セラレ在リ

主要研究項目

- 一 第一線部隊退却實施ニ至ル迄高級指揮官ノ爲スヘキ主要ナル處置
  - 二 全般收容部隊ノ兵力及編組
  - 三 全般收容陣地ノ選定及占領法
  - 四 行進目標ノ選定
  - 五 退却ニ關スル支隊命令
  - 六 各部隊收容陣地選定
  - 七 退却ニ於ケル砲兵ノ使用法
- 問 正午ニ於ケル支隊長ノ決心ニ基キ第一線部隊退却實施ニ至ル迄ニ爲スヘキ主要ナル處置
- 答1 大行李輜重衛生隊野戰病院ヲ除クハ即時左ノ通り退却ヲ命ス

- イ 大行李ハ中央街道ヲC村ニ
- 輜重衛生隊野戰病院ヲ除クハ中央街道ヲD村以西ニ
- 但シ在生隊ハル步兵彈藥半縱列ハ敷島街道ヲ退却
- 2 衛生隊野戰病院ハ直ニ撤去シ左ノ如ク退却ヲ命ス
- イ 衛敷梅川ニ島街道ヲC村ニ
- 野戰病院ハ中央街道ヲC村ニ
- 3 全般收容部隊及收容陣地ニ關スル命令ヲ下ス
- 4 第一線各部隊退却ニ關スル命令ヲ下ス

說明

1 行李輜重ノ退却ニ就テ

第一線各部隊ノ退却ニ先チ軍隊通路ノ自由ヲ得ンカ爲速ニ後方ノ處置ヲ講スルハ退却戰鬪指導上緊要ニシテ此事タル幾多ノ手數ト時間トヲ要ス故ニ高級指揮官退却ニ決心スルヤ第一著ニ之カ處置ヲ講スヘキハ勿論ニシテ一度其手續ヲ誤マランカ退却部隊多大ノ混亂ニ陥ルコト古來戰史ノ



第四章 退却  
證スル所ナリ

本情況ニ於テ大行李輜重ノ退却目標ヲ白旗川ノ線ニ選定セハ先ツ該線ニ退却セシメ次テ更ニ適當ナル地點ニ退却ヲ命セサルヘカラス退却戰鬪ノ大混雜中ニ於テ適時命令ヲ下シテ第二次ノ退却目標ニ向ハシムルコトハ實際混亂ト錯誤ヲ生起スヘキ顧慮極メテ多キヲ以テ寧ロ一擧ニ萬難ヲ排シ迅速ニ支隊ノ退却目標タルB町以西ニ退却セシムルヲ適當トス

支隊本夜ニ於ケル給養ハ敵ノ追擊狀態ニ依ランモ恐ラクハ携帶糧秣ヲ使用セサルヘカラサルナラン故ニ大行李ハ遠ク後方ニ退却ヲ命スルヲ可トスルカ如キモ大行李ニシテB町以西ニ退却スルヲ得レハ戰鬪部隊ノ動作ニ妨碍ト爲ルコト少ナキノミナラス情況ニ依リテハ軍隊ノ一部ハ或ハ之ヲ使用スルヤモ計リ難シ斯ノ如キヲ以テ大行李ハC村ニ其他ノ縱列ハC村以西ニ退却セシムルヲ適當トス衛生隊野戰病院ハ義經川右岸ニ於ケル戰鬪ヲ顧慮シ戰場ニ比較的近キC村ニ退却セシムルヲ可トス

2 晝間退却ニ就テ

軍事工藝ノ進歩ト共ニ將來晝間退却ノ至難ナルハ勿論ニシテ情況ノ許ス限リ夜間ヲ利用シテ退却スヘキモノトス歩操二ノ八一然ラハ將來晝間退却ヲ爲スヘキ場合皆無ナリヤト云フニ次ノ如キ情況ニ於テハ軍隊ハ已ムヲ得ス晝間退却ヲ行ハサルヘカラス

イ 夜暗迄退却ヲ遷延スルトキハ殲滅ニ陥ルカ如キ場合

ロ 擊退セラレタル場合

ハ 全般作戰ノ指導上速ニ兵力ヲ移動セントスル場合

日露戰役ニ於ケル鴨綠江、南山、得利寺ノ露軍ハ晝間退却ヲ行ヒシモ大ナル打撃ヲ被ムラサリシハ晝間退却比較的容易ナルヲ例證スルモノニアラスシテ日本軍ノ追擊動作ニ於テ缺クル所アルモノト思ハサルヘカラス

問 全般ノ收容陣地ヲ何處ニ選定スルヤ

答 電ヶ嶽、雷山ノ線トス

說 明

星ヶ峰頂上ノ線ハ第一線各部隊ノ退却ヲ直接收容セントスルニハ便ナレト



退却

モ第一線部隊ノ戰場離脱ハ通常各部隊自ラ行フヘキモノナリ即チ各部隊ノ存置シ在ル豫備隊ヲ以テ後方適當ノ地ニ收容陣地ヲ占領シ以テ退却ヲ實施スルヲ原則トス本情況ニ於テ雲ヶ峰星ヶ嶽及檜山西北方高地ハ第一線各部隊ノ收容陣地ノ線ナルコト明ナリ又星ヶ峰附近ヲ全般收容部隊ノ占領スルトキハ戰線ニ甚シク接近セルノ結果收容部隊自ラ敵追撃ノ渦中ニ投シ爲ニ退却部隊ヲシテ集合出發ノ餘裕ヲ與フルコト能ハス

戰況危急ノ場合ニ於テハ一部或ハ主力ヲ以テ攻勢ヲ取り敵攻撃ノ銳鋒ヲ挫折セシメ或ハ第一線ニ近ク全般ノ收容陣地ヲ占領スルカ如キコトナキニアラス然レトモ是レ戰況並ニ地形上已ムヲ得ス採用スル特種ノ方法ナリトス本情況ノ如キハ未タ決戰ヲ交ユルニ至ラス地形亦斯クノ如ク平易且第一線各部隊及高級指揮官ハ各豫備隊ヲ存シ在ルヲ以テ先ツ各部隊ノ收容戰ヲ以テ敵ノ猛烈ナル追撃ヲ緩和シ然ル後全般ノ收容ヲ以テ第二段ノ緩和ヲ計ル普通一般ノ收容戰ヲ行フヲ可トス

櫻町東端柳川東北方獨立丘阜ヲ經テ鐵島ニ亘ル線ハ星ヶ峰ヨリ近ク瞰制セ

退却

退却

退却

ラルルノミナラス其兩翼極メテ薄弱ニシテ敵ノ砲兵ニシテ若シ柏戸及星ヶ峰北端附近ニ現出スルニ於テハ忽チニシテ其抵抗力ヲ失ヒ全般收容ノ任務ノ主要ナル集合出發ノ餘裕ヲ與フル爲ニハ其陣地餘リニ薄弱ナリ

電ヶ嶽雷山ノ線ハ雪ヶ嶽ヨリ檜山附近ニ亘ル約四吉米ノ戰線ノ全般ヲ收容スル爲少シク後方ニ過クルノ感アルモ陣地其物ハ廣大ナル射界ヲ有シ韌強ナル抵抗ヲ爲シ得ヘク星ヶ峰一帶高地線トノ中間ハ恰モ谷地ノ如キ形ヲ成シ彼我ヲ識別シテ射撃スルニ容易ナルノミナラス敵ノ雲ヶ嶽星ヶ峰ノ線ニ現出スルヤ直ニ砲火ヲ酬ユルコトヲ得且其後方ニ於テ比較的敵ニ隱蔽シテ退却部隊ノ集結ヲ計リ得ル利アリ

問 全般收容隊ノ兵力編組如何

答 豫備隊タル步兵一大隊工兵一中隊ニ機關銃一小隊砲兵一中隊ヲ附ス

說明

支隊ハ步兵一大隊及工兵一中隊ヲ豫備トシテ存置シ在ルヲ以テ同隊ヲ基幹トシ之ニ若干ノ機關銃及砲兵ヲ附スルヲ以テ足レリトス而シテ機關銃ハ收



退

却

容隊ノ抵抗力ヲ強大ナラシムルニ必要ナリト雖之カ爲第一聯隊ノ機關銃全部目下豫備トシテ二小隊アルノミヲ收容隊ニ附スルトキハ同隊自カラ退却ニ支障ヲ生スルヲ以テ其一小隊ヲ收容隊ニ附スルヲ可トス

砲兵ハ遠距離ニ敵ヲ拒止スルノ能力アルヲ以テ收容隊ニハ成ル可ク多クノ砲兵ヲ附スルヲ可トスルカ如シト雖全砲兵ヲ收容隊ニ附スルトキハ支隊長ノ直接使用スヘキ砲兵ナキヲ以テ爾後ノ退却戰闘指導上多大ノ不便ヲ生スルノミナラス第一線各部隊カ陣地ヲ撤シ戰場ヲ離脱セントスル緊要ナル時機ニ於テ砲兵ノ全部ハ既ニ戰場ヲ去リテ收容陣地ニ向フヘキカ故ニ我歩兵ヲ猛射スル敵砲兵ヲ制壓スルモノナク又我歩兵ヲ急追セントスル敵歩兵ヲ遠距離ニ支阻スルモノナシ從テ我戰闘離脱頗ル困難トナリ或ハ潰走ニ陥ルナキヲ保セス斯クノ如キ場合ニ於テハ砲兵ノ主力ヲ暫ク陣地ニ止メ友軍ノ退却ヲ收容セシムヘキ時機ナリ故ニ全砲兵ヲ收容隊ニ附スルハ不可ナルノミナラス二中隊ヲ附スルモ亦不可ナリ主力砲兵ハ依然現陣地ニ止メ乃チ一中隊ヲ收容隊ニ附スルヲ適當トス

退

却

騎兵ハ主トシテ退却スル部隊ノ側翼ヲ警戒セシムル必要アルカ故ニ收容隊ニ附スルハ固ヨリ適當ナラス

問 行進目標ヲ何處ニ選定スルヤ

答 板及檜原トス

説明

退却目標トハ高級指揮官カ退却セント決心セル目標ニシテ唯一ナリ行進目標トハ退却スル各部隊ノ行進目標ニシテ退却目標ニ至ル間ニ一度或ハ數度選定スルコトモアリ戰況及地形ニ依リ此二者一致スルコトモ然ラサルコトモアリ

行進目標ヲ遠大ノ距離ニ選定スルモ各部隊ハ敵ノ追擊状態ニ應シ適時集結ヲ計リ且自ラ進ンテ高級指揮官ニ連絡ヲ取り或ハ友軍ニ連繫ヲ計ルヘキヲ以テ全然高級指揮官ノ手裡ヲ脱スト云フヲ得ス然レトモ退却戰闘ニ避クヘカラサル指揮ノ紛亂混雜ノ爲比較的永ク指揮官ノ手裡ヲ脱スルハ免ルヘカラサル所トス



高級指揮官トシテハ混亂ノ状態ヲ以テ退却スル軍隊ヲシテ成ル可ク速ニ隊伍ヲ整ヘ正々ノ退却ヲ實施スル如ク指導スルヲ緊要トス星ヶ峰ヨリB町迄五六里アリ此遠大ナル距離ヲ一氣ニB町迄退却セシムルハ適當ナラス行進目標ヲ白旗川ノ線ニ選定スルハ必スシモ不可ナラス然レトモ我支隊ノ兵力從來占領セル陣地ヨリノ距離及現戰況ニ照セハ稍過遠ノ嫌ナキ能ハス其全般收容陣地ヲ電ヶ嶽、雷山ノ線ニ選定スルニ於テハ尙一層近クニ於テ集結ヲ企圖シ得ヘシ

椿田、小松即チ源平川左岸地區ニ選定セハ收容陣地ノ後方ニ於テ相當ノ距離ヲ有シアルヲ以テ行進目標選定ノ要旨ニ一應合致スルカ如キモ更ニ能ク地形ヲ觀察スルトキハ其後方ニ源平川ノ横ハル在リテ該河ハ徒涉容易ナルモ少ナクモ障礙ノ性質ヲ有スルヲ以テ之ヲ越エテ行進目標ヲ選定シ以テ集結ノ手段ヲ講スルハ爾後ノ退却ニ便ナルノミナラス椿田、小松ハ電ヶ嶽、雷山ノ收容陣地ニ稍過近ノ嫌アリ

以上ノ如ク研究セハ行進目標ハ自ら榎、檜原ヲ以テ適當トス

左ニ少シク退却ニ關スル原則ノ説明ヲ加ヘントス

1 行進目標ト全般收容陣地トノ關係ニ就テ

イ 行進目標ハ一度戰場離脱ノ爲指揮官ノ手裡ヨリ脱セル軍隊ヲ更ニ掌中ニ收メ新ナル區處ヲ與ヘントスル所ナルヲ以テ其地點タルヤ戰場外ニ於テ敵ノ銃砲火ニ對シ掩護セラルルヲ要ス即チ全般收容陣地ト行進目標トハ密接ノ關係ヲ有スルモノニシテ行進目標收容陣地ノ何レヲ主トシ選定スヘキヤハ情況ニ關スルモ特別ノ場合ニアラサレハ收容陣地ヲ主トシテ該掩護下ニ行進目標ヲ選定スヘキモノトス其特別ノ場合之ヲ例ヘハ隘路前ニ於テ戰鬪セル軍隊カ退却セントスルニ際シ收容陣地ヲ主トスレハ兵力集結ノ餘地ヲ存セサルカ如キ場合ニ於テハ軍隊ノ退却容易ナルヲ主トスル關係上收容陣地ヲ從トスルカ如シ

ロ 退却軍隊ヲシテ集合出發セシムルハ全般收容陣地ノ主要ナル任務ナリ而シテ行進目標ヲ該陣地ニ近ク選定スルニ從ヒ益々退却軍隊ノ集



結ヲ混亂セシメ且所謂收心の退却ヨリ生スル不利ニ陥ルモノナリ然レトモ行進目標ノ收容陣地ヲ距ルコト遠大ナルニ從ヒ一方軍隊カ指揮官ノ手裡ヨリ脱スルコト甚シキニ至ルヘキヲ以テ戰況ト地形ニ照ラシ某程度ヲ超越シテ遠大ナルハ好マシキコトニアラス之ヲ數字上ニ現ハスハ到底不可能ノコトナルヲ以テ當時ノ情況及地形ニ應シ適宜定ムルヲ要ス

2

並行退却ニ就テ

退却戰鬪ヲ退却部隊ノ主ナル運動方向ニ依リ收心の退却、遠心の退却、並行的退却ノ三種ニ大別スルヲ得ヘシ

イ 收心の退却ハ退却軍隊ノ中心のニ翹集スルニ至ルヘキヲ以テ大ナル混亂ヲ惹起シ易ク軍隊ノ大ナルニ從ヒ益、此害ヲ甚シカラシムルノミナラス敵ノ包圍的追撃ノ爲殲滅ノ悲運ニ際會スルノ虞レアリ其中心點ノ戰線ニ接近スルニ從ヒ益、甚タシ

ロ 遠心の退却ハ廣大ナル地域及多クノ道路ヲ利用スルヲ以テ退却容

易ナルノミナラス敵ヲシテ已ムヲ得ス分離追撃ニ陥ラシメ得ルモ我モ亦其兵力ヲ分散シ各部隊ハ高級指揮官ノ手裡ヲ脱シ爾後ノ作戰指導ヲ困難ナラシム又我一部隊ニ對シ敵カ殲滅的打撃ヲ加フル場合ニ於テ之ヲ直接或ハ間接ニ援助スルコト困難ナリ

ハ 並行的退却ハ前述二者ノ利害ヲ折衷セルモノニシテ敵ノ包圍追撃ヨリ脱シ速ニ敵ニ離脱センカ爲兵力分離ノ弊ニ陥ラサル範圍ニ於テ成ル可ク廣ク數道路ヲ利用シ而カモ各部隊ハ高級指揮官ノ手裡ヲ脱セサルノ利アルヲ以テ退却ノ要ハ並行的ニ行フニアリ

問 第一線部隊退却開始ノ時機如何  
答 即時

說明

敵ハ攻撃運動ヲ開始シ在ルカ故ニ間モナク彼我步兵戰鬪ヲ開始スルニ至リ時間ノ移ルト共ニ我戰鬪離脱益、困難ナリ故ニ成ル可ク速ニ退却ニ就クヲ可トス即時退却ヲ命スルモ最前線ノ部隊ニ命令ノ到達スルニハ若干ノ時間ヲ



要ス故ニ命令ノ傳達シ得ル限リ速ニ退却セシムルヲ要ス而シテ開設セル衛生隊野戰病院ハ撤退ニ多少ノ時間ヲ要スヘキモ本情況ニ在リテハ未タ傷者ヲ收容シ在ラサルカ故ニ比較的速ニ撤退シ得ヘシ退却スル軍隊カ衛生隊野戰病院ノ位置ニ到達スルニハ今ヨリ少ナクモ四、五十分ヲ要スヘク此間ニ於テ撤退シ得サルニアラス且此際衛生隊野戰病院ノ退却困難ナルヲ顧慮シ軍隊ヲ危地ニ陥ラシムルハ戰術上策ノ得タルモノニアラス此等材料ノ一部ヲ敵手ニ委スルコトアルモ是レ眞ニ已ムヲ得サルコトトス

問 第一線部隊退却開始ノ順序如何

答 順序ナシ全線同時トス

説明

敵ノ主力ハ我左翼方面ニ在リト雖其攻撃進捗ノ程度ハ全線同一ニシテ何レノ方面カ逼迫急ニシテ何レノ方面カ緩ナリト云フヲ得ス若シ我右翼部隊ヲ先ニ退却セシムルトキハ我主力タル左翼部隊ノ退却益々困難ニ陥リ左翼部隊ヲ先ニスレハ右翼部隊ノ退却至難ナリ故ニ此際全線同時ニ行フヲ可トス而

退

却

シテ命令傳達時間ニ遲速アル爲其退却開始モ亦多少ノ遲速ヲ生スルノ虞ナキニアラスト雖是已ムヲ得サル所ニシテ時刻ヲ規定シテ退却時機ヲ示セハ之カ爲第一線部隊ハ無益ニ戰闘ヲ繼續シ益々退却ノ困難ヲ招クニ過キス

情況

支隊長ハ衛生隊野戰病院大行李及輜重ニ各傳騎ヲ馳セテ退却ヲ命シタル後各部隊ニ左ノ命令ヲ下ス

總豫備隊長ヘ

A 支隊命令 八月八日午前零時十分  
於 星ヶ峰

一 前面ノ敵ハ混成約一旅團ニシテ其主力ハ我左翼方面ニ在リ

二 支隊ハB町ニ向ヒ退却セントス

歩兵第二聯隊第一大隊ハ即時無縁寺、柳川、樫川ヲ連ヌル

退

却



線(之ヲ含マス)以南ノ地區ヨリ榎ニ向ヒ退却ス  
步兵第一聯隊ハ即時同線以北ノ地區ヲ檜原ニ向ヒ退却ス

三 貴官ハ總豫備隊ノ全部及機關銃一小隊、砲兵一中隊ヲ指揮シ收容隊トナリ速ニ電ケ嶽雷山ノ線ヲ占領シ支隊ノ退却ヲ收容スヘシ  
但シ機關銃隊ハ梅川ニ砲兵中隊ハ柳川ニ到リ貴官ノ指揮下ニ入ラシム

四 予ハ暫ク現在地ニ在リ後刻敷島街道ヲ檜原ニ到ル傳達法

高級副官ヲシテ總豫備隊長若クハ其副官ヲ電話口ニ呼出シ傳達セシム  
步兵第二聯隊第一大隊長へ

退却

退却

A 支隊命令 八月八日午後零時十五分  
於 星ヶ峰

一 支隊ハB町ニ向ヒ退却セントス  
總豫備隊及砲兵一中隊ハ收容隊トナリ電ケ嶽雷山ノ線ヲ占領シ支隊ノ退却ヲ收容ス  
步兵第一聯隊ハ即時檜原ニ向ヒ退却ス  
騎兵中隊ノ主力ハ支隊ノ右側ヲ警戒シツツ終ニ向ヒ退却ス

二 貴官ハ即時無縁寺、柳川、樫川ヲ連ヌル線(之ヲ含マス)以南ノ地區ヨリ榎ニ向ヒ退却スヘシ

三 予ハ、、、、、、、、、、(前記命令ニ同シ)傳達法

次級副官ヲシテ大隊長若クハ副官ヲ電話口ニ呼出シテ傳達セシム











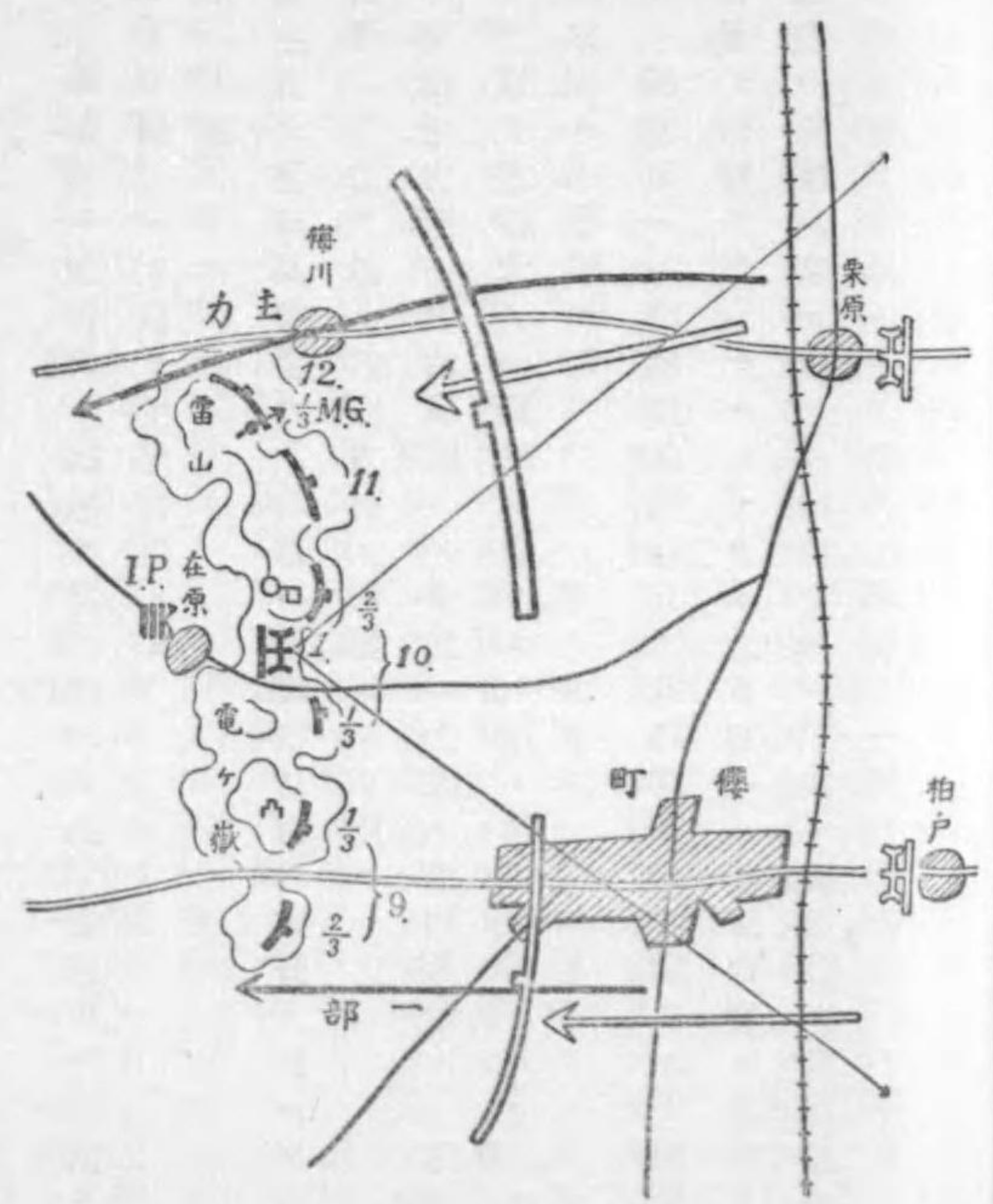
第四章 退却

ラサルヘカラス其時機ハ本情況ニ在リテハ第一線部隊概ネ星ヶ峰雪ヶ嶽ノ線ヲ通過シタル時機ヲ適當トス是レ同線迄ハ第一線部隊ノ退却最モ困難ナル地形ニシテ同線ヲ越ユレハ高地稜線ノ爲既ニ敵火ヲ被ムルコトナキノミナラス各部隊ノ收容陣地ハ概ネ該高地線上ニ選定セラルヘキカ故ニ一時其收容隊ニ依リ敵ヲ拒止シ得ヘシ即チ支隊長ハ各部隊カ此難局ヲ通過シ終ル迄依然戰場ニ位置スルヲ可トス

問 收容隊長トシテ如何ニ收容陣地ヲ占領スルヤ

答 左圖ノ如シ

電ヶ嶽山附近收容隊陣地占領要圖



第四章 退却



說明

此問題ハ第一線部隊カ如何ナル状態ヲ以テ退却シ敵カ如何ナル状態ヲ以テ追撃スルヤヲ判断スルヲ以テ主要條件トス

1 陣地ノ大要

イ 我主力ノ退却及敵主力ノ追撃ハ無論敷島街道方面ニ在ルヲ以テ收容部隊ノ主力ヲ以テ雷山方面ニ配置スルヲ要ス

□ 中央街道方面ハ我右翼隊タル歩兵一大隊ノ退却及敵ノ一部追撃シ來ルヲ以テ左程大ナル顧慮ヲ要セスト雖一兵ノ配兵スルコトナク全然開放スルハ不可ナリ

全般ノ收容戰ハ一時的持久戰ニシテ退却軍隊ヲ收容スルト同時ニ集合出發ノ餘裕ヲ與ヘサルヘカラス之カ爲ニハ其陣地縱ヒ過廣トナルモ猛烈ニ追撃シ來ル敵ヲ一時拒支スルト共ニ敵追撃ノ常用手段タル包翼的追撃ヲ防遏スルヲ要ス此際敵ノ一部ハ無論櫻町ノ障礙ヲ避ケ同町南方地區ニ溢出シ電ヶ嶽雷山ノ後方ニ於ケル我集結ヲ妨碍スル

ニ努力スルナラン故ニ中央街道ノ高地ヲ開放スルニ於テハ前述ノ防支ヲ爲シ得サルノミナラス直ニ我背後ニ追ラルルニ至ラン

2 第一線ノ兵力ニ就テ

收容戰ハ前述セル如ク短時間ノ持久戰ナルヲ以テ有力ナル豫備隊ヲ必要トセス寧ロ其全力ヲ擧ケテ第一線ニ展開スヘキヲ適當トス其豫備隊ヲ取ル所以ノモノハ眞ニ不時ノ事變豫想セサル戰況ノ變化ニ應センカ爲或ハ地形上多クノ配兵ヲ要セスシテ任務ヲ達成シ得ルヲ以テ勢ヒ剩餘ノ兵力ヲ生シタルトキ及戰況並ニ地形ニ依リ自己ノ退却ノ爲配置スルニ過キス而シテ今ヤ旅團ハ困難ナル退却ヲ實施スルニ方リ歩兵一大隊工兵一中隊砲兵一中隊ヲ基幹トセル我收容隊ハ數倍セル約一旅團ノ敵ノ攻撃ヲ防支セサルヘカラス況ンヤ陣地正面ハ兵力ニ比シ比較的過廣ナリ故ニ此際歩兵大隊ノ全部及機關銃ヲ第一線トシ工兵中隊ノミヲ豫備トシテ配置スレハ可ナリ



3 收容砲兵陣地ニ就テ

該砲兵陣地選定上願慮スヘキ諸件左ノ如シ

イ 一個中隊ノ砲兵ヲ以テ柏戸附近ヨリ栗原東北方高地ニ亘ル廣大ナル地區殊ニ敵主力ノ追撃方面タル敷島街道方面ヲ射撃シ得ルコト

ロ 陣地進入ノ迅速

ハ 退却ノ容易

右諸件ヲ考案スルトキハ道路ヲ遠ク離レテ山上ニ放列ヲ布置スルハ不利及電ヶ嶽若クハ雷山ノ一方ニ偏倚スルハ不可ナリ故ニ柳川西方ノ鞍部附近ヲ以テ適當トス

4 豫備隊ノ位置ニ就テ

工兵ハ元來技術兵種ナルヲ以テ該中隊全部ヲ收容部隊ニ編入シ戦闘ヲ爲サシムルカ如キハ實際好マシキニアラサルモ本情況ニ於テハ已ムヲ得ス之ヲ使用セリ而シテ其位置ハ前述セル如ク戰況ノ變化ニ應セントスルニ在ルヲ以テ電ヶ嶽及雷山ノ兩方面ニ對シ何時ニテモ加入シ得ラ

ルル便宜ノ位置ニ在ルヲ適當トス之カ爲ニハ戰線ニ比較的接近シ且兩方面ノ運動自在ナル在原附近ヲ可トス

情況

步兵第一聯隊長及同第二聯隊第一大隊長ハ午後零時十五分乃至二十分前記支隊命令ヲ受領ス此時迄ニ敵ハ漸次第一線ニ接近シ全線ニ亘リ緩徐ナル射撃ヲ開始セラレツツアリ

問 各部隊收容陣地占領要圖

答 左圖ノ如シ



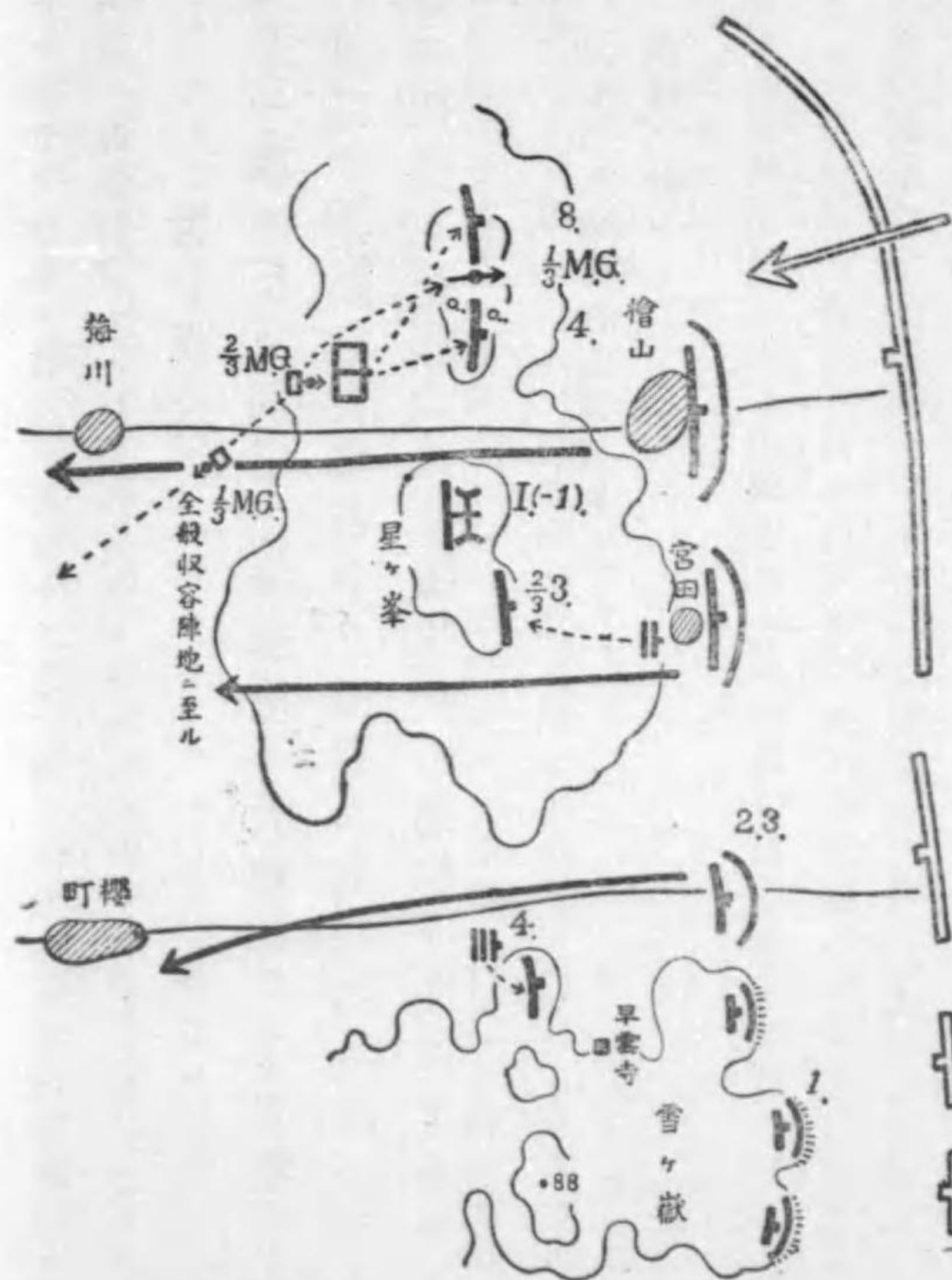
説明

各部隊ノ收容陣地ハ爲シ得レハ退路ノ側方ニ退ヒ其火力ニ依リ敵ノ急追ヲ妨ケテ前線ヲ潰亂ニ陥ラシメサルヲ要スルト共ニ其陣地ハ最も迅速ニシテ時機ニ適應スル如ク占領スルヲ緊要トス

1 歩兵第二聯隊第一大隊方面

此方面ノ右翼ハ雪ヶ嶽前線ノ斷崖アルヲ以テ地形上退却容易ニシテ追撃困難ナリ故ニ第一中隊ハ收容隊ヲ要スルコトナクシテ退却シ得ヘシ若シ此方面ノ敵ニシテ正面ノ障礙ヲ避ケ雪ヶ嶽南側地區ニ迂回シテ追撃セハ時間ヲ多費スルノミナラス同中隊ノ一部ト雖雪ヶ嶽西方高地ヲ占領セハ敵ハ容易ニ我側背ニ進出スル能ハス且大隊ノ豫備隊ノ一部ヲ同方面ニ派遣シテ收容ニ任セシメントスルモ距離遠ク時機ヲ失シ却テ諸隊ノ退却ヲ困難ナラシムルニ過キス而シテ大隊ノ退却最も困難ナルハ萱澤方面ナリ故ニ豫備隊ヲ以テ之ヲ收容スル如ク直ニ早雲寺西北方高地ヲ占領セシムルヲ要ス同地ハ最も迅速ニ占領シ得ルノミナラス退

各部隊收容陣地占領要圖





2 歩兵第一聯隊方面

敵ハ其主力ヲ以テ我左翼ヲ包圍スル如ク戦線ヲ擴張シ我退路ヲ遮斷スルコトニ努ムルナラン故ニ此方面ノ收容隊ハ此窮境ヨリ脱出スルト同時ニ我最左翼ヨリスル戦線ノ崩壊ヲ防支スルヲ主眼トシテ配備セサルヘカラス之カ爲聯隊豫備ノ全力ヲ以テ檜山西北方高地ヲ占領セシメ宮田方面ノ收容ハ同地ノ守備大隊ヲシテ自カラ其退却ノ部署ヲ爲サシムルヲ要ス

情況

午後零時三十分敵ノ第一線ハ既ニ菊見、早蕨、鴨居、董ノ線ニ進出シ全正面ニ亘リ小銃戦開始セラレ殊ニ左翼方面ノ戦鬪最モ酣ニシテ敵砲兵ハ殆ト其全力ヲ擧ケテ該方面ヲ射撃シツツアリ我砲兵モ亦左翼方面ノ敵歩兵ヲ射撃シツツ

アリ間モナク第一線歩兵ハ一齊ニ退却ヲ開始スルヤ敵歩砲兵ノ射撃俄然熾烈ヲ極メ我歩兵ハ少ナカラサル損害ヲ被ムリシモ我砲兵及各收容隊ノ收容ニ依リ午後零時四十分五分概ネ星ヶ峰、雪ヶ嶽ノ線ヲ越ユルヲ得タリ然ルニ此時敵歩兵ノ急追頗ル猛烈ニシテ其第一線ハ概ネ舊我陣地線ニ達シ殊ニ左翼方面ニ在リテハ敵ハ其翼ヲ漸次檜山、北方地區ニ擴張シ爲ニ我收容隊ハ苦戦ニ陥リツツアリ此時收容砲兵タル砲兵第一中隊ハ駈歩ニテ今ヤ柳川西方鞍部ニ達セントシツツアリ

問 支隊長ハ何レノ時機ニ砲兵大隊ニ退却ヲ命スルヤ

答 即時退却ヲ命ス

説明

我第一線歩兵ノ大部ハ既ニ敵ノ射界外ニ退却スルヲ得タリ此際一部收容隊



ノ苦戦ヲ救ハシ爲依然陣地ニ止マラシムルトキハ砲兵ハ遂ニ退却ノ時機ヲ失フヘク今ヲ以テ退却ノ好機トス

問 歩兵第一聯隊ノ各收容隊ハ何レノ時機迄敵ヲ拒止スルヤ

答 我歩砲兵共ニ概ネ鐵道線路附近ニ達スル迄敵ヲ拒止ス

### 説明

收容隊退却セハ敵ハ直ニ星ヶ峰ノ高地線ニ進出シテ退却スル我歩砲兵ニ對シ追撃射撃ヲ施スナラン此追撃射撃ヲ免レシムル爲ニハ收容隊ハ我歩砲兵ノ概ネ鐵道線路附近ニ達スル迄頑強ニ抵抗スルコト必要ナリ而シテ此收容隊ノ退却ハ全般ノ收容隊ニ屬セル砲兵ニ依リ收容セララルヲ得ヘシ

### 情況

支隊長ハ午後零時四十五分砲兵大隊ニ退却ヲ命シ自己モ亦星ヶ峰ヲ發シ敷島街道ヲ檜原ニ向ヒ先行ス  
歩兵第二聯隊第一大隊ハ午後一時十分頃稻川附近ニテ概

ネ大隊ヲ集結シテ爾後電ヶ嶽南側ヲ經テ榎ニ向ヒ退却ス  
歩兵第一聯隊第一大隊ハ小藤西南方地區ニテ概ネ大隊ヲ集結シ爾後柳川西方鞍部西側及小松南側ヲ經テ榎原ニ、同  
第二大隊ハ鐵島附近ニテ概ネ大隊ヲ集結シ爾後雷山北側  
及小松北側ヲ經テ榎原ニ向ヒ退却ス

是ヨリ先キ敵ノ歩兵ハ我收容隊ニ尾シテ怒濤ノ如ク急追  
シ雲ヶ嶽、星ヶ峰、栗原北方高地ノ線ニ現出シテ我退却歩兵  
ヲ射撃スルヤ在柳川西方ノ收容砲兵ハ直ニ各方面ヲ猛射  
セシ爲敵ハ一時其前進ヲ躊躇セシモ間モナク再ヒ前進ヲ  
開始シ午後一時三十分頃敵ノ第一線ハ概ネ鐵道線路ヲ越  
エテ電ヶ嶽、雷山ノ收容隊ニ向ヒ攻撃ヲ開始シ其砲兵約一、  
二中隊ハ柏戸附近ニ、同約二中隊ハ栗原東方高地ニ現出シ



テ熾ニ收容陣地ニ向ヒ射撃ス  
 午後二時支隊ノ主力ハ概ネ源平川右岸地區ニ退却シ得タルモ收容隊ハ頗ル苦戰ノ狀況ニ陥リツツ在リ此ニ於テ支隊長ハ歩兵第一聯隊長ニ第二大隊機關銃一小隊騎兵一中隊野砲兵一中隊ヲ附シ左縱隊ノ後衛トシ先ツ檜原附近ニ於テ收容隊ノ退却ヲ收容シタル後敷島街道ヲB町ニ向ヒ退却スヘキヲ命シ歩兵第二聯隊第一大隊ヲ右縱隊トシテ中央街道ヲ爾餘ノ諸隊ヲ左縱隊本隊トシテ敷島街道ヲB町ニ向ヒ退却セシム收容隊ハ午後二時二十分陣地ヲ撤シ退却ヲ開始シ左縱隊後衛ノ收容ニ依リ左縱隊本隊ニ合シ敷島街道ヲB町ニ向ヒ退却ス

退

却

第二想定 (所要地圖 東町)

松本町方向ヨリ前進スル敵ヲ擊攘スヘキ任務ヲ以テ中央街道ヲ東進シタル西軍混成第一旅團ハ十月十日午前十時頃ヨリ源平川河畔ニ於テ敵ト遭遇シ之ト交戰中ニシテ正午ニ於ケル彼我ノ戰況附圖第十一ノ如シ

同時旅團長ハ軍司令官ヨリ旅團ハ決戰ヲ避ケ高倉村附近ニ退却シ増援隊ノ到着ヲ待ツヘキ命ニ接シ即時退却ニ決ス

問題 西軍旅團收容陣地占領要圖ヲ調製スヘシ

但シ收容隊ノ編組並ニ其陣地ハ答解者ニ於テ決定シ且第一線各部隊ニ與フル行進目標ヲ表示スヘシ

答解時間 一時三十分間

研究



本問題ノ主要事項ハ收容部隊ノ陣地線ニシテ次テハ行進目標ナルヲ以テ先ツ第一ニ陣地線ニ就テ研究セン而シテ此作業ヲ大別スレハ左ノ七案トス

- 一 各部隊ノ收容ヲ戰鬪線ニ於テシ、全般ノ收容ヲ湖附近ヨリ菊池ヲ經テ日和山ニ亘ル線ニ於テ爲スモノ
- 二 各部隊ノ收容ヲ第一案ト同様ニシ、全般ノ收容ヲ大沼西方高地ヨリ日和山ノ線ニ於テ爲スモノ
- 三 各部隊ノ收容ヲ湖ヨリ菊池ヲ經テ日和山ニ亘ル線ニ於テシ、全般ノ收容ヲ大沼西方高地ヨリ新田若クハ楚ニ亘ル線ニ於テ爲スモノ
- 四 各部隊ノ收容ヲ第三案ト同様ニシ、全般ノ收容ヲ足利乙部、巽山ノ線ニ於テ爲スモノ
- 五 各部隊ノ收容ヲ大沼西方高地ヨリ新田若クハ楚ニ亘ル線ニ於テシ、全般ノ收容ヲ楠附近ヨリ巽山ニ亘ル線ニ於テ爲スモノ
- 六 各部隊ノ收容ヲ第五案ト同様ニシ、全般ノ收容ヲ兒島附近ヨリ東町東端ヲ經テ巽山ニ亘ル線ニ於テ爲スモノ

七 各部隊ノ收容ヲ楠乙部、巽山ノ線ニ於テシ、全般ノ收容ヲ巽山椅子山ノ線ニ於テ爲スモノ

第一案

各部隊ノ收容ヲ目下戰鬪中ナル第一線ニ於テ爲サントスルハ是レ戰場離脱ヲシテ益、困難ナラシムルモノニシテ收容ノ原則ニ反スルコトハ前想定ニ於テ縷述セルカ如シ固ヨリ收容部隊ヲ第一線ニ出シテ收容スルカ如キ場合ナキニアラサルモ斯ノ如キハ特別ノ場合ニシテ例ハハ高地頂上ノ線ヲ占領セル部隊ノ退却セントスル場合ニ於テ高地ノ後方ニ於テハ敵ノ爲全ク瞰制セラレルカ或ハ射撃界ヲ有セサル等ノ情況ニ在リテハ寧ロ現在展開中ノ第一線ニ若干ノ部隊ヲ殘置シテ主力ノ退却ヲ收容セントスルカ如キコトナキニアラス然レトモ斯ノ如キ情況ニ於テスラ新銳アル豫備隊ヲ更ニ戰鬪線ニ出シテ收容隊ト爲スハ退却戰鬪ノ本旨タル速ニ敵ト離脱スルニ在リニ背反スルヲ以テ之ヲ避ケ戰鬪中ナル一部隊ヲ以テ收容隊ト爲シ豫備隊ハ第二次ノ收容ニ充當スルカ或ハ違ク之ヲ後方ニ退却セシム



ルヲ有利トス之ヲ要スルニ戰團線上ニ收容戰ヲ行フハ實ニ特別ノ場合ニシテ乃チ夜間退却ニ於テ該方法ヲ適用スルコト多シトス

全般ノ收容ヲ湖附近ヨリ日和山ノ線ニ於テ行ヒシハ各部隊ノ收容ヲ戰團線上ニ於テ爲セシ結果斯クナリシナラン抑、全般ノ收容ハ退却部隊カ戰場ヨリ戰場外ニ移ラントスル所ヲ全般ニ亘リ收容シ以テ集合出發ノ餘裕ヲ與フヘキモノニシテ之カ爲其陣地ハ戰場ノ後端若クハ戰場外ナラサルヘカラス若シ戰場ニシテ縱長過遠ナルトキハ各部隊ハ自ラ第二次ノ收容ヲ行フコトモアルヘシ然ルニ湖、日和山ノ線ノ如キハ同一戰場ナルノミナラス熱關甚シキ處ニアラスヤ斯ノ如キ處ニ於テ全般ノ收容ヲ爲スハ偶、以テ戰場離脱ヲ困難ニスルハ勿論更ニ第二次ノ收容ヲ東町、箕山ノ線ニ於テ行フニアラサレハ退却至難ニ至ルヘキハ明カナリ

### 第二一案

本案ハ著意ヲ失シタル點ニ於テ第一案ト畧、同様ニシテ唯右翼ヲ大沼西方高地ニ托シ比較的靱強ナル抵抗ヲ爲サントスル點ニ於テ異ナリトス

### 第三案

本陣地線ハ日和山ニ於テ其左翼ヲ張り出シ且戰線擴張シ在ルヲ以テ先ツ日和山ヨリ直ニ崩壊スルニ至ラン若シ此不利ヲ補ハントセハ比較的多少ノ兵力ヲ日和山ニ配備セサルヘカラス若シ斯ノ如クスルモ前進陣地線ノ斜行、戰線ノ擴張ハ到底收容隊一致協力ノ防戦ヲ爲シ得ルヤ否ヤ極メテ疑ハシキコトナリトス

本案ハ各部隊ノ收容ヲ湖附近ヨリ日和山ノ線ニ於テ爲シ全般ノ收容ヲ大沼西方高地ヨリ新田附近ニ亘ル線ニ於テ爲サントスルノ考案ニシテ其大體ノ著意ニ於テ體ニ一案タルヲ失ハス然レトモ能ク戰場全般ノ地形ヲ觀察スルトキハ大沼新田ノ線附近ハ是レ同一ノ戰場ニシテ縱ヒ全般ノ收容ヲ大沼、新田ノ線ニ於テ行フモ次テ更ニ箕山ノ線ニ於テ收容ヲ行フニアラサレハ到底退却ヲ實施スルヲ得ス斯ク云フトキハ更ニ箕山ノ線ニ於テ第二次ノ收容ヲ爲セハ本案ヲ以テ至當トセスヤトノ不審ヲ生スヘシ抑、退却戰團ノ要ハ屢、云ヘルカ如ク速ニ敵ト離脱スルニアリ其離脱ヲ容易ナラシ



第四章 退却

三〇二

メノニハ戰闘ハ成ル可ク之ヲ避クルヲ要ス乃チ能ク誤解シ易キ逐次ノ歩々抵抗ノ如キハ此本旨ニ戻ルモノニシテ殊ニ小刻ミナル防戦ハ益以テ離脱ヲ至難ナラシムルモノナリ故ニ大沼新田ノ線ニ於テ第一次雲山ノ線ニ於テ第二次ノ收容ヲ爲スハ必スシモ不可ナキモ若シ之ヲ或考案ニ依リ一回ノ防戦ヲ以テ足レリトセハ上ノ上ナルモノニアラスヤ加之前述二次ノ收容戦ヲ爲サントセハ如何ナル部隊ヲ以テ雲山ノ收容部隊ニ充ツヘキカ旅團長ノ總豫備隊ハ歩兵一大隊機關銃一小隊工兵一中隊ヲ有スルノミ之ヲシテ二段ニ戰闘セシメントセハ各二中隊ヲ基幹トスルモノヲ以テ行フカ或ハ第一線ヨリ退却シ來リタル部隊ヲ更ニ疲驅セシメテ雲山ノ收容部隊ニ充ツルカノ二法アルニ過キス而シテ其第一法ハ各收容隊ノ兵力ハ其正面ニ比シ極メテ薄弱ニシテ若干ノ收容ハ爲シ得ヘケンモ忽チニシテ敵ノ猛撃ニ遇ヒ擊破セララルニ至ラン又其第二法ハ至難ナル晝間退却ヲ爲セシ部隊カ僅々約一里ヲ退却シタルノミニテ而カモ此地形ニ於テ收容部隊ニ充當シ得ル迄ニ集結ヲ爲シ得ルヤ否ヤ蓋シ此事不可能ニハアラサル

### 第四案

ナランモ要スルニ實施極メテ至難ナル計畫ト云ハサルヲ得ス

本案ハ戰場及戰場外ノ觀察ヲ爲シ雲山ノ一角ヲ利用シテ全般ノ收容ヲ爲サントスルノ著眼ニシテ大ニ可ナルモ其陣地線ヲ強ヒテ各部隊ノ收容線ト並行セシメ且多クノ地域ヲ後方ニ存セントスルノ考案ヨリ足利乙部ニ右翼ヲ張り出セシハ遺憾トスル所ナリ蓋シ敵ニシテ一度南明東方高地ニ現出センカ足利乙部ハ直ニ瞰制セラレ殊ニ足利ノ如キハ縦ヒ之ヲ占領スルモ殆ト其効果ヲ發揮シ得スシテ崩壞スルニ至ラン

### 第五案 (最後ニ於テ之ヲ研究セン)

### 第六案

第六案ハ各部隊ノ收容ヲ南明東方高地ヨリ新田ニ亘ル線ニ於テ爲シ全般ノ收容ヲ兒島ヨリ雲山ニ亘ル線ニ於テ爲サントスルモノニシテ全般ノ著眼ニ於テ當ヲ得タルモノトス然レトモ陣地線ノ右翼ヲ兒島附近ニ下ケ且中央ヲ東町ノ比較的大ナル障礙物ニ接近シテ占領セシハ不可ナリ蓋シ斯



ノ如ク其右翼ヲ下クルニ於テハ各部隊ノ收容陣地タル南明東方高地附近ヨリ其距離大約四吉米ニシテ敵カ該高地辰川ノ線ニ現出スルニ際シ有力ナル砲火ヲ酬ユルコトヲ得ス即チ各部隊ノ收容隊ハ此四吉米ノ間ヲ永ク收容セラルルコトナク退却ヲ實施セサルヘカラサルノミナラス兒島及東町ノ各町ハ若干退却部隊ノ爲障碍ノ狀ヲ呈シ兵力ノ集結上聊カ不便ナルノ嫌アリ且兒島及東町附近ヲ占領スル部隊ハ前面ニ横ハル楠及乙部等ノ諸村落ノ爲射界狭少ニシテ收容戰ニ必要ナル廣大ナル射界ニ於テ尠ナカラズ缺クル所アリ

### 第七案

各部隊ノ收容ヲ楠及巽山ノ線ニ於テ爲サントスルハ既ニ是レ大ナル誤謬ニシテ斯ノ如キニ於テハ第一線部隊ハ約一里ノ間殆ト收容隊ナキ狀態ニ於テ退却セサルヘカラサルヲ以テ縱ヒ收容砲兵ノ射撃ヲ以テ敵ノ追撃ヲ阻支スト雖其距離甚タ遠クシテ効力尠ナク殆ト潰滅ノ狀況ニ陥ルナキヲ保シ難シ故ニ前述セル如ク楠乙部巽山ノ線ハ本戰況ニ於テハ戰場ノ後端

ニシテ須ラク全般ノ收容部隊ノ據テ以テ收容戰ヲ爲ス線タラサルヘカラス然ルニ廣大ナル約一里ノ一戰場ヲ殆ト收容ヲ爲スコトナク退却ヲ實施セシムルカ如キハ大ナル過失ニ屬ス  
各部隊ノ收容ヲ前記ノ線ニ於テ爲セシ結果勢ヒ全般ノ收容ヲ巽山及椅子山ノ線ニ於テ爲スハ已ムヲ得サルヘシ  
要スルニ本案ノ由テ出ツル所以ハ極メテ緊要ナル戰場離脫ノ方法ニ就テ理解不充分ナリシ結果ナラン

### 第五案

以上ノ如ク研究シ來ルトキハ第五案ノ適當ナルヲ自カラ了解スルニ至ラシ然レトモ本案ノ不利トスル所ハ各部隊ノ收容カ第一線ヲ距ル比較的遠キニ在リ然レトモ第一線各大隊モ亦若干ノ豫備隊ヲ有シ在ルハ戰況ニ照シ概ネ判知シ得ヘキヲ以テ湖ヨリ菊池ヲ經テ日和山ニ亘ル線ハ第一線大隊ノ收容隊ノ占領スヘキ線ト爲サハ却テ好都合ナルニ至ルヘシ即チ本案ノ骨子ハ左ノ如シ



イ 第一線大隊ノ收容 湖附近ヨリ日和山ニ亘ル線  
 ロ 兩翼隊ノ收容 南明東方高地ヨリ新田ニ亘ル線  
 ハ 全般ノ收容 楠ヨリ乙部ヲ經テ雲山ニ亘ル線

斯ク云フトキハ第六案ト大差ナク第六案ハ其射界等ニ於テ缺クル所アル  
 モ側面障地のニ占領スルヲ以テ側方收容ノ利ヲ收メ却テ有利ナラスヤト  
 ノ疑問ヲ生起セン然レトモ第六案ノ部ニ於テ記述セルカ如ク射界ノ廣濶  
 ヲ缺クハ大ナル缺點ニシテ且後方ニ集結ヲ爲ス爲兒島及東町ノ爲妨碍セ  
 ラルルノ不利アリトス故ニ第五案ヲ以テ適當ト認ム

行進目標ニ就テ

1 東町東端ニ選定セシモノ多シ

行進目標ハ退却部隊カ少ナクモ集結ノ手段ヲ講スヘキ所ナルヲ以テ東  
 町ノ如キ障壁ノ性質ヲ有スル村落而カモ敵方ニ面シタル方面ニ選定ス  
 ルカ如キハ過失モ亦甚シ乃チ退却軍隊ハ高級指揮官ヨリ東町東端ニ向  
 テ退却スヘキヲ命セラレ其軍隊カ東町東端ニ蟄集シ來ラハ其混雜ヤ如

何高級指揮官ハ如何ニシテ此混亂ヲ防支スルヤ而カモ敵砲兵一度南明  
 東方高地若クハ日和山附近ニ現出セハ退却軍隊ハ唯敵ノ砲撃ヲ甘受ス  
 ルノ不幸ニ際會セン故ニ全般ノ收容障地ヲ湖附近ヨリ日和山ノ線或ハ  
 南明東方高地ヨリ新田ノ線ニ選定セシニセヨ何レニシテモ大ナル過失  
 ニ屬ス

2 東町西端ニ選定セシモノ亦尠ナカラス

察スルニ東町ナル部落ニ蔽蔽シ且全般ノ收容障地ノ後方ナルノ故ヲ以  
 テ選定セシナラン然レトモ是レ一ヲ知テ二ヲ知ラサルモノナリ東町西  
 端ニ集リ來ル軍隊ハ東町ニ近ク接シテ動作スルヲ以テ是レ亦大ナル混  
 雜ヲ來スヘク何故ニ東町西方ノ廣濶ナル地形ヲ利用セサルヤ

3 兩翼隊ノ行進目標ヲ東町東端或ハ西端等ノ一地點ニ選定セシモノ

退却戰鬪指導ノ要ハ並行的退却ニ在リ並行的退却ヲ行ハントセハ各部  
 隊ヲシテ將來並行シテ退却セシムル如ク其行進目標モ亦各別ニ與ヘサ  
 ルヘカラス然ルニ戰場ノ近傍ニ於テ一地點ニ行進目標ヲ選フカ如キハ



偶、敵ノ包圍的追撃ノ衝中ニ自カラ陥ラントスルモノニシテ其非ナルコト喋々ヲ要セス夫レ之ヲ精乙部等掩護ヲ缺キタル處ニ選定セシカ如キハ益、以テ不可ナリトス

4 高倉村ニ選定セルモノ

退却目標ト行進目標トノ關係ニ就テハ前想定ニ於テ記述セルカ如シ源平川ヨリ高倉村迄ハ約三里ヲ算ス此間退却軍隊ハ高級指揮官ノ確實ナル掌握ヲ缺キタル儘退却ヲ實施スレハ豫想セサル戰況ノ變化ニ應セン爲極メテ不利ナル状態ニ陥ルコトアルヲ思ハサルヘカラス旅團ハ如何ニシテ東町以西ノ退却ヲ行ハントスルヤ又第二次ノ收容ヲ行フノ必要アリヤ否ヤ何處ニ於テ後衛ヲ編組スヘキヤ又後衛ト爲スヘキ部隊ハ如何ナル部隊ヲ以テ充ツヘキヤ乃チ軍隊ハ所命ニ從ヒ高倉村ニ向ヒ隨意ニ退却中ナリ後方ニ在リテ敵追撃ノ衝ニ當リ之ヲ掩護スルモノハ唯收容隊アルノミ夫レ此等ヲ考フルトキハ全般ノ收容陣地ノ後方即チ鐵道線路以西ニ於テ行進目標ヲ選定セサルヘカラサルヲ知ラン

收容陣地ノ配當ニ就テ

各案ニ就キ研究スルハ煩雜ニシテ且利益少ナキヲ以テ原案タル第五案ノ配備ニ就テ研究セン

1 各部隊ノ收容

右翼隊方面ニ於テハ南明東方高地ヲ主力ヲ以テ占領スルノ必要ナルハ何人モ同意ナルヘシ然レトモ全力ヲ以テ同高地ノミヲ占領シ辰川ニ一兵ノ配兵ナキハ適當ナラス是レ新田ハ左翼隊ノ收容隊之ヲ占領スヘキモ此間約千二、三百米アルヲ以テ日和山南側ニ沿ウテ前進シ來ル敵ニ對シ有効ナル小銃火ヲ酬ユルコトヲ得サルヲ以テナリ故ニ一部ヲ割キテ辰川ヲ占領セシムルヲ要ス

左翼隊ノ收容隊モ亦新田ニ主力ヲ配備スヘキハ勿論ナルモ楚ニ一部ヲ出シテ日和山北側地區ヲ前進スル敵ヲ防支シ歩兵第一聯隊第三大隊ノ退却ヲ收容スルヲ要ス

2 全般ノ收容陣地ニ就テ



イ 該陣地占領ニ關スル主要問題ハ其主力ヲ巽山ニ置クヘキヤ將タ楠方面ニ置クヘキヤニ在リ之ヲ敵ヨリ判斷スルトキハ敵ノ主力ハ我右翼隊方面ニシテ敵ハ右翼隊ニ尾シ南明方面ヨリ我右翼ヲ包圍スルニ努メン斯ノ如ク敵ノ主力我主力共ニ右翼方面ニ在ルヲ以テ收容隊ノ主力ヲ楠方面ニ配備スルヲ可トス又巽山ハ地形ノ利ヲ有スルヲ以テ少數ノ兵力ト雖其効力ヲ大ニ發揮シ得ルモノトス

ロ 砲兵陣地ヲ巽山ニ上セシ案多キモ收容戰ハ一般防禦戰闘ト異ナリ陣地占領ノ爲時間ノ餘裕少ナク乃チ急速ニ放列ヲ布キ以テ各方面ヲ射撃スルノ急ニ應セサルヘオラス此主旨ニ於テ態々巽山ニ砲兵ヲ上クルノ要ナク陣地進入ノ極メテ迅速ナル本道附近ヲ可トス殊ニ巽山ニ砲兵ヲ置クトキハ主力方面タル南明附近ヲ射撃スルニ稍遠大ノ嫌ナキ能ハス收容砲兵ノ兵力ハ多キヲ要スト雖第一線ノ戰場離脱ヲ顧慮シ一部ノ砲兵ヲ收容砲兵ト爲スコト前想定ニ於テ研究セルカ如シ

ハ 第一線ニハ歩兵及機關銃ノ全力ヲ展開シ工兵中隊ヲ以テ豫備隊ト

スレハ足レリトス

原案 (附圖第十二參照)



第五章 夜戦ノ應用

第一節 夜襲

想定 (所要地圖 東町 櫻町)

一 師團ニ先チ霧ケ嶽ヲ占領スヘキ任務ヲ以テ孔明街道ヲ前進セシA支隊(長少將某)歩兵第一聯隊、歩兵第二聯隊第一大隊、騎兵第一中隊、野砲兵第一中隊、工兵第一中隊ハ九月十七日午後大窪、唐犬、崖下ノ線ニ展開シ雪ケ嶽ヨリ鶴田西南方高地ニ亘ル敵ノ陣地ニ對シ攻撃前進中優勢ナル敵砲兵ノ爲右翼方面ノ攻撃進捗セサルニ際シ午後五時支隊長ハ左ノ情況ヲ知り夜襲ニ決シ第一線ヲ元山南方森林ヨリ白岩北方森林ニ亘ル線ニ停止ヲ命ス



第一節 夜襲

1 歩兵五、六大隊ヲ基幹トセル敵ノ一縱隊ハ孔明街道ヲ東進中ニシテ其歩兵先頭ハ本日午後一時頃小桃西方約九里大桃町ヲ通過セリ

2 我師團ハ明朝現在地附近ニ到着シ得ル筈日没時ニ於ケル彼我ノ情況(附圖第十三)ノ如シ

主要研究項目

- 一 夜襲計畫(時機攻撃點準備、攻撃部署及隊形)
- 二 實施(前進法、連絡法、隊形變換、突擊)

問題 A 支隊夜襲計畫要圖

但シ左ノ二時機ヲ現ハスヘシ

準備ノ位置ニ於ケル狀態、隊形、距離、間隔、運動開始及突高地脚ニ到着セル時ノ狀態、擊豫定時刻ヲ記入スヘシ

原案 附圖第十四參照(但シ原案ハ本想定研究ノ最後ニ參照)

說明

1 時機ノ選定ニ就テ

此際主要ナル著眼ハ敵ノ後續部隊ノ到着前ニ敵陣地ヲ奪取スルノミナラス尙霧ヶ嶽ノ高地線ヲ確實ニ領有シテ敵ノ後續部隊ニ備ヘサルヘカラサルニアリ

正午大桃町ニ達シタル敵ハ連續強行セハ本夜一時頃ニハ源平川ノ線附近ニ達シ得ヘシ故ニ支隊ハ少ナクモ十二時前後ニハ現在ノ敵陣地ヲ奪取セサルヘカラス之カ爲日没ト共ニ前進ヲ起スヲ可トスルカ如キモ成功ヲ確實ナラシムル爲ニハ尙敵情殊ニ地形ノ偵察隊伍ノ集結、前進ノ爲ノ諸準備、夕食等ノ爲相當ナル準備ヲ必要トス故ニ成ル可ク迅速ニ此等ノ準備ヲ完了スルコトニ努メ準備完了次第攻撃實施ニ著手スルヲ要ス之カ爲ニハ少ナクモ二時間乃至二時間半ヲ要スヘシ(步操二ノ八三)

敵陣地迄ノ距離ハ約千五百米ナレハ順當ニ進捗スルモ少クモ二時間内外ヲ要スヘシ



第一節 夜襲

而シテ目下ノ日没ハ概ネ午後六時ナレハ午後九時頃迄ニハ大略準備ヲ完了シ得ヘク且該時刻ニ前進ヲ起スニアラサレハ希望ノ如ク十二時内外ニ敵陣地ヲ奪取スルコト困難ナリ

2 攻撃點ニ就テ

夜間ノ攻撃運動ニ於テハ靜肅、連繫ノ確保、行進方向ノ確實ナルコト特ニ必要ナレハ(步操一ノ一八四)主攻方面ハ地形ノ平易ナルコト必要ナリ  
夜襲奏功ノ要訣ハ不意ニ敵ニ肉薄シ銃劍ヲ揮ヒ一舉ニ決戦ヲ求ムルニアリ  
步操二ノ八五故ニ夜襲ノ爲主力ヲ使用スル處即チ換言スレハ突擊點ハ此主旨ニ依リ選定セサルヘカラス而シテ此突擊點ニシテ敵陣地ノ要點ナレハ更ニ成功確實ナルハ勿論ナリ

而シテ此際ハ實施急ヲ要スルヲ以テ部隊ノ移動ノ爲多クノ時間ヲ要スルカ如キ方面ハ主攻擊點トシテ適當ナラス  
鶴田北方高地ハ此主旨ニ於テ支隊ノ夜襲ノ突擊點トシテ最モ適當ナリトス

3 部署ニ就テ

決心ニ必要ナル兵力ヲ最初ヨリ第一線ニ備ヘ其各部隊ヲシテ勉メテ集團セシメ近ク豫備隊ヲ備ヘ不意ニ敵ニ肉薄シ一舉ニ決戦ヲ求ムルヲ可トス  
(步操二ノ八五)故ニ此際ハ主力ヲ以テ主攻擊點タル鶴田北方高地ノ敵陣地ニ突入スル如ク部署スルヲ必要トスルノミナラス夜間防者ハ敵ノ夜襲ヲ防ク爲ニハ攻者ノ攻撃方向ニ對シ豫メ夜間射撃ノ準備ヲ爲シ特ニ行進路ヲ縱射シ(步操二ノ八七)又陣地前ハ互ニ側防スル如ク歩兵及機關銃ヲ準備スルヲ要スルヲ以テ此際坂上西方高地及鶴田西方高地ニ一部ヲ向ハシメ同時ニ夜襲スル如ク部署スルヲ必要トス

故ニ歩兵第一聯隊ノ主力ヲシテ鶴田北方高地ニ向ハシメ其一部ハ同時ニ坂上西方高地ニ向ハシメ且第二聯隊第一大隊ヲ鶴田西方高地ノ敵陣地ニ向ハシムル如クシ支隊長ハ歩兵二中隊及工兵中隊ヲ豫備トシ主力ノ後方ヨリ前進スル如ク部署スルヲ可トス又砲兵ハ夜間射撃ノ効力微ナリト雖豫メ主攻擊點ニ對シ射撃準備ヲ整ヘシメ以テ萬一ノ場合ニ應スルノ準備

第一節 夜襲



情 況

午後五時三十分支隊長ハ左ノ要旨ノ命令ヲ下ス

A 支隊命令 於漢山東側 九月十七日午後五時三十分

- 一 前面ノ敵情ニ就テハ其後變化ナシ  
步兵五六大隊ヲ基幹トセル敵ノ一縱隊ハ孔明街道ヲ東  
進中ニシテ本夜一時頃ニハ源平川ノ線ニ達シ得ル距離  
ニ在リ
- 二 我師團ハ明朝現在地附近ニ達シ得  
支隊ハ本夜主力ヲ以テ孔明街道北側ノ地區ヨリ鶴田  
北方敵陣地ニ向ヒ夜襲セントス
- 三 步兵第一聯隊(第七、第八中隊欠)ハ主力ヲ以テ鶴田北方

高地ノ敵陣地ヲ夜襲スル如ク漢山北方森林西端ニ一部  
ヲ以テ宋襄——坂上道北側地區ヨリ坂上西方高地ヲ夜襲  
スル如ク宋襄西側ニ各午後八時五十分迄ニ集合シ前進  
準備ヲ完了シ在ルヘシ

- 四 步兵第二聯隊第一大隊ハ葵——鶴田道南側地區ヨリ鶴  
田西方高地ノ敵陣地ヲ夜襲スル如ク午後八時五十分迄  
ニ漢山南方森林西端ニ集合シ前進準備ヲ完了スヘシ
- 五 野砲兵中隊ハ日没後漢山西端附近ニ陣地ヲ變換シ鶴  
田北方高地ノ敵陣地ニ對シ夜間射撃ノ準備ヲ完了スヘ  
シ
- 六 夜間直接警戒ノ爲工兵一小隊ヲ附ス

- 六 步兵第一聯隊第七、第八中隊及工兵中隊(一小隊欠)ハ豫



第一節 夜襲

三三〇

備隊トナリ午後八時五十分迄ニ漢山北方森林ニ集合スヘシ

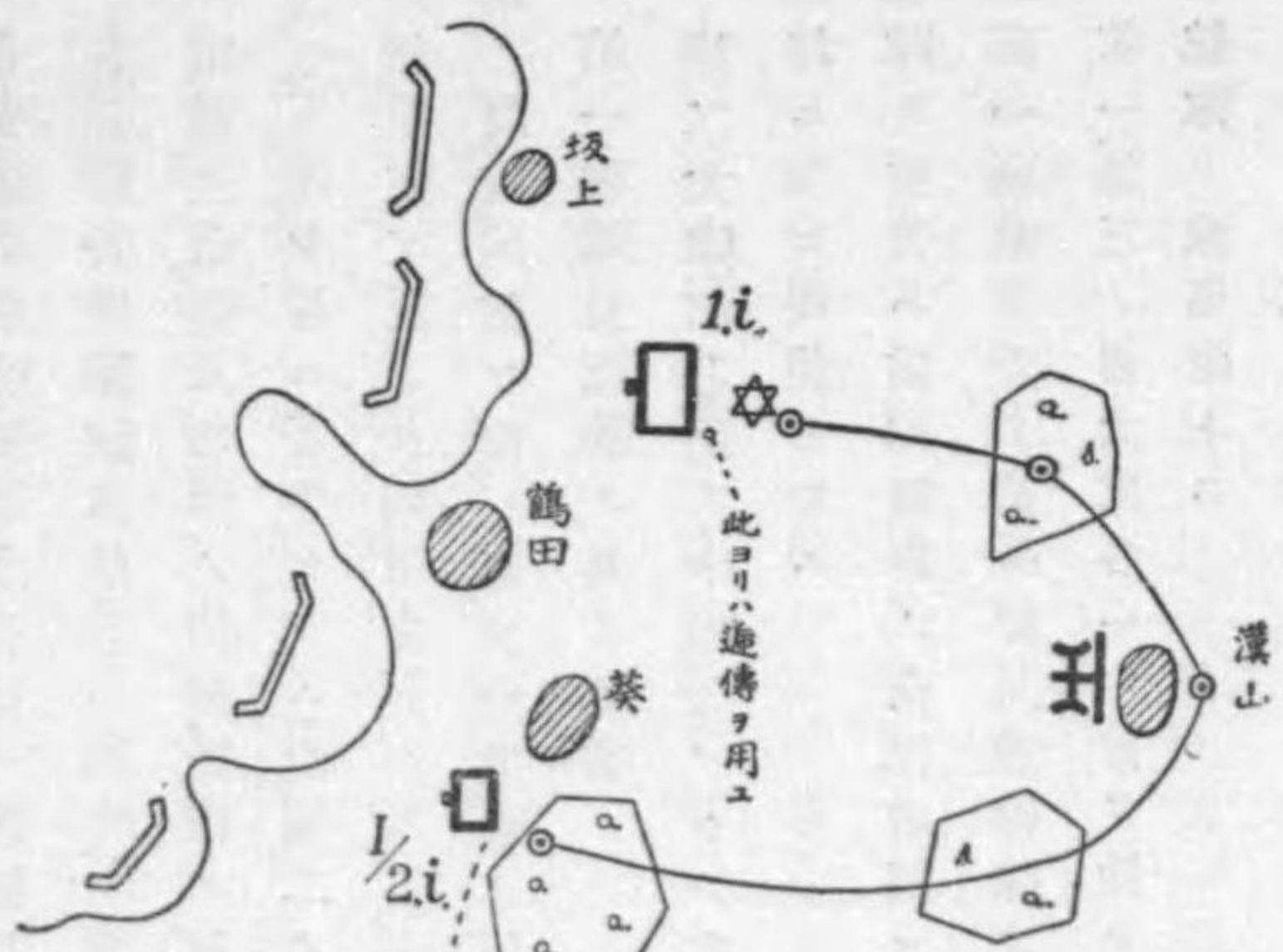
七 部隊ノ移動ハ日没ヲ待テ行フヘシ  
後略

注 意(規定)

- 1 敵陣地ヲ奪取セハ歩兵第二聯隊第一大隊ハ直ニ霧ヶ嶽ヲ占領スルコトヲ努ムヘシ  
歩兵第一聯隊ハ直ニ隊伍ヲ整頓シ同第二聯隊第一大隊ト連絡ヲ確實ニシ後命ヲ待ツヘシ
- 2 兩聯隊ノ連絡ハ左ノ方法ニ依ルヘシ
- 3 識別ノ爲左腕ニ白布ヲ纏ヒ暗號ハ問答共ニ「漢山」ト呼フヘシ
- 4 馬匹ハ凡テ集合場ニ残置シ出發ノ準備ニ在ラシムヘシ
- 5 本夜ノ給養ハ携帶糧秣ヲ用フヘシ

第一節 夜襲

三三一



午後八時三十分迄ニ準備シ第一線前進ヲ起セハ電線ハ續テ延線スルモノトス(第一聯隊ノ人員材料ヲ川ユ)遞傳ハ一箇所三人以上トシ距離ハ二百米以内トス(各自ノ隊ヨリ要員ヲ出スコト)

此ヨリハ遞傳ヲ用ユ



第一節 夜襲

問 右支隊命令受領後步兵第一聯隊長ノ處置

答 各大隊長機關銃隊長(ハ副官)ヲ集メ今夜夜襲ヲ行フコトノ意圖ヲ示シ前面ノ敵情及地形ノ偵察進路ノ標示其他ノ諸準備ヲ命シ細部ノ規定(注意)ヲ達シ速ニ著手セシム(歩操二ノ八三)

將校斥候ヲ坂上及鶴田方向ニ派遣シ敵情地形ノ偵察ヲ爲サシメ別ニ一組ノ將校斥候ヲ出シ專ラ行進路ノ偵察及標示ニ任セシム

問 第一聯隊長夜襲ノ爲ノ部署

答 第二大隊(第七第八中隊欠)ヲシテ宋襄—坂上道北側ニ沿ヒ坂上西北方高地ニ向ヒ夜襲セシム

聯隊ノ主力ハ前記道路ノ南側地區ヨリ鶴田北方高地ニ向ヒ夜襲ス

問 第一聯隊主力ノ第一線及豫備隊ノ區分如何

答 第一、第三ノ兩大隊各一中隊ヲ除クテ第一線トシ第四第十二中隊及機關銃隊ヲ豫備隊トス

說明

夜間ノ攻撃ニ於テハ決戰ニ要スル兵力ヲ最初ヨリ第一線ニ備ヘ一舉ニ奏功ヲ期セサルヘカラス故ニ第二大隊ヲ第一線トシ二中隊ヲ豫備隊トス(歩操二ノ八五)

機關銃ハ敵陣地奪取後ノ使用ヲ顧慮シ豫備隊ト共ニ前進セシムルヲ可トス

問 第一聯隊主力行進ノ爲基準ヲ如何ニスルヤ

答 漢山北方森林西方凸角ト鶴田北方ノ35高地頂上トヲ連スル線ヲ基準トシ將校斥候ヲシテ標兵及白布ヲ附シタル小杭ヲ以テ之ヲ標示ス

說明

宋襄—坂上道ヲ基準トスルモ一案ナリト雖該道路ハ稍彎曲セルヲ以テ第二大隊ヲ第一線トセル聯隊行進ノ爲ニハ稍不便ニシテ混雜ヲ生シ易キノミナラス右側ヨリ前進スル第二大隊ト同時ニ敵ニ發見セラシムルノ虞多シ故ニ寧ロ平易ナル畑地ヲ眞直ニ標示シテ前進スルヲ却テ有利トス

標示ノ方法

日没前該森林凸角ト敵陣地頂上トヲ見透シ前方ニ之ヲ標示シ基準ノ一

第一節 夜襲



第一節 夜戰

部ヲ作ル

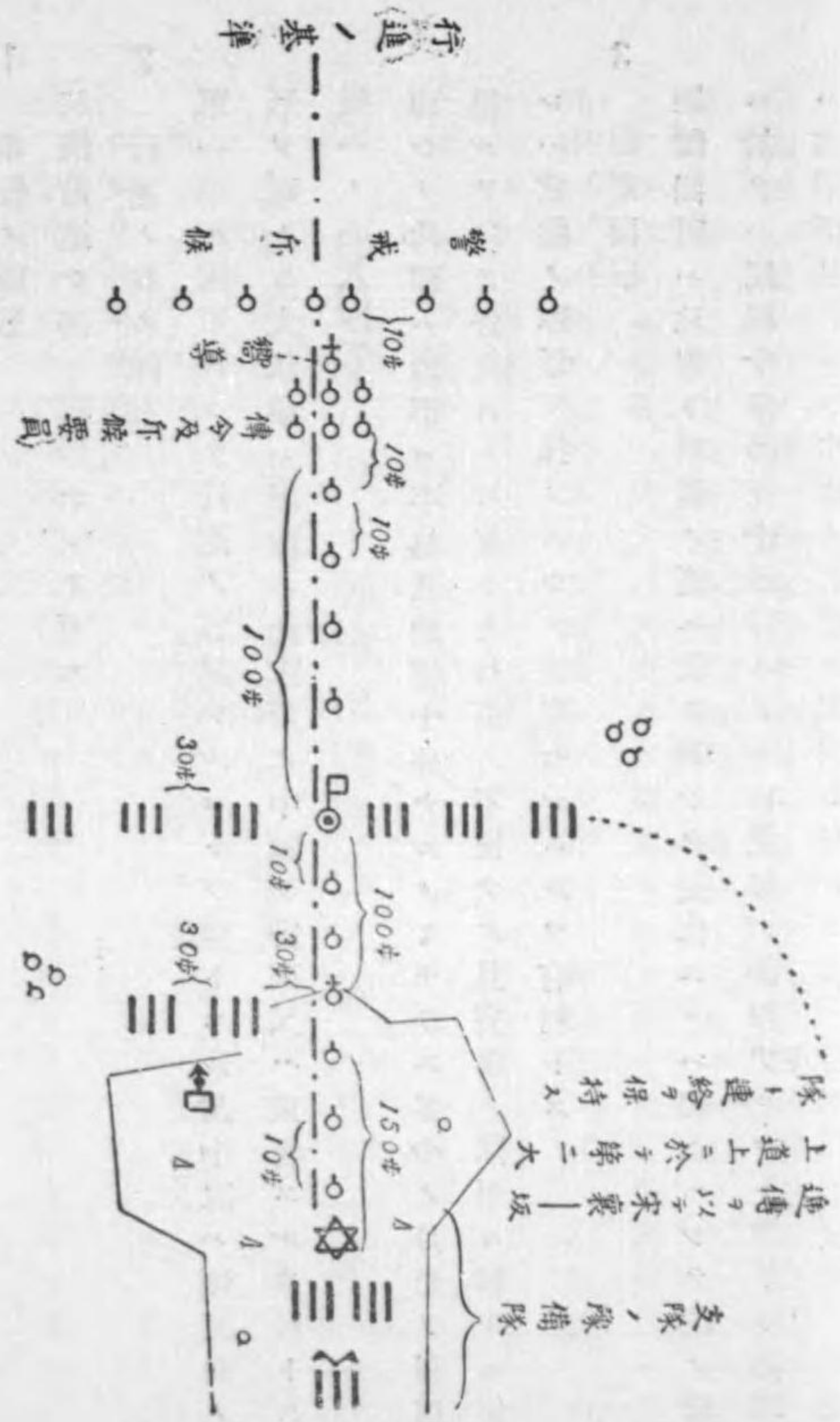
日没後前方ニ斥候ヲ派遣シ敵ノ斥候及監視兵ヲ驅逐シ基線延長ノ動作ヲ掩護ス

專任ノ將校ハ下士兵卒若干人ヲ補助トシ此掩護ノ下ニ標兵竹竿及白布ヲ附シタル小杭ヲ以テ漸次基線ヲ前方ニ延長シ敵陣地前ニ達スルコトヲ勉メ且隊形變換ノ線ハ情況ノ許ス限り之ヲ標示スルヲ要ス

情 況

午後八時五十分諸隊ハ全ク準備完了シ各所命ノ地點ニ集合シ之ヲ支隊長ニ報告シ以テ前進ノ命ヲ待ツ

問 第一聯隊主力ノ隊形如何  
答 左記要圖ノ如シ



第一節 夜戰



說明

1 準備ノ隊形

其儘前進シ得ル隊形ナルヲ要ス

2 行進ノ爲ノ隊形

單一ナル隊形ニシテ行進ノ容易ナルコトヲ主トスル爲中隊ハ側面向ノ隊形ヲ可トシ大隊或ハ聯隊ハ此隊形ノ中隊ヲ併列又ハ重疊スルヲ可トス(歩操一ノ一八四)

3 距離間隔

而シテ此際ハ地形モ平易且地幅十分ナルノミナラス多少ノ月光ヲ利用シ得ルヲ以テ併列スルモ甚キキ行進ノ不便ナク且突撃ノ隊形ニ移ルニ便ナレハ重疊ノ隊形ヲ採ラスシテ併列セシムルヲ有利トス

距離間隔

距離間隔ハ地形ト明暗ノ度ニ依リ著シク變化スルハ勿論ニシテ眞ノ暗夜ニ於テハ間隔十歩乃至十五歩ニシテ尙連絡ノ困難ナルコトアリト雖本夜ハ地形平易ナルト多少ノ月光ヲ利用シ得ルト且ハ將來隊形變換ノ際混雜

ヲ防ク爲間隔ヲ三十歩ニ規定スルヲ可トス  
豫備隊ハ成ル可ク第一線ニ近キヲ可トスルモ其任務ト爾後ノ使用トヲ顧慮シ相當ノ距離ヲ保チ且過早ニ戦闘ノ渦中ニ投セサル如クスルヲ必要トス之ヲ以テ本情況ニ於テハ約百歩ヲ適當トセリ而シテ此際聯隊長ハ特ニ鶴田方向ニ對シ警戒スルヲ必要トスルヲ以テ豫備隊ハ之ヲ左翼後ニ位置セシムルヲ適當トス

情況

支隊ノ豫備隊ハ第一聯隊機關銃隊ノ後方百五十歩ニ位置シ左右兩隊トノ連絡ヲ確實ニシ準備ハ凡テ完了セリ午後九時前進ノ命令ハ下リ諸隊一齊ニ運動ヲ開始ス

問 第一線隊形變換ノ時機

答 警戒斥候カ概ネ坂上一鶴田道ニ達セハ停止シテ縱隊橫隊ニ變換ス

說明



第一節 夜襲

突撃ノ隊形 突撃ヲ實施スルニハ正面向ノ隊形ヲ用フルヲ可トス(歩操一ノ一四八)然レトモ敵ノ直前ニ於テ隊形ヲ變換スルハ敵ヨリ發覺セラレ易ク且混亂ヲ生シ頗フル危險ナレハ歩操一ノ一四八(適度ニ離隔シテ之ヲ行ハサルヘカラス警戒斥候カ坂上一鶴田道ニ達セル際ハ第一線ハ敵陣地ヲ距ル概ネ五百米ニ在ルヲ以テ此際隊形ヲ變換セハ適當ナルヘシ)

隊形變換 ノ時機ハ極メテ危險ナレハ十分靜肅ヲ守リ且始メヨリ其正面ヲ誤ラサル如ク標示シ置クコト殊ニ必要ナリ此際正面ニ關スル注意ヲ怠ルトキハ各中隊ノ正面錯誤シ爾後前進ヲ起スヤ忽チ混雜ヲ生シ延イテ夜襲ノ成功ニ大ナル關係ヲ及ホスニ至ルヲ以テ十分注意スルヲ要ス

情況

各隊ハ一進一止互ニ靜肅ト連繫トヲ守リ標示ノ進路ニ沿ヒ漸次前進ス坂上及鶴田方向ニ方リ時々銃聲起ルモ努メテ靜肅ヲ守リテ前進シ十時稍過クル頃豫定ノ位置ニ達シ

隊形ヲ變換シ互ニ連絡ヲ取ル

十時二十分頃第一聯隊主力ハ既ニ高地脚ニ達ス此時第二大隊ノ方面銃聲熾ニシテ時々前地ヲ照明スル火力ヲ認ム聽テ主力方面亦稍激シキ射撃ヲ受ク

問 第一聯隊主力ノ第一線部隊長處置アリヤ

答 愈靜肅ヲ守リ敵ニ接近ヲ努ム

說明

夜間射撃ハ効力微々タルノミナラス攻者射撃ヲ開始セハ我企圖ヲ暴露シ兵力位置ヲ知ラシメ從テ夜襲奏功ノ要訣ヲ拋棄セサルヘカラサルニ至ルヲ以テ射撃ヲ戒メ愈靜肅ヲ守リ一意敵ニ接近センコトヲ努メサルヘカラス(歩操二ノ八五)

情況

午後十時三十分頃第二聯隊第一大隊方面ノ銃聲頗ル猛烈

第一節 夜襲



第一節 夜襲

ニシテ坂上北方亦益銃聲熾ナリ

聽テ主力方面第一線ハ敵陣地ヲ距ル約百米乃至百五十米ト思シキ地點ニ達スルヤ俄然敵ハ我ヲ照明スルト共ニ機關銃及小銃ヲ以テ猛射シ我第一線死傷頗ル多シ

問 第一聯隊長ノ處置

答 一時停止ヲ命シ敵ノ注意ヲ避ケ速ニ照明火ヲ滅セシムルト共ニ特ニ陣地前障礙物ノ偵察ヲ爲サシム

情況

敵陣地直前ノ稚樹間ニハ綱、繩等ヲ纏綴シ單筒ナル障礙物ヲ設置シ在リ

問 第一線部隊長ノ處置

答 速ニ斥候ヲ派遣シ之ヲ切斷セシム

情況

第一線ハ更ニ前進ヲ開始スルヤ再ヒ猛烈ナル射撃ヲ受ク

問 第一聯隊長ノ處置

答 停止シ又ハ應射スルコトナク愈隊伍ノ集結ニ努メツツ前進ヲ續行シ至近距離ニ到リ決然突撃ヲ命ス

說明

第一線諸隊長ハ滿身ノ勇ヲ揮ヒ確實ニ部下ヲ掌握シ率先突撃ニ移リ諸隊我後レシト突入シ茲ニ壯烈ナル格闘ヲ演スルニ至ル此際濫ニ喊聲ヲ發スルヲ禁スルヲ必要トス(步操一ノ一〇二)

情況

主力方面ハ將卒ノ勇敢ナル突撃ニ依リ幸ニ敵陣地ヲ奪取スルコトヲ得タリ然レトモ死傷多キト各隊混淆セルト暗黒ナル爲秩序亂レ混亂ノ状態ニ在リ左翼方面ハ銃聲今尙熾ナルモ左翼方面ハ銃聲大ニ衰ヘ稍寂漠ノ感アリ



問 第一聯隊長ノ處置

答 第一線部隊ヨリ直ニ有力ナル斥候ヲ派遣シ敵ヲ追撃セシメ且迅速ニ秩序ノ恢復ヲ計ル

豫備隊及機關銃ヲ迅速ニ招致シ敵ノ恢復攻撃ニ備ヘ且第一線部隊ヲ速ニ整頓セシム(步操二ノ八六)

支隊長ニ報告シ且速ニ兩翼部隊ト連絡ヲ計ル

説明

突撃奏功後ニ於ケル動作ハ晝間ト夜間トニ於テ次ノ如キ差異アリ乃チ晝間ハ敵陣地ニ突入セシ各部隊ハ追撃射撃ヲ行ヒ敵兵我有効射撃界ヲ脱セントスルヤ直ニ運動ヲ始メ猛烈果敢ニ敵ヲ追撃ス(步操二ノ七五)然レトモ夜間ニ在リテハ突撃功ヲ奏セハ各部隊ハ迅速ニ秩序ヲ恢復シ警備ヲ嚴ニシ敵ノ恢復攻撃ニ備ヘ成ル可ク速ニ敵ヲ追撃ス(步操二ノ八六)換言セハ晝間ハ飽迄敵ニ肉薄急追スルヲ主眼トシ夜間ニ在リテハ先ツ秩序ノ恢復ト敵ノ恢復攻撃ニ對シ警備ヲ嚴ニスルヲ第一ノ手段トス

聯隊ノ主力ハ格闘ノ後漸ク敵陣地ヲ奪取セシモ各中隊ハ多數ノ死傷者ヲ生シ加之各中隊大隊ハ互ニ混淆シ頗ル混雜ノ状態ニ在リ茲ニ於テ聯隊長ハ先ツ斥候ヲ派遣シテ敵ヲ追撃セシメ豫備隊タル第四第十二中隊及機關銃隊ヲ迅速ニ招致シテ陣地ニ配備シ以テ敵ノ逆襲ニ備ヘ且第一線部隊ヲシテ速ニ秩序ヲ恢復セシム即チ各所屬中隊ニ集合セシメ各中隊ハ新ニ小隊分隊ニ區分シ大隊長ノ許ニ集合シ速ニ敵ニ應シ得ル如ク準備スルヲ要ス

情況

鶴田北方高地ノ敵ハ地藏寺北方ニ退却シ坂上北方高地ノ敵ハ頑強ニ抵抗セシモ遂ニ敗走セリ鶴田西方高地ノ敵ハ兵力僅少ニシテ比較的容易ニ撃退セラレ第二聯隊第一大隊ノ主力ハ午後十一時過キ霧ヶ嶽最高點ヲ占領シ午後十二時前主力トノ連絡漸ク通ス旅團長ハ此ニ於テ諸隊ヲ區處シ霧ヶ嶽占領ニ著手ス



第二節 夜間防禦

想定 (所要地圖前想定ニ同シ)

霧ヶ嶽附近ヲ占領シテ後續隊ノ來著ヲ待ツヘキ任務ヲ以テ孔明街道ヲ東進セシB支隊歩兵第一聯隊第三大隊本部並ニ第十一、第十二中隊欠、騎兵第一中隊、野砲兵第一大隊第三中隊欠、工兵第一中隊ハ九月十七日正午頃霧ヶ嶽天神祠附近ニ開進ヲ終ル支隊長ハ此時迄ニ次ノコトヲ知ル

- 1 歩兵四、五大隊ヲ基幹トセル敵ハ孔明街道ヲ西進中ニシテ本日午後二時三十分頃ニハ其先頭南明附近ニ達シ得ル距離ニ在リ

- 2 我騎兵中隊ハ南明東方約三吉米某川ノ徒涉場ヲ占領シ在リ



3 我後續隊ハ本夕刻ニハ小桃西方約三里小梨村ニ到着ス

注意 樹木ニ就テハ前想定假想ノ通りトス

主要研究項目

- 一 陣地占領命令
- 二 夜間防禦ノ爲ノ設備
- 三 夜間防禦ノ爲ノ命令

情況

支隊長ハ敵ハ主攻撃ヲ漢山ヨリ鶴田方向ニ向クルモノト判断シ陣地偵察ノ結果概ネ左ノ如ク陣地ヲ占領スルニ決セリ

1 樺山北方高地ヨリ地藏寺東方高地ヲ經テ雪ヶ嶽ニ巨ル間ヲ占領シ敵ヲ拒止ス

2 地藏寺南方高地及樺山北方高地ニ歩兵第二大隊(第八中隊欠及機關銃一小隊)

3 地藏寺東方高地及其北方高地ニ歩兵第一大隊及機關銃一小隊

4 雪ヶ嶽ニ歩兵第九中隊

5 砲兵大隊ハ樺山北方高地及坂上西北方高地附近ニ陣地占領、工事ノ爲工兵中隊ヲ附ス

6 騎兵中隊ハ將來支隊ノ左翼警戒

7 豫備隊ハ霧ヶ嶽北側鞍部附近

問題 陣地占領ノ爲ノB支隊命令

原案

B 支隊命令 九月十七日午後零時三十分、於霧ヶ嶽



- 一 歩兵四、五大隊ヲ基幹トセル敵ノ一縱隊ハ孔明街道ヲ西進中ニシテ本十七日午後二時三十分頃ニハ其先頭南明附近ニ到著スルノ距離ニ在リ  
後續隊タル歩兵第一旅團(第一聯隊欠)ハ本夕刻小梨村ニ達スル筈
- 二 支隊ハ樺山北方高地ヨリ地藏寺東方高地ヲ經テ雪ヶ嶽ニ亘リ陣地ヲ占領シ敵ヲ拒止セントス
- 三 歩兵第二大隊(第八中隊欠)ハ葵北端以南ノ地區ニ對シ一部ヲ以テ樺山北方高地ヲ主力ヲ以テ地藏寺南方高地ヲ占領スヘシ  
機關銃一小隊ヲ附ス  
但シ特ニ鶴田北側地區ヲ側防シ得ル如ク設備スルヲ要ス

ス

- 四 歩兵第一大隊ハ葵、菊見間ノ地區ニ對シ地藏寺東方高地ヨリ其北方高地ニ亘ル間ヲ占領スヘシ  
機關銃一小隊ヲ附ス
- 五 歩兵第九中隊ハ菊見以北ノ地區ニ對シ雪ヶ嶽ヲ占領シ特ニ菊見南側ヲ射撃スル如ク設備スヘシ
- 六 野砲兵第一大隊(第三中隊欠)ハ樺山北方高地附近及坂上西北方高地附近ニ崖下ヨリ大窪ニ亘ル間ヲ射撃シ得ル如ク陣地ヲ占領スヘシ  
陣地占領迄工兵中隊ヲ其指揮ニ屬ス工事終ラハ豫備隊ニ復歸セシムヘシ
- 七 騎兵中隊ハ敵ノ壓迫ニ際シテハ萱澤附近ニ位置シ支



隊ノ左翼ヲ警戒スヘシ

八 歩兵第八、第十中隊、機關銃一小隊及工兵中隊ハ豫備隊

トナリ霧ヶ嶽北側鞍部ニ位置スヘシ

九 予ハ地藏寺北方高地ニ在リ

支隊長 B 大佐

傳達法

歩兵各大隊長、第九、第十中隊長、機關銃隊長、砲兵大隊長、工兵中隊長ヲ霧ヶ嶽ニ集メテ口達シ騎兵中隊長ニハ筆記送達ス

説明

本問題ハ陣地ノ配備既ニ決定シアルカ故ニ單ニ命令ノ記述法ノ練習ニ過キス唯此場合陣地占領掩護隊ノ要否ニ就テ一言セントス  
陣地ヲ占メントスルヤ通常其前方ニ一部隊ヲ出シ以テ我陣地占領ヲ掩護セシム乃チ敵ニ近キトキハ之カ爲少數ノ歩兵部隊ヲ以テ一時ノ抵抗ヲ爲サ

シムルヲ要スルコトアリト雖通常騎兵ヲシテ敵情ヲ搜索セシメ爲シ得レハ其前進ヲ遲滯セシムルヲ以テ足レトス(歩操二ノ五七)本情況ニ在リテハ敵カ我陣地前ニ現出スルハ午後三時過キニシテ陣地占領ニ約三時間ノ餘裕アルノミナラス我騎兵中隊ハ目下南明東方ノ某川ノ徒涉場ヲ占領シ在ルヲ以テ尙敵ノ前進ヲ遲滯セシムルカ故ニ陣地占領ノ爲歩兵部隊ヲ前方ニ派遣スルヲ要セス

情況

諸隊ハ午後一時稍前各所命ノ地點ニ到リ工事ニ著手セリ  
前方ニ在リシ我騎兵中隊ハ敵ノ歩騎兵ノ壓迫ヲ受ケ漸次退却シ午後二時二十分頃南明附近ニテ暫時之ト對峙シ在リシモ間モナク霞山方向ニ退却セリ

此頃我一線ハ概ネ立射散兵壕ヲ完成セリ

午後二時三十分頃敵ノ縱隊ハ南明附近ニ現出シ次テ其主



力ハ漢山東方森林ニ蔭蔽シツツ前進シ午後五時三十分頃ニハ白岩ヨリ漢山ヲ經テ元山ニ亘ル線ニ達ス  
 敵ノ第一線ノ兵力ハ歩兵約三大隊、砲兵ハ唐犬附近ニ陣地ヲ占領シ其砲數約四門ナルカ如シ  
 我騎兵中隊ノ主力ハ北條附近ニ在リテ秋田附近ニ在ル略同等ノ敵騎ト相對シ在リ  
 彼我ノ砲兵ハ互ニ砲戰ヲ交ヘツツ在ルモ敵ノ第一線ハ爾後前進ノ模様ナク漸次日没ニ近ツカントス

問 支隊長ノ決心

答 支隊ハ現在ノ陣地ヲ固守シ後續隊ノ來著ヲ待タントス

說明

支隊ハ任務ヲ達成スル爲ニハ依然現陣地ヲ固守シ後續隊ノ來著ヲ待タナル

ヘカラス然ルニ本夜ノ敵ノ夜襲ヲ受クルノ公算極メテ大ナリ故ニ之ニ對シ十分ナル準備ヲ爲ササルヘカラス

夜間防禦ノ設備ニ就テ

- 1 第一線各部隊ヲシテ現陣地ヲ固守セシメ豫メ夜間射撃ノ設備ヲ爲シ殊ニ谷地及陣地前ヲ縱射斜射スル爲新タニ散兵壕及機關銃坐ヲ設ケ必要ナル守兵ヲ配置シ且豫備隊ヲ近ク備ヘ速ニ前線ヲ増援シ得ヘキ處置ヲ施スヲ要ス(步操二ノ八八)
- 2 夜間ハ防禦ノ利益減少シ其不利却テ増加シ動モスレハ不意ニ乘セラルルノ虞アリ故ニ斥候又ハ小部隊ヲ派遣シテ敵情ノ偵察ニ努メ殊ニ嚴ニ敵ニ觸接ヲ保タシメ且陣地前ニ警戒兵ヲ配置シテ嚴ニ敵ノ接近ヲ戒メ不意ニ乘セラレサル如クスルヲ必要トス(步操二ノ八七)
- 3 敵ノ主攻擊點ト判斷セラル陣地前ハ殊ニ十分ナル射撃効力ヲ發揚シ得ル如ク夜間射撃ノ準備ヲ爲シ尙新タニ機關銃陣地ヲモ準備シ尙陣地前ニハ縦ヒ單筒ナルモノト雖障礙物ヲ設置シ且照明設備ヲモ



施シ近ク豫備隊ヲ設ケ陣地前ノ警戒ヲ一層嚴ニスルヲ必要トス(歩操二ノ八七、八八)

4 障礙物ハ夜間縱ヒ單箭ナリト雖成ル可ク之ヲ陣地前ニ設置スルヲ有利トス敵ノ主攻撃ヲ受クル方面ハ殊ニ必要トス是レ敵ヲシテ我陣地直前ノ射撃下ニ於テ非常ノ混亂ニ陥ラシメ敵ノ突撃ヲ妨害スルコト極メテ大ナレハナリ故ニ此際ハ陣地直前ノ稚樹間ニ植杭シ此等樹木及杭ニ鐵線又ハ綱、繩等ヲ纏綴スルヲ可トス

陣地前照明ノ設備ハ敵ノ企圖ヲ妨碍シ我射撃効力ヲ發揚スル爲極メテ必要ナリ但シ照明火ハ我陣地ハ照明セラルルコトナク我ヨリ敵ヲ明瞭ニ認メ得ラルル如ク設備スルコト必要ナリ本夜ノ爲ニハ藥、石油等ノ燃料及鐵線等ヲ附近村落ヨリ徵集シ之ヲ陣地前ニ堆積シ又ハ竹木等ニ之ヲ纏結シテ適當ノ地點ニ植立シ敵兵此線ヲ通過スルヤ監視兵ヲシテ點火セシムル等ノ方法ヲ講スルヲ可トス

5 夜間ハ敵ノ兵力及企圖ヲ察知スルコト困難ニシテ且敵ノ運動ハ主

要道路ニ依ルコト多キヲ以テ我陣地ノ側背ニ通スル主要ナル道路ハ一部ヲ以テ之ヲ占領シ置クヲ要ス

6 夜間ハ通信連絡一層困難ナルヲ以テ之カ設備ニハ一層ノ注意ヲ必要トス之カ爲ニハ本夜ハ歩兵、騎兵及砲兵ノ有スル電話機ヲ利用シ互ニ通信連絡ノ迅速確實ヲ計ラサルヘカラス

情 況

支隊長ハ前記ノ決心ニ基キ午後五時三十分今夜ノ爲左ノ命令ヲ下セリ

B 支隊命令 九月十七日午後五時三十分 於霧ヶ嶽

- 一 前面ノ敵ハ歩兵四、五大隊、砲四門ナルカ如シ
- 二 支隊ハ依然現陣地ヲ固守シ後續隊ノ來著ヲ待タントス

三 歩兵第二大隊(第八中隊ヲ欠キ機關銃一小隊ヲ附ス)ハ



現陣地ヲ守備シ特ニ葵—鶴田道(含ム)以南ノ地區ヲ警戒スヘシ

但シ一部ヲ以テ地藏寺南側谷地ヲ射撃スル如ク同寺南側附近ヲ占領スヘシ

四 歩兵第一大隊機關銃一小隊ヲ附スハ現陣地ヲ守備シ葵—鶴田道(含マス)ヨリ元山—菊見—品川道(含マス)間ノ地區ヲ嚴ニ警戒スヘシ

五 歩兵第九中隊ハ現陣地ヲ守備シ元山—菊見—品川道(含ム)以北ノ地區ヲ警戒スヘシ特ニ一部ヲ以テ雪ヶ嶽南側谷地ヲ確實ニ占領セシムヘシ

六 砲兵大隊(第三中隊欠)ハ日没後其主力ヲ以テ樺山北方高地ニ陣地ヲ占領シ漢山ヨリ元山ニ亘ル間ヲ射撃シ得

ル如ク夜間射撃ノ準備ヲ完了スヘシ

七 工兵中隊ハ第二大隊主力及第一大隊陣地前ニ障礙物ヲ設置シ且照明ノ設備ヲ爲スヘシ實施ニ關スル細部ハ兩大隊長ト協議スヘシ

八 騎兵中隊ハ主力ヲ以テ柏戸ヲ占領シ支隊ノ左翼ヲ掩護スヘシ歩兵第十中隊ノ一小隊ヲ附ス

九 豫備隊ハ日没ト共ニ地藏寺北側鞍部ニ位置スヘシ但シ歩兵第十中隊ハ一小隊ヲ柏戸ニ派遣シ騎兵中隊長ノ指揮ヲ受ケシムヘシ

機關銃小隊ハ坂上西方谷地及其西側高地斜面ヲ側射シ得ル如ク地藏寺東側鞍部ニ豫備陣地ヲ構築スヘシ

十 給養ハ携帶糧秣(乙)ヲ使用スヘシ



- 十一 大行李ハ終附近ニ村落露營スヘシ
- 十二 予ハ豫備隊ノ位置ニ在リ

支隊長 B・大佐

傳達法

步兵第一第二大隊第九中隊第十中隊機關銃隊砲兵大隊工兵中隊ノ命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム騎兵中隊及大行李ニハ其要旨ヲ筆記シテ送付ス

説明

- 1 前述夜間防禦ノ要旨ニ基キ第一線部隊ニ現陣地ノ守備ヲ命スルト同時ニ嚴ニ敵ノ接近ヲ戒ムル爲前地ヲ分割シテ警戒區域ヲ指定セサルヘカラス又地藏寺東南方谷地及雪ヶ嶽南側谷地ハ夜間其兩側高地ヨリ火力ヲ及シ得サルヲ以テ特ニ一部ヲ以テ新陣地ヲ占領セシメサルヘカラス
- 2 敵ノ主攻撃方向ハ地形上鶴田北方高地ト判斷セラル之ト同時ニ敵ノ一

部ハ鶴田西南方高地及坂上西北方高地ニ向ヒ攻撃スルナラン然ルトキハ我砲兵ヲ坂上西北方高地ニ位置セシムルハ危険ナルノミナラス我歩兵ノ動作ヲ掣肘セラルルノ虞アリ故ニ砲兵ノ全部ヲ樺山北方高地ニ集メ同地ニ在リテ敵ノ夜襲ノ企圖ヲ速ニ發覺シタル場合ニハ夜間射撃ヲ爲ス如ク準備セシムルヲ要ス

- 3 陣地前ニ障礙物ノ設置及照明設備ノ爲工兵中隊ヲ使用スルヲ可トス而シテ其設置ノ地點方法等ハ夜間射撃ノ設備及守兵ノ配備等ト密接ナル關係アルカ故ニ詳細ハ實施ニ際シ第一線各部隊長ト協議セシムルヲ要ス
- 4 中央街道ハ我陣地背後ニ通スル主要ナル道路ニシテ騎兵ノ主力ノミヲ以テ之ヲ警戒セシムルハ危険ナリ故ニ歩兵ノ一部ヲ合シ柏戸附近ヲ確實ニ占領セシムルヲ要ス

- 5 豫備隊ハ敵ノ主攻撃ヲ受クヘキ地點ニ速ニ應援シ得ル如ク第一線ニ接近シ在ラサルヘカラス之カ爲地藏寺北側鞍部ニ位置セシムルヲ要ス特ニ其機關銃小隊ヲシテ必要ニ際シ直ニ坂上西方谷地及其兩側高地斜面ヲ側



第二節 夜間防禦

射シ得ル如ク豫メ陣地ヲ設備セシムルヲ要ス

6 今夜ノ給養ハ携帶糧秣ヲ使用スルノ外ナク且現在ノ陣地ハ全ク山地ニシテ水ヲ得ルコト困難ナルヲ以テ甲(精米)ヲ用ユル能ハス故ニ乙(乾麵麩)ヲ用ヒサルヘカラス從テ大行李ハ後方安全ナル地點ニ宿營セシムルヲ要ス

第六章 局地戰ノ應用

第一節 高地戰

想定 (所要地圖二萬分一 秦野、田原總領、關本)

- 一 酒匂川左岸高地ヲ占領シテ師團主力ノ來著ヲ待ツヘキ任務ヲ有スル東軍混成第一旅團ハ十月二十五日午前七時前衛ノ先頭ヲ以テ曾屋西端ニ達ス此時迄ニ旅團長ハ左ノ情報ヲ得テ金子村東方高地附近ニ陣地ヲ占領スルニ決ス
- 1 約一師團ノ敵ハ御殿場方向ヨリ前進中ニシテ午前十時頃ニハ關本附近ニ達シ得ル距離ニ在リ
  - 2 我騎兵中隊ノ主力ハ川村向原(松田總領西方三吉米)及關本附近ニ於テ略同等ノ敵騎兵ト相對シ在リ
  - 3 師團主力ハ本夜半ニハ曾屋附近ニ達シ得ヘシ



第一節 高地戰

4 酒勾川ハ概シテ步騎兵ノ徒涉容易ナリ又酒勾川左岸高地上ノ森林ハ疎林ニシテ射撃及展望ヲ妨ケス

二

旅團ノ編組左ノ如シ  
長 少將 某

步兵第一旅團(第一、第二聯隊)

騎兵第一中隊

山砲兵第一大隊

工兵第一中隊

衛生隊第二半部

主要研究項目

- 一 高地防禦ニ於ケル陣地判斷
- 二 砲兵陣地
- 三 第一線部隊ノ配備

問題 旅團防禦ノ目的ヲ以テ金子村東方高地附近ノ陣地

判斷

原案

旅團ハ一部ヲ以テ神山村北方高地ヨリ北部金子村東方高地ヲ主力ヲ以テ南部金子村東方高地ヨリ上大井村北方高地ニ亘リ陣地ヲ占領スルヲ要ス

理由

一 敵ハ主力ヲ以テ上大井村北方高地ニ向ヒ攻撃スルナラン蓋シ上大井村方面ハ前地敞開シテ敵ノ接近稍困難ナリト雖比高小斜面緩徐ニシテ攻者ノ攀登比較的容易且陣地ノ凸角ヲ形成ス之ニ反シ神山村方面ハ斜面急峻比高大ニシテ攻者ノ突撃容易ナラス而シテ神山村西北方高地ヲ堅固ニ守備スルトキハ最明寺高地ニ向フ攻撃ハ先ツ神山村西北方高地ヲ攻略シタル後ニアラサレハ行フ能ハサルヲ以テ大ニ時間ヲ費スノ不



第一節 高地戰

利アリ故ニ敵ハ陣地ノ凸角ニシテ突撃容易ナル上大井村方面ニ向ヒ主  
攻撃ヲ行フヘシ之カ爲旅團ハ神山村方面ノ兵力ヲ節約シ上大井村方面  
ニ多クノ兵力ヲ使用スルヲ要ス

二 右翼ハ神山村西北方1481高地ニ依托スルヲ要ス是レ我背後連絡線ヲ  
安全ニスルト共ニ最明寺附近ノ陣地ヲ側防シ殊ニ上大井村方面ニ向フ  
敵ノ主力ヲ側射スル爲ニ砲兵ノ一部ヲ以テ占領セシムレハ我陣地ヲ益々  
堅固ナラシムルヲ以テ神山村西北方高地ハ歩砲兵ノ一部ヲ以テ占領ス  
ルヲ必要トス

左翼ハ大澤村東方1044高地ニ托スルヲ要ス蓋シ此高地ヲ敵ニ委スルト  
キハ上大井村北方陣地ハ敵ノ背射ヲ受ケ且陣地ノ内部山田村ノ谷地ハ  
全ク敵ニ暴露スルヲ以テナリ故ニ同地ハ有力ナル一部ヲ以テ占領セシ  
ムルヲ要ス

而シテ此陣地ニ在リテ後續部隊ヲ神山村方面ニ進出セシメントセハ展  
開ノ餘地ヲ有セサルノミナラス敵砲兵ノ爲隘路内ヲ縦射セラルルノ虞

第一節 高地戰

アルヲ以テ其進出殆ト不可能ナリ故ニ後續部隊ハ南部山田村方面ニ進  
出セシムルヲ要ス此方面ヘノ進出モ地形上多少困難ナルモ神山村方面  
ニ進出スルニ比シテ容易ナリ是レ澁澤村附近ヨリ二條ノ道路アリ且進  
出後ノ展開モ亦前者ニ比シテ容易ナレハナリ

三 以上ノ如ク陣地ヲ占領スルトキハ陣地ノ正面ハ概ネ四千米ニ亘リ兵  
力ニ比シテ正面稍過大ナルカ如キモ持久スヘキ時間大ナラサルト陣地ハ  
敵ノ進路ニ正對シ高地ハ劃然タル稜線ヲ成シ遠ク前地ヲ瞰制シ兩翼ハ  
堅固ナル據點ニ依托シ在ルヲ以テ約倍數ノ敵ニ對シテモ充分ニ其任務  
ヲ達成シ得ヘシ唯此陣地ニ於テ歩砲兵同線ナルノ不利アリト雖適當ニ  
其陣地ヲ選定セハ平坦地ニ於ケルカ如キ大ナル不利ヲ除キ得ヘシ

四 陣地ノ内部ハ稜線ノ爲全ク遮蔽セラレテ兵力企圖ヲ秘匿シ得ヘク且  
第一線トノ交通モ概ネ可ナリ但シ神山村西北方高地トハ全ク隔絶シテ  
交通ノ不便ナルハ已ムヲ得サル所ナリ

後地ハ急峻ナル高地ヲ以テ限定セラレ後方ヨリノ補充ハ晝間敵ニ暴露



スルノ不利アリ故ニ豫メ陣地内ニ多クノ彈藥ヲ準備シ衛生機關モ陣地内ニ位置セシメサルヘカラス

處置

- 一 歩兵一聯隊一大隊欠ヲ以テ神山村西北方高地ヨリ北部金子村東側高地ニ至ル間ヲ占領セシム
- 二 歩兵一聯隊ヲ以テ南部金子村東方高地ヨリ1844高地ニ至ル間ヲ占領セシム
- 三 山砲兵ハ一部ヲ以テ主トシテ陣地前ヲ側防シ且上大井村方向ヲ射撃シ得ル如ク神山村西北方高地ニ主力ヲ以テ松田庶子ヨリ上大井村方向ヲ射撃シ得ル如ク北部金子村東側高地ニ陣地ヲ占領セシム
- 四 騎兵ハ敵ノ壓迫ヲ受クレハ上曾我村方向ニ退却シテ旅團ノ左側ヲ掩護セシム
- 五 歩兵一大隊工兵中隊ヲ豫備隊トシテ南部山田村ニ位置セシム
- 六 衛生隊ハ南部山田村ノ北端ニ綑帶所ヲ開設セシム

說明

1 地區ノ區分及兵力ノ部署ニ就テ

地區ハ防禦ノ目的ニ應ジ地形ト指揮ノ便否ヲ顧慮シテ定ムヘキコトハ操典ニ明記シ在ル所ニシテ敵ノ主力ノ向フ上大井村附近ノ陣地ハ大澤村東方高地及南部金子村東側高地トハ密接ナル關係ヲ有シ互ニ側防スル等ノ必要上同一聯隊ヲ以テ占領セシムルヲ要ス之カ爲北部金子村東側高地以北ノ陣地ニハ他ノ聯隊ヲ使用ス然ルトキハ兩聯隊共約二千米ノ正面ヲ占ムルニ至ル而シテ旅團ノ豫備トシテ少ナクモ一大隊ヲ要スルヲ以テ右地區ニハ一大隊ヲ欠キタル聯隊左地區ニハ完全ナル聯隊ヲ充ツレハ即チ主攻撃方面ニハ兵力ニ比シテ狭キ正面ヲ其他ノ方面ハ廣キ正面ヲ占領セシムルニ至ル此左右兩地區ハ更ニ數個ノ小地區ニ區分シテ之ニ應スル如ク兵力ヲ部署セサルヘカラス即チ右地區ニ在リテハ神山村西北方高地同村東南方高地及最明寺東南方高地ノ三小地區左地區ニ在リテハ南部金子村東側高地上大井村北方高地及大澤村東北方高地ノ三小地區ニ區分セ



第一節 高地戰

ラルヘシ(小地區ノ配備ニ就テハ後ニ研究ス)

2 砲兵陣地ニ就テ

此場合ノ砲兵ハ次ノ要件ヲ以テ選定スルヲ要ス(野砲操草二ノ六六、七〇)

イ 成ル可ク遠距離ヲ射撃シ得ルコト

ロ 攻撃方向ニ火力ヲ集中スルコト

ハ 最近距離ニ至ル迄攻撃歩兵ヲ射撃スルコト

ニ 陣地前ノ死角ヲ側防シ且高地斜面ヲ掃射スルコト

イハノ要件ノ爲ニハ此附近ノ高地ハ何レモ概ネ目的ヲ達シ得ヘシ然レトモロノ要件ヲ達スルカ爲ニハ砲兵陣地ノ一部ヲ大澤村方面ニ選定シ兩方面ヨリ火力ヲ集中スルヲ可トスルモ大澤村東方高地ニ於テモ上大井村北方高地ノ爲死角ヲ生シ決戦ノ時機ニ於テハ有効敵兵我陣地前六、七百米以内ノ距離ニ進入セハ射撃シ得スニ射撃シ得サル不利アリ故ニ砲兵ノ主力ハ北部金子村東側高地ニ置キ以テ側方ヨリ射撃セシメ上大井村ニ進入シタル後ハ機關銃ヲ以テ之ニ對セシムル如ク爲スヲ要ス而シテニノ要件ノ

情況

爲ニハ一部ヲ神山村西北方高地ニ位置セシムレハ可ナリ

旅團長ハ以上ノ判斷ニ基キ左ノ處置ヲ爲ス

1 舊前衛(工兵中隊ノ主力ヲ除ク)ヲシテ神山村ニ向ヒ

前進セシメ特ニ一部ヲ以テ川村岸及關本附近ヲ占領セシメ騎兵ト協力シテ敵ノ前進ヲ遲滞セシム

2 本隊ハ前衛ヲ設ケテ石打場、澁澤村、篠窪村ヲ經テ山田村ニ前進セシム

3 大行李ハ澁澤村ニ停止セシム

4 決心及處置ヲ師團長ニ報告シ騎兵中隊へ通報ス

午前九時旅團長ハ神山村南側高地ニ達シ地形一般ノ偵察ヲ爲シ各隊長ヲ集メテ陣地占領ニ關スル命令ヲ下シ各隊



チシテ陣地ヲ占領セシム其配備附圖第十五ノ如シ

説明

高地防禦配備ノ要領ハ防禦線ヲ通常防界線若クハ其前方斜面ニ設ケ若シ斜面中ニ深谷等ノ彎入セルトキハ敵ニ安全地域ヲ與ヘサル爲特ニ其突出部及要スレハ彎入部ニ兵ヲ配備シ互ニ之ヲ側防シ死角ヲ消滅スル如クス本陣地ノ大部ハ高地ナルト共ニ一種ノ高臺ヲ成シ前方ハ多クハ等齊斜面ナリ故ニ防禦線ハ多ク防界線ニ設クレハ可ナリ又陣地ノ左翼ニハ彎入部多キヲ以テ特ニ互ニ側防スル如ク配備スルヲ要ス

1 歩兵第一聯隊方面

1481高地ハ右翼ノ要點ナルモ地形上多クノ兵ヲ配置スルヲ得ス亦敵モ此方面ニハ多クノ兵ヲ用ユルコト困難ナリ唯敵ハ直接ニ1481高地ヲ攻撃スルヨリモ川村向原方面ヨリ稜線ニ沿ウテ陣地ノ背後ニ迂回スルカ又ハ最高所タル4947高地ニ進出シ背面ヨリ脅威スヘキヲ以テ1481高地ニハ歩兵一中隊ヲ以テ占領セシメ其内一小隊ヲ以テ4947高地ヲ堅固ニ

2 歩兵第二聯隊方面

守備セシムルヲ要ス而シテ我背後ニ迂回スル敵ノ動作ヲ防支スル爲前進部隊ノ一部ヲ以テ川村向原ノ東北方500ノ高地ヲ占領セシムルヲ要ス最明寺高地ニ於テハ南部金子村方面ハ敵ノ攻撃猛烈ナルヘキヲ顧慮シテ同方面ニ近キ高地最明寺東南方高地ニ主力ヲ置キテ三箇中隊ヲ以テ占領セシメ二箇中隊ヲ以テ其北側高地ヲ占領セシムルヲ可トス

第二聯隊正面ニ於テハ上大井村北方高地ニ最モ意ヲ用ヒ配備スルヲ要ス之カ爲ニハ同高地ニ一箇大隊ヲ用ヒ其内大澤村北側ノ閉鎖曲線ノ高地ニ一箇中隊並ニ機關銃ノ一部ヲ配備シテ前方ノ死角ヲ側防シ突出部(上大井村北側若シ敵ノ爲攻器セララルニ至ルモ獨立シテ守備セシメ以テ恢復攻撃ノ據點タラシムヘシ

上大井村北側ノ高地ニハ一箇大隊分ノ工事ヲ施シ最モ堅固ニ守備セシメ若シ師團主力ノ到着遅レ明拂曉敵ノ攻撃ヲ受クルニ際シテモ十分抗拒シ得ル如ク設備スルヲ要ス



第一節 高地戰

三六二

南部金子村東側高地ニハ三箇中隊ヲ以テ占領セシメ前地殊ニ上大井村方面ヲ側防スル如ク設備スルヲ要ス  
大澤村東方高地ハ陣地ノ最左翼ノ據點トシテ堅固ニ占領セシメ上曾我村方面ヨリ進入スル敵ヲ防支スルヲ要ス之カ爲ニ我騎兵ト協力シ中隊ノ一部有力ナル將校斥候ヲ3171高地ニ出シテ左翼ヲ警戒スルヲ要ス殊ニ敵ノ主攻撃ハ上大井村方面ナルヲ以テ此高地ヲ守備スル中隊ハ最モ堅固ニ且斷乎タル決心ヲ以テ陣地ヲ死守セサルヘカラス

第二節 谷地戰

想 定 (所要地圖二萬分一 秦野、國府津)

一 金目川左岸高地ヲ占領セル敵ヲ擊攘スヘキ任務ヲ有スル西軍混成第一旅團ハ國府津方向ヨリ前進シ十月二十六日午前八時其前衛ノ一部ヲ以テ總領分東方高地ヨリ宮東北方標高1234高地ヲ經テ砂口東北方高地ニ至ル各要點ヲ占領シ主力ハ土屋ニ集結シ本隊ハ南部井ノ口村南側ニ開進ヲ終ル

二 旅團ノ編組左ノ如シ

- 前 衛 司令官 歩兵大佐某、歩兵第一聯隊(第三大隊欠)、騎兵第一中隊(一分隊欠)、野砲兵第一中隊、工兵第一中隊

三六三



第二節 谷地戰

本隊

步兵第一聯隊第三大隊、步兵第二聯隊、騎兵一分隊、野砲兵第一大隊第一中隊、衛生隊第一半部

三 旅團長ハ自ラ目撃シタル情況並ニ諸報告ヲ綜合シテ左記要圖ノ如キ情況ヲ知り今ヨリ敵陣地ヲ攻撃スルニ決ス



備考

- 一 金目川右岸ニ沿ウ高地ノ森林ハ高サ一米内外ノ疎林ニシテ射撃展望ヲ妨碍セサルモ其以南ノ森林ハ高サ五六米内外ニシテ通視困難ナリ
- 二 片點線路ハ野砲ノ通過ヲ許ス
- 三 圖上ノ斷崖ハ攀登困難ナラス

第二節 谷地戰



主要研究項目

- 一 谷地ノ攻撃ニ於ケル地形判斷
  - 二 攻撃部署
  - 三 攻撃準備ノ位置
  - 四 砲兵陣地
  - 五 各部隊ノ攻撃準備
  - 六 谷地ヲ通過スル戰闘動作
- 問題 攻撃ノ爲ノ地形判斷
- 原案 旅團ハ主力ヲ以テ南矢名ニ向ヒ攻撃スルヲ要ス
- 理由

一 敵陣地ヲ判斷スルニ其右翼ハ斜面急峻ニシテ攀登困難ナルト共ニ敵ノ出撃ハ至難ナリ然ルニ其左翼ハ比高低ク斜面緩徐ナルヲ以テ敵若シ攻撃ノ企圖ヲ有スルトキハ左翼方面ヨリ出撃スルナラン

處置

二 此陣地ヲ攻撃スルニ方リ主力ヲ以テ敵右翼ニ向フトキハ展開容易攻撃著手ノ迅速ナルノ利アリ然レトモ展開ノ線ハ遠藤原ノ西方高地ヨリ西大竹附近ノ高地ニ選定スヘキヲ以テ爾後前進ニ方リ敵火ノ下ニ永ク開潤セル我斜面ヲ通過セサルヘカラサル不利アルノミナラス急峻ナル敵陣地並ニ斜面ニ在ル村落ハ著シク攻者ノ攀登ヲ困難ニシ且敵ノ出撃ニ對シテ適宜之ニ應スル能ハス又敵陣地奪取後ニ於テモ追撃困難ナリ敵ノ左翼ニ向ヒ攻撃スルトキハ地形錯雜セル爲展開困難ニシテ多クノ時間ヲ要スルノ不利アルモ蔭蔽接近シ得ヘク又後岸ヨリ援助射撃ヲ行フヲ得ヘシ

敵陣地ノ斜面ニハ處々斷崖アルモ概シテ斜面ハ緩ニシテ攀登ハ前者ニ比シテ容易ナリ

以上ノ理由ニ依リ旅團ハ主力ヲ以テ敵ノ左翼ニ向ヒ攻撃スルヲ要ス



第二節 谷地戰

逐次研究スルヲ以テ畧ス

問 攻撃準備ノ線ヲ何レニ選定スルヤ

答 粟久保ヨリ寺分南方高地ヲ經テ遠藤原ニ亘ル線トス

説明

攻撃準備ノ線ハ可成敵ニ接近セシムヘシト雖敵砲火ノ損害ヲ被ムラサル地ニ選定スルヲ要ス然レトモ過度ニ敵ニ接近スルトキハ攻撃準備ノ位置ニ就カン爲動、モスレハ各隊ノ協同動作ヲ缺クノ時機ニ於テ敵ニ出撃ノ機會ヲ與フルコトアリ粟久保ヨリ遠藤原ニ亘ル線ハ敵前千米内外ニシテ過近ノ感アルモ殆ト敵砲火ノ損害ヲ被ムルコトナク接近シ得ヘシ若シ此線ヨリ後方ニ選定セントスルモ地形錯雜ニシテ各隊ハ攻撃ヲ準備スルコト能ハサルノミナラス爾後ノ前進ニ於テ各隊ノ連繫極メテ困難ナリ故ニ此地形ニ於テ攻撃準備位置ハ稍、近キモ金目川右岸高地ニ選定スルヲ要ス而シテ攻撃準備位置ニ就ク間敵ノ出撃ニ應スル爲各隊ハ互ニ連繫ヲ保持シツツ其位置ニ到ルヲ要ス

問 攻撃ノ爲歩兵ヲ如何ニ部署スルヤ  
答イ 前衛タリシ歩兵第一聯隊(第二大隊ノ二中隊及第三大隊ヲ欠キ工兵三分隊ヲ附ス)ヲ以テ岩井戸以西ノ敵ニ對シテ小熊南方高地ヨリ遠藤原ニ亘リ展開セシム  
□ 歩兵第二聯隊工兵一小隊ヲ附スヲ以テ岩井戸東方ノ敵以東ノ地區ニ對シテ粟久保ヨリ寺分南方高地ヲ經テ小熊南方高地ニ亘リ展開セシム  
ハ 歩兵第一聯隊ノ一大隊半及工兵ノ殘餘ヲ旅團ノ豫備隊ト爲シ第一聯隊ノ後方ニ位置セシム

説明

主力ヲ以テ南矢名南側ノ敵陣地ニ向ヒ攻撃スルカ爲ニハ其兩側ノ陣地ハ同一ノ聯隊ヲ用ユルヲ要ス之カ爲ニハ岩井戸西北方ノ敵陣地ノ東端ヲ以テ兩聯隊ノ境界ト爲シ其以西ノ敵陣地ニ對シテ努メテ兵力ヲ節約シテ聯隊長ノ指揮スル六箇中隊ト爲シ主攻撃方面ニハ完全ナル聯隊ヲ用ユルヲ可トス而シ



ヲ旅團長ハ強大ナル豫備隊ヲ右翼ニ持ツヲ要ス蓋シ我第一線ノ西久保附近ノ高地ニ達セントスル時南矢名東側地區ヨリスル敵ノ出撃ハ我ノ最モ苦痛トスル所ナルヲ以テ此出撃ヲ擊退シ有利ナル戰局ヲ結ハンカ爲ニハ強大ナル豫備隊ヲ後方ニ控置スルヲ要スレハナリ

敵陣地前ニハ處々斷崖アリ又村落ニ接スル高地ノ斜面ハ多ク切崩サレテ攀登困難ナル處多キト谷底ニ於ケル小流ノ通過ヲ容易ナラシムル目的ヲ以テ各隊ニ工兵ノ一部ヲ分屬スルヲ要ス

問 砲兵陣地ノ選定

答 遠藤原東南方標高二〇〇高地ニ二箇中隊、飛ヶ谷戸附近ニ一箇中隊

說 明

攻撃點タル南矢名附近ニ火力ヲ集中シ我攻撃ヲ援助スル爲ニハ飛ヶ谷戸及遠藤原附近ニ砲兵ヲ置キ兩側面ヨリ縱斜射ヲ行フヲ要ス但シ飛ヶ谷戸方面ハ地形上進入ニ時間ヲ多費シ攻撃ノ開始遅延スルノ不利アルモ遠藤原方面ノ陣地ノミニテハ敵ノ出撃ニ對シテ有効ニ射撃スルコト困難ナルヲ以テ一

部ハ飛ヶ谷戸方面ニ置クヲ可トス而シテ其進入路ハ概ネ敵眼ニ遮蔽シ得ヘク工兵ヲ以テ援助セハ多クノ時間ヲ要セサルヘシ

問 騎兵ハ如何ニスヘキヤ

答 一部ヲ以テ我左側ヲ警戒セシメ主力ハ金目村方面ニ在リテ敵情ヲ搜索セシム

說 明

西大竹方面ハ地形平易ニシテ敵騎兵ノ運動比較的容易ナリ然ルニ旅團ハ大部ノ歩兵ヲ右翼ニ用ヒ在ルヲ以テ攻撃進捗スルヤ我左翼ノ砲兵ハ敵騎兵ノ爲ニ暴露スルノ虞アリ故ニ有力ナル一部ヲ同方面ニ出シ警戒スルヲ要ス而シテ主力ハ金目村方面ニ在リテ爲シ得レハ敵ノ側背ニ向ヒ行動セシムルヲ可トス

情 況

旅團長ハ前述ノ如キ考案ヲ以テ先ツA大隊長ニ陣地ノ偵



察ヲ命シ且兩聯隊ヨリ一小部隊ヲ以テ敵ノ斥候ヲ驅逐シテ金目川右岸一帶ノ高地ヲ占領セシム  
 午前九時砲兵大隊長ノ報告ニ依リ遠藤原及飛ヶ谷戸北方高地ハ砲兵陣地ニ適スルコトヲ知り旅團長ハ午前九時各隊長ヲ宮東北方標高1334高地ニ集メ攻撃ニ關スル命令ヲ下ス

混成第一旅團命令十月二十六日午前九時於宮東北方高地

- 一 敵ハ南矢名ヨリ岩井戸北方高地ヲ經テ才ヶ分北方高地ニ陣地ヲ占領シ其砲兵ハ鳥居松及南矢名東北方地區ニ在ルモノノ如シ
- 二 旅團ハ主力ヲ以テ敵ノ左翼ニ向ヒ攻撃セントス
- 三 歩兵第二聯隊(工兵一小隊ヲ附ス)ハ岩井戸東側陣地以

東ノ敵ヲ攻撃シ得ル如ク粟久保ヨリ小熊南方高地ニ亘リ展開スヘシ

- 四 歩兵第一聯隊(第七、第八中隊及第三大隊ヲ欠キ工兵三分隊ヲ附ス)ハ岩井戸西側以西ノ敵陣地ヲ攻撃シ得ル如ク小熊南方高地ヨリ遠藤原ニ亘リ展開スヘシ
- 五 兩聯隊戰鬪地域ノ境界ハ岩井戸東側陣地ノ西端ト小熊西端ヲ連ヌル線トス
- 六 攻撃開始ノ時機ハ追テ命令ス
- 七 野砲兵第一大隊ハ一部ヲ以テ飛ヶ谷戸北側高地ニ、主力ヲ以テ遠藤原南側ニ於テ主トシテ青柳北側地區ヨリ鳥居松附近ニ亘ル間ヲ射撃シ得ル如ク陣地ヲ占領スヘシ陣地占領終ルマテ工兵中隊(一小隊ト三分隊欠)ヲ其指



揮ニ屬ス

八 騎兵第一中隊ハ一部ヲ以テ西大竹方面ニ於テ、主力ヲ以テ金目村方面ニ在リテ敵情ヲ搜索スヘシ

九 歩兵第一聯隊第七、第八中隊、同第三大隊、工兵第一中隊（二小隊ト三分隊欠）ハ豫備隊トナリ入増西北方約四百米ノ乾田ニ位置スヘシ

但シ工兵中隊ハ砲兵ノ陣地占領終リタル後其位置ニ到ルヘシ

十 衛生隊ハ八面ニ繙帶所ヲ開設スヘシ

十一 予ハ八面東側高地ニ在リ

旅團長 某 少 將

傳達法

歩兵第一第二聯隊長同第一聯隊第三大隊長砲兵大隊長工兵中隊長衛生隊長ヲ集メテ口達シ騎兵ニハ筆記送達ス

情 況

歩兵第二聯隊長ハ宮東側高地ニ於テ各大隊長、機關銃隊長ヲ集メ情況ヲ示シ第二大隊及機關銃隊ヲ八面ニ其他ハ琵琶ヲ經テ寺分南方高地ノ南側ニ向ヒ前進シ到著後各隊長ニ八面東側高地ニ集合スヘキヲ命ス

問 第二大隊ハ如何ナル隊形部署ヲ以テ八面ニ到ルヤ

答 歩兵一中隊ヲ以テ先ッ八面北方高地ヲ占領セシメ其掩護ニ依リ側面縱隊ニテ八面ニ到リ右大隊及左聯隊ニ連絡ヲ取リ前方ノ敵情地形ノ偵察ヲ爲ス

情 況

第二聯隊長ハ八面東方約四百米ノ閉鎖曲線ノ高地ニ到リ



自ラ視察並ニ各隊長、斥候ノ報告ニ依リ次ノコトヲ知ル  
金目川及谷底ニ在ル小流ハ概シテ徒涉シ得ヘシ又西岸  
ニ在ル堤防ハ二米内外ナリ

敵陣地前ニハ障碍ヲ認メサルモ斜面中村落アル箇所ハ  
攀登困難ナルカ如シ欠上附近ノ斷崖並ニ西久保東方突  
出部ニ於ケル斷崖ハ攀登シ得ルカ如シ

問 第二聯隊ノ攻撃部署

答 第一、第二大隊第一線、第一大隊ハ粟久保ヨリ寺分南側高地ニ展開、第二  
大隊(工兵二分隊ヲ附ス)ハ小熊ノ高地ニ展開

兩大隊ノ戰鬥地域ノ境界ハ欠上北側ノ鞍部ト現在地(八面東方無名寺ノ北側)トヲ連ヌ  
ル線トス

第三大隊並ニ機關銃隊及工兵小隊(二分隊欠)ハ豫備隊トナリ第一大隊ノ  
後方ニ位置セシム但シ一小隊ヲ鷺坂ニ出シ砲兵ノ掩護ニ任セシメ且機

關銃隊ハ第二大隊ノ後方ニ在ラシム

說明

敵トノ距離近キヲ以テ最初ヨリ多クノ兵力ヲ第一線ニ用ヒテ敵ヲ壓倒スル  
ヲ要スルモ右翼ニ對スル顧慮大ナルヲ以テ聯隊長ハ一箇大隊ヲ取リ且之ヲ  
右翼後ニ置クヲ要ス之カ爲第一大隊ヲシテ青柳、西久保ノ敵ノ一部ヲ驅逐シ  
南矢名東端及南側ノ敵ヲ攻撃セシメ第二大隊ヲ以テ岩井戸北側ノ敵ヲ攻撃  
セシム而シテ展開位置ニ於ケル第二大隊方面ハ主力ト隔絶シ在ルヲ以テ工  
兵ヲ豫メ分屬シ又機關銃ハ後岸ニ在リテ歩兵ノ前進並ニ突撃ヲ有効ニ援助  
セシム而シテ其位置ハ小熊ノ高地ヲ最適當トスルヲ以テ全部ヲ同高地ニ位  
置セシムルヲ可トス(機操草一一三)

問 第二聯隊第一線大隊ノ展開並ニ攻撃ノ爲ノ準備如何

答 第一大隊ハ展開シ三箇中隊ヲ第一線ト爲シ豫備隊ハ右翼後、第二大隊ハ  
一箇中隊ヲ小熊南方高地ニ出シ、庶子分及小熊北端ニハ各一小部隊ヲ出シ  
他ハ八面北側ニ集結ス



但シ各中隊ハ高地稜線ノ後ニ集結シ若干ノ監視兵ノミヲ出ス又前方ニハ  
數組ノ斥候ヲ派遣シ前方及側方ノ地形敵情ヲ細部ニ涉リ偵察セシメ以テ  
何レノ地點ヨリ我斜面ヲ降下スヘキヤ又其隊形歩度ヲ如何ニスヘキヤ谷  
底ニ於ケル水流ノ通過法敵陣地前ニ於ケル斷崖攀登ノ方法、死角ノ利用法  
等ニ就テ豫メ研究セシム

問 第一聯隊ノ攻撃部署

答 第一大隊第四中隊欠ヲ中里北方高地ニ、第二大隊二中隊欠ヲシテ遠藤原  
ニ展開セシメ聯隊長ハ第四中隊機關銃隊及工兵三分隊ヲ豫備トシテ中里  
ニ位置セシム

第一大隊ハ二箇中隊ヲ第一線ニ出シ一箇中隊ノ豫備ヲ中央後ニ位置セシム  
第二大隊ハ一箇小隊ヲ大隊長ノ豫備トシ其他ヲ第一線ニ出シ特ニ一部ヲ  
西大竹東方高地ニ出シテ左側ヲ警戒セシム

情況

各隊ハ地形ノ錯雜セル爲展開ニ多クノ時間ヲ費シ午前十

一時所命ノ地點ニ到リテ展開ヲ終ル(附圖第十六參照)  
旅團長ハ午前十一時三十分ヨリ各隊ニ攻撃前進ヲ命ス此  
ニ於テ我砲兵ハ鳥居松ノ敵砲兵並ニ南矢名ノ敵陣地ニ向  
ヒ射撃ヲ開始シ第一線歩兵ハ各其當面ノ敵ト最初ヨリ猛  
烈ナル射撃ヲ交換ス間モナク南矢名東北方ニ敵砲約四門  
現出シ主トシテ寺分附近ノ我歩兵ニ向ヒ射撃ス

第二聯隊方面ノ情況

岩井戸東側ノ敵ハ約二、三箇中隊、二子南側ノ陣地ニハ一箇  
中隊又西久保、青柳間ニハ約一箇中隊アリ南矢名東端ニハ  
守兵ナシ

問 兩大隊ハ同時ニ前進スルヤ

答 第一大隊先ツ前進ヲ起スヲ要ス

說明



第二節 谷地戰

第一大隊ハ第二大隊ヨリ後方ニ展開シ在ルヲ以テ直接協同スル爲先ツ前進ヲ起スノ必要アルト且第二大隊ハ西久保東側ノ敵歩兵現存スルノ間ハ側射ヲ受ケ攻撃進捗セサルヲ以テ第一大隊ハ速ニ西久保東方ノ敵歩兵ヲ驅逐スルカ爲絶エス第二大隊ヨリ前方ニ在ルヲ要ス

問 第一大隊ノ前進法如何

答 前進ヲ起スニ方リ先ツ十分ナル射撃ヲ以テ敵ヲ制壓シタル後左翼ノ第三中隊ヲシテ先ツ寺分北方ノ高地ニ前進セシメ次ニ右ノ第一、第二中隊前進ヲ起ス此際大隊ノ豫備隊ヲシテ粟久保西方高地ニ於テ射撃ヲ以テ前進ヲ援助セシム之カ爲大隊長ハ前進法ヲ規定ス

注意

斜面降下ニ際シテハ敵火ノ狀況並ニ地形ニ依リ數群ニ分チテ異ナル地點ヨリ急速ナル歩度ヲ以テ降ルヲ可トスルコトアリ之カ爲ニハ聯隊長ハ機關銃並ニ豫備隊ノ一部ヲ以テ前進ヲ起スニ先チ一時其位置ニ於テ掩護射撃ヲ行ハシムルヲ可トス

問 第二大隊ノ前進法

答 左ノ中隊ハ小熊北端ニ前進シ次ニ他ノ中隊ハ同時ニ前進ヲ起シテ金日川ノ堤防ニ到ル此間大隊ノ豫備隊及機關銃ハ陣地ニ據リテ前進ヲ援助シ第一線堤防ノ線ニ到著スルヲ待チテ前進ヲ起ス

情 況

第二聯隊ノ兩大隊ハ敵火ノ損害ヲ顧慮スルコトナク前進ヲ繼續シ第一中隊ハ將ニ西久保東方高地ノ突出部ノ脚ニ達セントスル頃其前面ノ敵歩兵約一中隊ハ北方ニ退却ス依テ同中隊ハ其高地端ヲ占領ス第二、第三中隊ハ之ニ力ヲ得テ西久保、欠上ノ線ニ到著セシモ二子ノ高地ヨリスル敵歩兵並ニ機關銃ノ爲非常ナル損害ヲ被ムリ前進俄ニ頓挫ス第一中隊モ其高地ノ綠端ニ現出スルヤ直ニ二子及南矢名東端ノ敵歩兵並ニ其北方ニ在ル敵ノ砲兵ヨリ猛烈ナル射撃ヲ受ケテ損害甚々多ク且南矢名東端ノ敵兵ハ續々増

第二節 谷地戰



第二節 谷地戰

三八二

加ノ模様アリ

問 大隊長ノ處置

答 大隊ノ豫備隊ヲ第一中隊正面ニ増加シ南矢名方面ノ敵ニ對セシム

情 況

第二大隊方面ハ目下金目川右岸ノ堤防ニ據リテ其前面ノ敵ト相對戰中ニシテ是亦前進困難ナリ

問 聯隊長ノ處置

答 豫備隊ノ内歩兵二中隊ヲ第一中隊ノ右翼ニ増加シ極力南矢名ニ向ヒ

攻撃前進ヲ爲サシム之カ爲機關銃一小隊ヲ第一大隊ノ正面ニ陣地ヲ變換シテ攻撃ヲ援助セシム

情 況

第二大隊長ハ豫備隊ヲ増加シ前進ヲ督勵シ辛フシテ宮下東側ノ敵陣地ノ高地脚ニ達スルヲ得タルモ隊伍紊亂シテ

第二節 谷地戰

三八三

直ニ突撃ヲ行フヲ得ス僅ニ死角ニ據リテ隊伍ヲ整頓中ナリ此頃遠藤原及飛ヶ谷戸ニ在ル我砲兵ハ岩井戸ノ陣地ニ向テ射彈ヲ集中シ敵陣地ハ爆烟ヲ以テ蔽ハレ在ルヲ以テ第二大隊長ハ後岸ニ在ル機關銃及歩兵ノ援助ニ依リ大隊ヲ提ケテ突撃ヲ行ヒシモ敵ノ射撃殊ニ二子ニ在リシ敵ノ機關銃ノ爲ニ多數ノ損害ヲ被ムリ突撃成功セス此頃左翼ノ第一聯隊方面ハ敵前三、四百米ニ達セルモ前進困難ナルカ如シ

第二聯隊長ハ増加シタル歩兵二箇中隊ノ將ニ青柳ノ高地ニ到著セントスル頃敵ノ歩兵少ナクモ一箇大隊南矢名東北側地區ニ展開シ我右翼ニ向ヒ攻撃シ來ル我旅團ノ豫備隊ハ粟久保北方ヲ前進中ナリ



第二節 谷地戰

問 聯隊長ノ處置

答 豫備ノ殘餘ヲ青柳西側ニ向ヒ前進セシメ此敵ニ對セシム

問 旅團長ノ處置

答 旅團ノ豫備隊ヲ第一聯隊ノ右翼ニ増加シテ此敵ヲ攻撃セシム

問 砲兵大隊長ノ處置

答 全力ヲ擧ケテ此敵ヲ猛射ス

情 況

聯隊ノ豫備ハ青柳北端ニ達シテ攻撃シ來ル敵ニ對ス敵ハ此頃二三百米ノ前方ニ達シ南矢名及二子ノ敵ノ援助ニ依リテ間斷ナク前進シ將ニ我ニ向ヒ突撃セントス二子、岩井戸方面ノ敵モ亦逆襲シ來リ殊ニ第二大隊方面ハ遂ニ突撃ヲ受ケ戰鬪甚タ苦境ニ陥レリ  
第一聯隊方面ニ於ケル我第一線ハ高地ヲ攀チテ敵陣地ヲ

第二節 谷地戰

突撃セシモ何レカ撃退セラレ

旅團ノ豫備隊ハ密集ノ儘駈歩ニテ青柳西方ノ高地端ニ達シ聯隊ノ第一線ト共ニ敵ニ向ヒ突撃ヲ行フ此ニ於テ兩軍ノ主力ハ南矢名附近ニ於テ一大決戰ヲ交フルニ至レリ



第三節 森林戰

想 定(所要地圖

町東町)

- 一 南軍獨立第一師團(一師團ト步兵一聯隊)ハ十月十八日北町方向ヨリ前進スル敵ニ對シ月山西北方地區ニ陣地ヲ占領スル目的ヲ以テ南町方向ヨリ前進シ午前八時右縱隊(主力)ヲ以テ鳶巢附近ニ、左縱隊旅團司令部步兵第三聯隊(步兵第四聯隊第一大隊、騎兵五騎、野砲兵第一中隊、工兵第一中隊)ヲ以テ百合北方十字路附近ニ開進ヲ終ル
- 二 同時左縱隊長ハ左ノ要旨ノ師團命令ヲ受領ス

師團命令ノ要旨

- 一 北町方向ヨリ南進セシ敵ハ其兵力二師團ヲ下ラサルモノノ如ク二縱隊トナリ南北及上杉兩街道ヲ前進シ本